



WSL 規則ブック 2024

最終更新日2024年1月1日

サーファーはWSLに対し、WSL規則ブックの前バージョンからのすべての変更点の
コピーを書面で要求する場合があります。

**World Surf League
2201 Rosecrans Avenue
El Segundo, CA 90245
USA**

電話番号 : +1 (310) 450 1212

Eメール : support@worldsurfleague.com

www.worldsurfleague.com

無断転載を禁じます。本規則書のいかなる部分も、Association of Surfing Professionals LLC の書面による許可なく、情報保存または検索システムを含む、いかなる機械的または電子的手段でも複製することを禁じます。

World Surf League、WSL、ASP、It's On、Dream Tour、Big Wave Tour Awards、CT、QS、AirTour、QS 5000 Tour、You Can't Script This、Championship Tour、Qualification Series、および関連するすべてのロゴは、Association of Surfing Professionals LLCまたはその子会社の商標およびサービスマークです。

本規則書の修正は、www.worldsurfleague.com に掲載された時点で効力が発生します。

本規則書の著作権保有者 :
Association of Surfing Professionals LLC

目次

第1章：チャンピオンシップツアー（CT）	9
1.01：賞金	9
1.02：スケジューリング	9
1.03：トライアル	9
1.04：競技関連活動	9
1.05：CTランキングポイント	9
1.06：フォーマット	10
1.07：CTシード規則	12
1.08：交代	13
1.09：男子CTシーズン資格取得	14
1.10：女子CTシーズン資格取得	16
1.11：CTサーファーズ規則	18
1.12：ワイルドカード	18
1.13：意図的に省略	19
1.14：アマチュアサーファー	19
1.15：競技不参加	19
1.16：CT競技延期と中止；サーフィンシーズン中止	20
1.17：競技不合格	21
1.18：妊娠	21
1.19：脳震盪	22
1.20：CT費用	22
1.21：WSL以外の競技で競技	22
1.22：閉鎖空間としての公式エリア	22
1.23：セキュリティパス／バリアフリーエリア	22
1.24：CTサーファーマリア	22
1.25：WSL有限責任	22
1.26：WSL QS競技での競技	23
第2章：資格取得シリーズとチャレンジャーシリーズ	
2.01：ライセンス料	24
2.02：競技のアップグレード／ダウングレード	24
2.03：競技のキャンセル	24
2.04：競技詳細の変更	24
2.05：賞金課税	24
2.06：賞金	25
2.07：スケジューリング	26
2.08：フォーマット	26
2.09：QS／チャレンジャーシリーズ競技におけるトライアル&その他の競技	29
2.10：QS：チャレンジャーシリーズランキングポイントおよび地域ランキン グ	30
2.11：資格取得にカウントされる競技	31
2.12：負傷または妊娠のランク調整	31
2.13：資格取得シリーズ料金	32
2.14：参加費	33
2.15：競技登録と参加手続	33

2.16 :	会員資格のためのサーファー地域資格	34
2.17 :	参加確認	35
2.18 :	参加キャンセル、払い戻し、健康診断書	35
2.19 :	参加の選択	36
2.20 :	QSサーファーシードポイント	38
2.21 :	QSシード順位	39
2.22 :	QSでのディフェンディングチャンピオン	39
2.23 :	交代	39
2.24 :	競技不合格	40
2.25 :	妊娠	40
2.26 :	脳震盪	41
2.27 :	QS/チャレンジャーシリーズ競技不参加	41
2.28 :	サーファーによるメディアの義務	41
2.29 :	WSL競技に関する一般規則	41
2.30 :	最低年齢	42
第3章 :	専門競技規則	43
3.01 :	適用規則	43
3.02 :	ライセンス	43
3.03 :	専門競技スケジュールリング	43
3.04 :	サーファーの出場	43
第4章 :	ロングボード規則	44
4.01 :	ライセンス	44
4.02 :	賞金	44
4.03 :	スケジュールリング	44
4.04 :	ランキングポイント	44
4.05 :	WLT の資格	45
4.06 :	WLT決勝への資格	45
4.07 :	競技フォーマット	46
4.08 :	参加規則	47
4.09 :	サーファー料金と保険	47
4.10 :	シード	47
4.11 :	地域資格取得ランキング	47
4.12 :	ボード要件	47
4.13 :	ロングボードの審査基準	47
4.14 :	負傷ランキングおよび/またはシード権補償	48
4.15 :	ヒート欠場/不出場/競技不参加	48
4.16 :	メディアの義務	49
第5章 :	ジュニアツアー規則	50
5.01 :	年齢	50
5.02 :	サーファー料金と保険	50
5.03 :	参加規則	50
5.04 :	世界ジュニア選手権賞金内訳	50
5.05 :	世界ジュニアランキング	50
5.06 :	スケジュールリング	50
5.07 :	世界ジュニア選手権資格取得	50
5.08 :	WJCシード順位	50
5.09 :	世界ジュニア選手権フォーマット	51

5.10 :	次年度の QS / チャレンジャー競技への出場資格	51
5.11 :	JQS競技賞金およびポイント	51
5.12 :	JQSランキングポイント	51
5.13 :	参加の選択	51
5.14 :	JQSシード順位	51
5.15 :	JQSランキング	52
第6章	マスターツアー規則	53
6.01 :	年齢	53
6.02 :	賞金	53
6.03 :	招待選手の選考	53
6.04 :	シード順位	53
6.05 :	フォーマット	53
6.06 :	スケジューリング	53
6.07 :	サーファーの招待	53
6.08 :	資格取得通過に向けて考慮される競技	53
第7章	ビッグウェーブ競技	54
7.01 :	スケジューリング	54
7.02 :	BW競技告知	54
7.03 :	競技に出場するための前提条件	54
7.04 :	賞金	55
7.05 :	BW競技エリア	55
7.06 :	BW競技不参加	55
7.07 :	妊娠	55
7.08 :	脳震盪	56
7.09 :	セキュリティパス/バリアフリーエリア	56
7.10 :	WSL 責任制限	56
7.11 :	フォーマット : ジョーズBW競技	56
7.12 :	ジョーズ BW 競技用ヒート規則	57
7.13 :	ジョーズBW競技の審査基準	57
7.14 :	ジョーズ BW ウェーブ集計	57
7.15 :	同順位	57
7.16 :	優先	58
7.17 :	ジョーズ BW 妨害規則	58
7.18 :	サーファーの責任	59
7.19 :	フォーマット : ナザレBW競技	59
7.20 :	ヒート	
7.21 :	ウェーブ数	60
7.22 :	優先	60
7.23 :	優先の妨害とペナルティ	62
7.24 :	ナザレBW競技の審査基準	63
7.25 :	ナザレBWウェーブ集計	63
7.26 :	同順位	64
7.27 :	追加賞	64
7.28 :	PWCとチームの責任	64
第8章	ウェーブシステム (「WS」) 競技規則	65
第9章	エアツアー規則	66

9.01 :	サーファーの招待	66
9.02 :	得点	66
9.03 :	フォーマット	66
9.04 :	同順位	66
9.05 :	スケジューリング	67
9.06 :	審査パネルの構成	67
9.07 :	審査基準	67
9.08 :	優先と妨害	67
第10章 :	競技規則	68
10.01 :	「コール」	68
10.02 :	ヒートタイム	68
10.03 :	ヒートスタートとフィニッシュ	69
10.04 :	ヒート中断	70
10.05 :	ウェーブ集計	71
10.06 :	同順位	71
10.07 :	抗議	71
10.08 :	発表	72
10.09 :	サーファーキャディ規則	72
10.10 :	電子コーチング	73
10.11 :	承認機材	73
10.12 :	競技不合格	74
10.13 :	コンペティションの服装	74
10.14 :	追加競技義務	75
10.15 :	水上フォトグラファー	76
10.16 :	ダブルバンク	76
10.17 :	CT以外の競技に対する時間延長	76
10.18 :	CT 以外の競技のキャンセルまたは延期（不可抗力または競技ウェーブの欠如によるものを除く）	76
10.19 :	CT 以外の競技のキャンセルまたは延期で、不可抗力または競技ウェーブの欠如によるもの	76
10.20 :	競技におけるサーファーの死亡または身体的障害	77
10.21 :	トランスジェンダーアスリートの規則	77
第11章 :	優先規則と妨害	78
11.01 :	優先規則の適用と妨害	78
11.02 :	オーバーラッピングヒート	78
11.03 :	非優先状況における通行権	78
11.04 :	ポイントブレイク	79
11.05 :	リーフ又はビーチブレイクの選択 - ピークが単体の場合	79
11.06 :	リーフ又はビーチブレイクの選択 - ピークが複数の場合	79
11.07 :	「スネーキング」	79
11.08 :	パドリング妨害	80
11.09 :	優先システムを利用した通行権	80
11.10 :	一般的優先順位	81
11.11 :	非優先状況における「ブロッキング規則」	81
11.12 :	非優先状況での過度な口論	81
11.13 :	優先状況における「ブロッキング規則」	81
11.14 :	2件のサーファーヒート優先順位	83

11.15 :	3件のサーファーヒート優先順位	83
11.16 :	4件のサーファーヒート優先順位	83
11.17 :	妨害に対するペナルティ	84
11.18 :	優先状況での過度な口論	85
11.19 :	優先権の利用	85
11.20 :	重大なスポーツマンシップを欠く妨害	85
11.21 :	交通機関の不正利用	85
第12章 :	パーソナルウォータークラフト (PWC) ガイドライン	86
12.01 :	PWCの使用	86
12.02 :	PWC使用のガイドライン	86
12.03 :	有資格運転者	86
12.04 :	優先順位	87
12.05 :	PWCに関するヘッドジャッジの権限	87
12.06 :	概要	87
第13章 :	審査	88
13.01 :	ジャッジの選出と審査	88
13.02 :	審査パネルの構成	88
13.03 :	スプリットパネル	88
13.04 :	ウェーブスコアリングスケール	89
13.05 :	審査基準 (第4章ロングボード、 第7章ビッグウェーブ競技とは無関係)	89
13.06 :	一般審査規則	89
13.07 :	審査料	90
13.08 :	競技以外の活動の審査	90
13.09 :	WSL コンピュータースコアリングシステム	90
13.10 :	WSL 審査エリア	90
13.11 :	CTおよびCS競技におけるヘッドジャッジの役割	90
第14章 :	WSLの行動方針	91
14.01 :	はじめに	91
14.02 :	スポーツマンシップに則した行動	91
14.03 :	その他の行動基準	91
14.04 :	サーフィンのイメージダウン	92
14.05 :	WSL公式用具とサーフボード	92
14.06 :	ギャンブル、不適切な金銭的利益または関係、 および贈収賄	93
14.07 :	最善の努力	94
14.08 :	暴言	95
14.09 :	身体的な攻撃と相互の争い	95
14.10 :	差別、セクハラ、虐待	96
14.11 :	ソーシャルメディア	96
14.12 :	その他の違反および罰則	97
14.13 :	競技中の失格	100
14.14 :	罰金	100
14.15 :	違反の審査と懲戒処分	101
14.16 :	WSL 規律による懲戒処分に対する不服申し立て ディレクター	102
14.17 :	懲戒手続の守秘義務	102

付録A - 男女CT賞金内訳	103
付録B - ランキングポイント	106
付録C - QSおよびチャレンジャーシリーズの賞金	116
付録D - 定義	117
付録E - WSL地域事務所	126

まえがき

本規則書には、2024年サーフィンシーズンに適用されるCT、チャレンジャーシリーズ、QS、専門競技、ロングボードツアー、ジュニアツアー、マスターズツアー、ビッグウェーブ競技、[ウェーブシステム競技、およびエアツアーに関するすべての現行規則が記載されています。

本規則集で使用される用語のうち、定義されていないものは、付録D「定義」に記載される意味を持ちます。

WSL は、ツアーアンドコンペティション事務局の同意を得て、本規則書を随時修正または補足することができます。ただし、特別委員会の権限の範囲内にある修正または補足は、特別委員会の書面による同意がある場合のみ修正または補足ができます。特別委員会は、以下の分野におけるCTに関する既存の取り決めの変更案、実施案、修正案を検討（および承認または却下）する権限を有することとします：

- CT競技の数および場所（CT競技の日程の重大な変更を含む）；
- ウェーブベースで開催されたCT競技数；
- CTに参加するサーファー数；および
- コンペティションに関する事項。

WSLは、特別委員会に対し、競技事項に関する変更案、提案された変更案の根拠、およびそのような事項を検討する上での合理的な時間について、妥当な事前通知を書面で行うものとします。このような事項を検討する場合、特別委員会は常に以下の主要原則に留意するものとします：

- サーフィンとCTの整合性の維持；
- CTに参加する各アスリートの利益の保護；
- CTとCT競技の発展と成長の促進；
- CTとCTサーフィンが継続的に成長できるよう、持続可能なビジネスモデルを構築。
- 倫理原則に従ってCTを運営。

上記に拘わらず、特別委員会の権限の範囲内にある修正または補足は、パンデミックに対応して WSL が合理的に必要と判断する場合、WSLによってのみ承認される場合があります。

第1章：チャンピオンシップツアー（CT）

本章は、特に別段の言及がない限り、すべてのCT競技、CTサーファーおよびサポートスタッフに適用されます。

1.01 賞金

- (a) すべての賞金の配分は、ツアーアンドコンペティション事務局が決定する本規則書付録Aの承認された内訳に従わなければなりません。
- (b) WSLは、別段の合意がない限り、賞金の支払いをサーファーの銀行口座に直接振り込みます。

1.02 **スケジュールリング**：CTサーフィンシーズン終了後、次のCTサーフィンシーズン開始まで最低1ヶ月の休暇があります。

1.03 **トライアル**：CTトライアル競技の形式、日程、詳細は、CT競技ウィンドウの開始前に確定する必要があり、ツアーアンドコンペティション事務局の承認が必要です：

1.04 **競技関連活動**：もしWSL地域事務所および/または競技スポンサーが、エクスペリションセッション、セレブリティヒートなど、競技ウィンドウ内で追加競技および/またはサーフ関連アクティビティを実施する場合、競技スポンサーは、CT競技ウィンドウ開始の60日前までに、ツアーアンドコンペティション事務局の書面による承認が必要となります。

1.05 CT ランキングポイント

- (a) すべてのCT競技（WSL決勝を除く）のポイント内訳は、付録Bに示される通りです。こういったポイントは、サーフィンシーズンを通して集計され、本規則書に従って、サーファーのランキングとシード権に関わってきます。
- (b) CTの資格取得順位、またはWSL決勝のCTレギュラーシーズン終了時のトップ5ポジションのランキングの同順位については、規則1.09および1.10を参照してください。
- (c) 規則1.05(b)に準拠し、年末のCTランキングにおける同順位は、ランキング上、すべて同順位として表示されます。シード権獲得のため、同順位は以下を考慮した上で決定します：
 - (i) 各サーファーについて、そのサーフィンシーズンの最高のレギュラーシーズンCT競技の結果を、そのベストパフォーマンスからワーストパフォーマンスまでさかのぼってカウントしてください。その結果、一方のサーファーがもう一方のサーファーを上回った場合、同順位は破棄され、そのサーファーがその順位を維持し、もう一方のサーファーが下位となります。同順位が解消できない場合は、(ii)が適用されます。また、
 - (ii) サーフィンシーズンのレギュラーシーズンCT競技におけるヒート勝利数（エリミネーションラウンドを除く）の合計が多いサーファーが同順位のポジションを維持し、もう一方のサーファーは下位のポジションとなります。それでも同順位の場合は、そのサーフィンシーズンのレギュラーシーズンCT競技の平均ヒートスコアが高いサーファーが同順位のポジションを維持し、もう一方のサーファーは下位のポジションとなります。

- (d) CTランキングポイントは、すべてのCT競技において、競技ワイルドカードを除くすべてのCTサーファーに付与されます。ミッドシーズンカット後に選出されるWSLワイルドカード（男子2名、女子2名）は、翌シーズンの開幕時のみCTに出場することができます。ただし、WSLワイルドカードが元世界チャンピオンである、またはWSL決勝に出場している場合、WSLは独自の裁量で、ミッドシーズンカット後に1名のWSLワイルドカードを選出し、CTランキングポイントをかけて、利用可能なWSLワイルドカード枠で出場させることができます。
- (e) WSL決勝終了後、男女上位5名のCTランキング順位は、WSL決勝での順位（1位、2位、3位、4位、5位）を反映して再配分されます。レギュラーサーフィンシーズン終了後、CTランキングポイントに基づく男子トップ5、女子トップ5がWSL決勝への出場権を獲得します。WSL決勝への出場権を獲得したトップ5サーファーが負傷し、WSL決勝に出場できない場合、そのサーファーの負傷による交代はありません（例えば、WSL決勝に出場する5人のサーファーのうち1人が負傷し、出場できない場合、そのサーファーはWSL決勝前の決勝CTランキングで6位のサーファーと交代することはありません）。その部門は4人のサーファーのみで競技が進められます。
- (f) WSL決勝終了後の年末最終CTランキングにおいて、第1シードのサーファーが負傷し出場できない場合、そのサーファーは最終CTランキングで第2位となります。シード選手#2、#3、#4は上記負傷が生じた場合、最終CTランキング5位となります。

1.06

フォーマット

- (a) ミッドシーズンカット前の男子CT競技は、36名のサーファーで構成され、以下のフォーマットが使用されます：
 - (i) オープニングラウンド1は、3名のサーファーによる12ヒートで構成され、1位と2位がラウンド32に、3位がエリミネーションラウンドに進出します。
 - (ii) エリミネーションラウンドは3名のサーファーによる4ヒート制で、1位と2位がラウンド32に進出し、3位は33番目となります。
 - (iii) ラウンド32は、2名のサーファーによる16ヒート制で、優勝者がラウンド16に進出し、2位は17番目となります。
 - (iv) ラウンド16は、2名のサーファーによる8ヒート制で、優勝者が準々決勝に進出し、2位は9番目となります。
 - (v) 準々決勝、準決勝、決勝はそれぞれ2ヒート制で、それぞれの勝者が決勝で勝者となるまで勝ち進みます。
- (b) ミッドシーズンカット後の男子CT競技は24名のサーファーで構成され、次のフォーマットが使用されます。
 - (i) オープニングラウンドは3名のサーファーによる8ヒート制で、1位がラウンド16に進み、2位と3位がエリミネーションラウンドに進みます。
 - (ii) エリミネーションラウンドは2名のサーファーによる8ヒート制で、1位はラウンド16に進み、2位は17番目で終了します。

- (iii) ラウンド16は2名のサーファーによる8ヒート制で、勝者が準々決勝に進み、2位は9番目で終了します。
 - (iv) 準々決勝、準決勝、おび決勝はそれぞれ2つのサーファーヒート制であり、それぞれの勝者が決勝で優勝者となるまで進みます。
- (c) 女子CT競技 (WSL決勝を除く) は、ミッドシーズンカット後の18名のサーファーで構成され、以下のフォーマットが採用されます:
- (i) オープニングラウンドは3名のサーファーによる6ヒート制で、1位と2位がラウンド3へ、3位がエリミネーションラウンドへ進みます。
 - (ii) エリミネーションラウンドは、3名のサーファーによる2ヒート制で、1位と2位がラウンド16に進出し、2位は17番目となります。
 - (iii) ラウンド16は2名のサーファーによる8ヒート制で、勝者が準々決勝に進み、2位は9番目で終了します。
 - (iv) 準々決勝、準決勝、おび決勝はそれぞれ2つのサーファーヒート制であり、それぞれの勝者が決勝で優勝者となるまで進みます。
- (d) 女子CT競技 (WSL決勝を除く) は、ミッドシーズンカット後の12名のサーファーで構成され、以下のフォーマットが採用されます:
- (i) オープニングラウンドは3名のサーファーによる4ヒート制で、1位が準々決勝、2位と3位がエリミネーションラウンドに進出します。
 - (ii) エリミネーションラウンドは、2名のサーファーによる4ヒート制で、1位が準々決勝に進出し、2位は9番目となります。
 - (iii) 準々決勝、準決勝、おび決勝はそれぞれ2つのサーファーヒート制であり、それぞれの勝者が決勝で優勝者となるまで進みます。
- (e) WSL決勝は、上位5名の男子サーファー (レギュラーシーズンCT競技最終戦後の男子のCTランキングポイントに基づく) と上位5名の女子サーファー (レギュラーシーズンCT競技最終戦後の女子のCTランキングポイントに基づく) で構成され、以下のフォーマットが採用されます:
- (i) 試合1は、5位 (レギュラーシーズンCT競技最終戦後のCTランキングポイントに基づく) と4位 (レギュラーシーズンCT競技最終戦後のCTランキングポイントに基づく) のサーファーによる1ヒート制で、勝者が試合2に進みます。試合1において、4位 (前回のレギュラーシーズンCT競技後のCTランキングポイントに基づく) に入賞したサーファーが、ヒート開始時に5位 (前回のレギュラーシーズンCT後のCTランキングポイントに基づく) に入賞したサーファーより優先権をもちます。
 - (ii) 試合2は、ラウンド1の勝者と3位 (レギュラーシーズンCT競技最終戦後のCTランキングポイントに基づく) に入ったサーファーによる1ヒート制で、勝者は試合3に進みます。

- (iii) 試合3は、試合2の勝者と2位のサーファー（レギュラーシーズンCT競技最終戦後のCTランキングポイントに基づく）の間で1ヒート制で行われ、勝者が決勝戦に進みます。
- (iv) 決勝戦は、試合3の勝者と1位のサーファー（レギュラーシーズンCT競技終了後のCTランキングポイントに基づく）による3ヒート制の決勝戦となり、勝者が世界チャンピオンとなります。
- (f) CTヒートは、サーファーの状況に関わらず、当初の出走順が変更されることはありません。但し、サーファー代表者およびツアーおよび競技会責任者の承認がある場合で、CTイベント間の移動時間の制限により、サーファーのサーフボードが到着していない場合はこの限りではありません。
- (g) CT競技間の移動時間は3日以内に制限されており、サーファーが航空会社のトラブルによりサーフボードを受け取っておらず、ツアーコンペティション事務局にサーフボードが到着していないという航空会社からの証拠を提出した場合、このサーファーは競技ウィンドウの初日のヒートに出場する必要はありません。全サーファーがサーフボードを持っているヒートに限り、競技ウィンドウ初日の出場が可能になります。CT競技が開催される場合、サーフボードを持たないサーファーは翌日までにサーフボードを手配してヒートに出場する必要があります。
- (i) CT競技（WSL決勝を除く）において、オーバーラッピングヒートシステム（すなわち、2人のサーファーが同時に入水して競うケース）を使用するかは決定は、ツアーアンドコンペティション事務局が行います。
- (j) CT競技でオーバーラッピングヒートが実施される場合、フォーマットおよび競技規則については規則 11.02 を参照してください。

1.07

CTシード規則

- (a) 各サーフィンシーズン開始時のCTサーファー、WSLワイルドカード、WSL交代に対する「ベースシードポイント」は、最初のCT競技前にWSLが決定し、その後、サーフィンシーズンの最初の4つのCT競技それぞれの全てのサーファーから、その最初のベースシードポイントの25%が差し引かれます（5番目のCT競技以降はベースシードポイントは0となります）。
- (b) 「CTシードポイント」は、ベースシードポイントに、そのサーフィンシーズンのレギュラーシーズンCT競技で獲得した現在のCTランキングポイントを加えたものとします。
- (c) WSLワイルドカードは、負傷以外の理由で受理され、WSL交代者は、ツアーアンドコンペティション事務局が決定する、チャレンジャーシリーズの最終シードサーファーよりも低いベースシードポイントが付与されます。
- (d) 以下の規則 1.07(e)および(f)において、「負傷前のランキング」とは、サーファーがサーフィンシーズンの最初の5CT競技中に負傷した場合、そのサーファーの前年のCTランキングを意味し、サーフィンシーズンの5CT競技以降の競技中に負傷した場合、そのサーファーの現在のCTランキングを意味し

- ます。
- (e) 負傷により男子 WSL ワイルドカードを獲得したサーファーには、以下に従ってベースシードポイントが割り当てられます：
 - (i) 負傷前のランキングが10位以内であった場合、そのサーファーは第13シードとなります；
 - (ii) 負傷前のランキングが20位以内であった場合、そのサーファーは第25シードとなります；
 - (iii) 負傷前のランキングが34位以内であった場合、そのサーファーは第34シードとなります。
 - (f) 負傷によりミッドシーズン終了後に男子WSLワイルドカードを獲得したサーファーは、最初の2競技のみ下記に従ってシードが付与されます：
 - (i) 負傷前のランキングが世界チャンピオン（1位）の場合、そのサーファーは第8シードとなります；
 - (ii) 負傷前のランキングが2-5位であった場合、そのサーファーは第12シードとなります；
 - (iii) 負傷前のランキングが34位以内であった場合、そのサーファーは^第34シードとなります。
 - (g) 女子 WSL ワイルドカードを獲得したサーファーには、以下に従ってベースシードポイントが割り当てられます：
 - (i) 負傷前のランキングが5位以内であった場合、そのサーファーは第7シードとなります；
 - (ii) 負傷前のランキングが10位以内であった場合、そのサーファーは第13シードとなります；
 - (iii) 負傷前の順位が上位17位以内の場合、そのサーファーは第17シードとなります。
 - (h) 負傷によりミッドシーズン終了後に女子WSLワイルドカードを獲得したサーファーは、最初の2競技のみ下記に従ってシードが付与されます：
 - (i) 負傷前のランキングが世界チャンピオン（1位）の場合、そのサーファーは第4シードとなります；
 - (ii) 負傷前のランキングが2-5位の場合、そのサーファーは第8シードとなります；
 - (iii) 負傷前のランキングが17位以内であった場合、そのサーファーは^第17シードとなります。
 - (i) シードに関して、前年度トップ5または当年度トップ10のCTサーファーが3大会以上で負傷し、CTシリーズまたはチャレンジャーシリーズで出場資格を得た場合、ツアーアンドコンペティション事務局の判断により、規則1.07(e)、(f)、(g)、(h)が適用される場合があります。
 - (j) CT競技のシード順位は以下の順で決定します：CTシードポイント、前年度CTランキング、チャレンジャーシリーズ開幕までの前年度チャレンジャーシリーズランキング/開幕後のチャレンジャーシリーズシードポイント、地域QSシードポイント、トライアリストの成績。サーファーのシード順位付けが決定不可の場合、ツアーアンドコンペティション事務局の裁量でシード順が決定されます。

- (k) 再シードは、各ラウンドの第1ヒートが開始される前に限り、競技ウィンドウ内で行うことができます。
- (l) 規則1.06に記載されたレギュラーシーズンCT競技のフォーマットに関して、ラウンド1の勝者はラウンド3の再シード時にそれぞれの「ティア」内で特典を受けられます。上記に関わらず、レギュラーシーズンCT競技最終戦において、上位8名のサーファーはラウンド1の結果に関わらずシード権が得られます。
 - (i) 男子レギュラーシーズン競技のシード順位：
 - (1) 最終種目前の全種目：1-4/ 5-12/ 13-24/ 25-36
 - (2) 決勝競技：1-8/ 9-12/ 13-24/ 25-36
 - (ii) 女子レギュラーシーズン競技のシード順位：
 - (1) 最終種目以前の全種目：1-4/ 5-10/ 11-18
 - (2) 最終種目 1-8/ 5-12/ 13-18

1.08 交代

- (a) 規則 1.08(c)に従って、CT への出場資格を得たサーファーが、リタイアまたは負傷の結果、CT 競技でのシード権を放棄することを決定した場合、ツアーアンドコンペティション事務局は交代するサーファー（以下「**交代**」）を選出し、交代は最大 1 つのシード枠（以下「**WSL 交代**」）を埋める目的で行えます。ツアーアンドコンペティション事務局は、ミッドシーズンカット前にCT 競技の交代者としての資格があるWSL交代者を、独自の裁量で選出します。ツアーアンドコンペティション事務局は、CT競技のシード枠を埋めるために必要な他のサーファー（以下、「**競技交代者**」）を独自の判断で選出します。
- (b) WSL交代に指名された者は、WSLからの最初の連絡後から48時間（または CT 競技によっては妥当な時間）以内に、交代の要請を承諾あるいは拒否できます。競技ウィンドウ内にサーファーが棄権し、交代サーファーが一人も現地にいない場合、WSLは別の交代サーファーを選出できます。シード権およびランキングポイントに関しては、競技交代は競技ワイルドカードと同様に扱われます。
- (c) 負傷または妊娠しているサーファーが、ランキング ポイントと最低賞金を受け取るために出場した場合、そのヒートへの出場枠は、オープニングラウンドの他のヒートを再シードすることなく、交代選手に付与されます。それ以降のラウンドは、交代選手の通常のシード順位が適用されます。さらに、この交代選手は参加費用を支払うことなく、交代前のサーファーが受け取った金額とそのサーファーが達成した結果の差額の賞金を受け取ります。
- (d) WSL 競技におけるすべてのワイルドカードおよび交代は、チャンピオンシップツアー競技者同意書に署名する必要がある、WSLの承認を得なければなりません。

1.09 次の男子CTシーズンへの出場資格

- (a) CT出場権を獲得したサーファーは、ミッドシーズンカットまでの全競技を36人制で行います。その後、24人制に縮小され、その内訳は以下のようになります。
 - (i) WSLファイナルを除く、ミッドシーズンカット後のすべての

- CT競技への出場資格を得る、現在のCTランキング上位22名（これらのサーファーは、以下の規則1.09(d)に従って、次のレギュラーシーズン開始時にも出場資格を得られます）。
- (ii) これらのポジションが同順位の場合は、以下の規則1.09(e)を参照してください。
 - (iii) WSL競技ワイルドカード1枚。これは、ツアーアンドコンペティションが決定する、ミッドシーズンカット以降の全競技のWSLワイルドカード、または各競技の競技ワイルドカードとなります。
 - (iv) 必要に応じて1枚の競技ワイルドカード。
- (b) WSL決勝戦は、レギュラーシーズン終了後に開催されるWSL世界チャンピオンを決める単一競技となります：
- (i) レギュラーシーズンのCTランキング上位5名が出場権を獲得します。
 - (ii) これらのポジションが同点の場合は、以下の規則1.09(f)を参照してください。
 - (iii) WSL決勝への出場権を得た上位5サーファーが負傷し、WSL決勝戦に出場できない場合、そのサーファーの負傷による交代はありません（例えば、WSL決勝に出場する5人のサーファーのうち1人が負傷し、出場できない場合、そのサーファーはWSL決勝戦前の最終CTランキングで6位のサーファーと交代することはありません）。その部門は4人のサーファーのみで競技が進められます。
 - (iv) WSL決勝戦終了後の年末最終CTランキングにおいて、第1シードのサーファーが負傷し出場できない場合、そのサーファーは最終CTランキングで第2位となります。シード順位2、3、4位のサーファーが負傷の場合は、最終CTランキング5位となります。
- (c) ミッドシーズンカットの前にレギュラーシーズンCT競技が5つある場合、規則1.09(a)に従い、上位男子22名を決定する消化試合が1回行われます。
- (d) 規則1.09(e)に従い、以下のサーファーは翌年の男子CTサーフィンシーズンにおいて、ミッドシーズンカット前に開催されるすべてのWSL競技への出場資格を得ます：
- (i) 現レギュラーサーフィンシーズンのミッドシーズンカットにおけるCTランキング上位22名；
 - (ii) 現サーフィンシーズン終了時のチャレンジャーシリーズランキングの上位10名で、現CTランキングの上位22名に入っていない選手；
 - (iii) 2WSLワイルドカード（詳細は規則1.12を参照）；および
 - (iv) チャレンジャーシリーズランキング11位以上のサーファーが資格取得を通過できる二重資格がある場合、CT上のこれらのスポットは代わりに追加のWSLワイルドカード（詳細は規則1.12を参照）として扱われます（「追加男子WSLワイルドカード」）。

- (e) ミッドシーズンカットにおいて、年末のCTランキングで22位にランクされたサーファーが同順位の場合、以下の通りとなります：
- (i) WSLワイルドカードのポジションが空いた場合、同順位のサーファーにそのポジションが与えられ、WSLワイルドカードのポジションではなく、CTランキング通りのシード権が付与されます。
 - (ii) WSL ワイルドカードの空きがない場合、以下の順番で割り当てられます：
 - (x) そのサーフィンのシーズンにおける最高のレギュラーシーズンCT大会の成績が考慮され、最高のレギュラーシーズンCT大会まで遡ってタイブレイクが試みられます。これが適用され、一方のサーファーがもう一方のサーファーの成績を上回った場合、同順位は破棄され、そのサーファーが22位のポジションを獲得します。同順位が破棄できない場合は、(y)が適用されません；
 - (y) サーフィンのレギュラーシーズンCT大会におけるヒート勝利数（エリミネーションラウンドを除く）の合計が多いサーファーが22位となり、下位のサーファーは再度出場資格を得られません。但し、それでも同順位の場合は、そのサーフィンの平均ヒートスコアが高いサーファーが22位の座を獲得し、下位のサーファーは再度出場資格を得られません。
- (f) (1)レギュラーシーズン終了時のCTランキングで5位になったサーファー間で同点となった場合、または(2)WSL決勝戦の出場権を獲得した5名のサーファー間で同点となった場合、WSLファイナルへの出場権またはWSLファイナルのシード権を決定するにあたって、該当する場合は以下が適用されます：
- (i) 各サーファーについて、そのサーフィンシーズンのレギュラーシーズンCT大会の最高結果を、ベストパフォーマンスからワーストパフォーマンスまで遡ってカウントします。その結果、一方のサーファーがもう一方のサーファーの成績を上回った場合、同順位は破棄され、そのサーファーがその順位を得て、もう一方が下位となります。同順位が解消できない場合は、(ii)が適用されます；また
 - (ii) サーフィンシーズンのレギュラーシーズンCT競技におけるヒート勝利数（エリミネーションラウンドを除く）の合計が多いサーファーが同順位のポジションを維持し、もう一方は下位のポジションとなります。それでも同順位の場合は、そのサーフィンシーズンのCTの平均ヒートスコアが高

いサーファーが同順位を得て、もう一方のサーファーは下位のポジションとなります。

1.10 次の女子CTシーズンへの出場資格

- (a) CT出場権を獲得したサーファーは、ミッドシーズンカットまでの全CT競技を18人制でサーフィンすることとなります。その後、以下の内訳で12人制に変更されます：
 - (i) WSL決勝戦を除く、ミッドシーズンカット後の全CTイベントへの出場資格を得る、現在のCTランキング上位10名の女子（これらのサーファーは、以下の規則1.10(d)に従って、次のレギュラーシーズンの開始時にも出場資格を得ます）。
 - (ii) これらのポジションが同順位の場合は、以下の規則1.10(e)を参照してください。
 - (iii) WSL競技ワイルドカード1枚。これは、ツアーアンドコンペティションが決定する、ミッドシーズンカット以降の全競技のWSLワイルドカード、または各競技の競技ワイルドカードとなります。
 - (iv) 必要な場合、1枚の競技ワイルドカード。
- (b) WSL決勝戦は、レギュラーシーズン終了後に開催されるWSL世界チャンピオンを決める単一競技となります：
 - (i) レギュラーシーズンのCTランキング上位5名が出場権を獲得します。
 - (ii) これらのポジションが同順位の場合は、以下の規則1.10(e)を参照してください。
- (c) ミッドシーズンカットの前にレギュラーシーズンCT競技が5つある場合、規則1.10(a)に従い、女子上位10名を決定するために消化試合が1回行われます。
- (d) 規則 1.10(c)に従い、以下のサーファーは翌年の女子 CT サーフィンシーズンにおいて、ミッドシーズンカットの前に開催されるすべての競技への出場資格を獲得します：
 - (i) 現レギュラーサーフィンシーズンのミッドシーズンカットにおけるCTランキング女子上位10名；
 - (ii) 現サーフィンシーズン終了時のチャレンジャーシリーズランキングの女子上位5名で、現CTランキングの女子上位10名に入っていない選手；
 - (iii) 2WSLワイルドカード（詳細は規則1.12を参照）；および
 - (iv) チャレンジャーシリーズランキング6位以上のサーファーが資格取得を通過できる二重資格がある場合、CT上のこれらのスポットは代わりに追加のWSLワイルドカード（詳細は規則1.12を参照）として扱われます（「追加女子WSLワイルドカード」）。
- (e) ミッドシーズンカットにおいて、年末の女子CTランキングで10位にランクされたサーファーが同順位の場合、以下の通りです：
 - (i) (i) WSLワイルドカードに空きがある場合、同順位のサーファーにそのポジションが付与されますが、WSLワ

イルドカードのポジションではなく、CTランキング通りのシード権が付与されます。

(ii) WSL ワイルドカードの空きがない場合、以下の順番で割り当てられます：

(x) そのサーフィンのシーズンにおける最高のレギュラーシーズンCT大会の成績が考慮され、最高のレギュラーシーズンCT大会まで遡ってタイブレイクが試みられます。これが適用され、一方のサーファーがもう一方のサーファーの成績を上回った場合、同順位は破棄され、そのサーファーが10位のポジションを獲得します。同順位が破棄できない場合は、(y)が適用されます；

(y) サーフィンのレギュラーシーズンCT大会におけるヒート勝利数（エリミネーションラウンドを除く）の合計が多いサーファーが10位となり、下位のサーファーは再度出場資格を得られません。但し、それでも同順位の場合は、そのサーフィンの平均ヒートスコアが高いサーファーが10位の座を獲得し、下位のサーファーは再度出場資格を得られません。

(f) (1)レギュラーシーズン終了時のCTランキングで5位になったサーファー間で同点となった場合、または(2)WSL決勝戦の出場権を獲得した5名のサーファー間で同点となった場合、WSLファイナルへの出場権またはWSLファイナルのシード権を決定するにあたって、該当する場合は以下が適用されます：

(i) 各サーファーについて、そのサーフィンシーズンの最高のレギュラーシーズンCT競技の結果を、そのベストパフォーマンスからワーストパフォーマンスまで遡ってカウントされます。その結果、一方のサーファーがもう一方のサーファーの成績を上回った場合、同順位は破棄され、そのサーファーがその順位を得て、もう一方が下位となります。同順位が解消できない場合は、(ii)が適用されます；また

(ii) サーフィンシーズンのレギュラーシーズンCT競技におけるヒート勝利数（エリミネーションラウンドを除く）の合計が多いサーファーが同順位のポジションを維持し、もう一方は下位のポジションとなります。それでも同順位の場合は、そのサーフィンシーズンのCTの平均ヒートスコアが高いサーファーが同順位を得て、もう一方のサーファーは下位のポジションとなります。

1.11 CT サーファーズ規則

(a) すべての CT シードサーファーは、サーフィンシーズンの最初の

CT競技でサーフィン競技を行う前、または WSL が指定する期日までに、チャンピオンシップツアー選手同意書に署名しなければなりません。サーファーがチャンピオンシップツアー選手同意書に署名しない場合、そのサーファーは出場を許可されず、最低 CT ランキングポイントおよび最低賞金の対象にもなりません。

- (b) CT への出場資格を得た全サーファーは、チャンピオンシップツアー競技者同意書または本規則集に従って WSL から有効な免除が提供されない限り、チャンピオンシップツアー競技者同意書に従ってすべての CT 競技に出場することが要求されます。詳細は規則1.15を参照してください。
- (c) 各サーフィンシーズン中、CT サーファーは、(1) WSL から合理的に要請された場合、自身のソーシャルメディア上で、(2)少なくとも 2 回の投稿を行い、ホーム地域のチャレンジャーシリーズ競技を宣伝し、(3)当該競技を宣伝するために他のメディアに参加しなければなりません。
- (d) CT サーファーは、チャレンジャーシリーズ競技に出場するにあたって、利用可能なワイルドカードを申請できます。WSL は、独自の裁量でこれらの競技のワイルドカードの授与を決定します。
- (e) WSL は、各サーフィンシーズンの最初のレギュラーシーズン CT 競技に先立ち、サーファーオリエンテーションミーティングを開催します。このミーティングへの出席はすべてのCTサーファーに義務付けられています。

1.12 ワイルドカード

- (a) 規則1.12(b)に準拠した各サーフィンシーズンのレギュラーシーズンCT競技：
ミッドシーズンカットまで：
 - (i) 2名（男子）および追加の男子 WSL ワイルドカード/2名（女子）および追加の女子 WSL ワイルドカードは、ツアーアンドコンペティション事務局が独自の裁量でサーフシーズンに選出します（「**WSL ワイルドカード**」）。WSL ワイルドカードにはCTランキングポイントが付与されます。
 - (ii) 2枚（男子）/1枚（女子）のワイルドカードは、WSL が競技ワイルドカードスポットまたはスポット（「**競技ワイルドカード**」）があるCT競技毎に、ツアーアンドコンペティション事務局が選出します。ワイルドカードにはCTランキングポイントは付与されません。ミッドシーズンカット後；
 - (i) 男子 WSL ワイルドカード1枚/女子 WSL ワイルドカード1枚は、ツアーアンドコンペティション事務局が独自の裁量で選出します。WSL ワイルドカードには、ミッドシーズンカット後の CT 大会において CT ランキングポイントが付きません；但し、WSL は独自の裁量で、WSL ワイルドカードが元世界チャンピオンまたはWSLファイナル5出場者である場合、ミッドシーズンカット後のCT大会に出場し、利用可能なWSLワイルドカード枠でランキングポイント獲得を選択できます。
 - (ii) 1枚（男子）/1枚（女子）のワイルドカードは、WSL が競技

ワイルドカードのあるCT競技毎に、ツアーアンドコンペティション事務局が選出します。ワイルドカードにはCTランキングポイントは付与されません。

- (b) 全てのワイルドカードはチャンピオンシップツアー競技者同意書に署名しなければならず、ツアーアンドコンペティション事務局の承認が必要となります。

1.13 意図的に省略

1.14 **アマチュアサーファー**：アマチュアは、ローカルアマチュア規則で認められる場合に限り、レギュラーシーズンのCT競技でサーフィン出場が可能となり、CT競技の関連参加費を支払わなければなりません。アマチュアサーファーはCT競技で賞金を獲得できますが、アマチュアのステータスを維持したい場合、この賞金を正しい取扱いを行うことは、そのサーファーの自己責任となります。アマチュアは賞金を拒否することができ、その場合WSLは賞金を保持し、アマチュアには賞金の代わりに参加料が返金されます。

1.15 **競技不参加**

- (a) CTサーファーは、参加資格のあるすべてのCT競技に参加しなければなりません。CT競技に参加しなかった場合、規則14.12に記載された懲罰が課せられ、CTサーファーは本規則1.15に別段の記載がある場合を除き、当該CT競技のCTシードポイント、ランキングポイント、賞金を受け取ることができません。これらの不参加者の交代は、規則1.08に従って決定されます。

- (b) 情状酌量の余地のない事情、負傷、妊娠などによる不参加は、ツアーアンドコンペティション事務局によって承諾される場合があります。負傷や妊娠の場合は、できるだけ早く医師の診断書をWSLに送付してください。WSLメディカルコーディネーターは、これらすべての事柄を検討し、確認する権利を有します。

- (c) CTサーファーがWSLメディカルコーディネーターに承認される診断書を提出した場合、CTシードポイントとランキングポイント（男子は265ポイント、女子は1045ポイント）は最低限付与されますが、そのサーファーが出場できなかったCT競技の賞金は得られません。

- (d) CTサーファーがパンデミック対応事項の結果として、またはパンデミック対応事項に関連してCT競技に参加することができず、CT競技への参加を妨げるような制限を裏付ける証拠を提出し、それがツアーアンドコンペティション事務局に承認される場合、CTサーファーはCT競技の最低CTランキングポイントと最低賞金を得られます。

(e) 意図的に省略

- (f) シード権のあるCTサーファーが、競技ウィンドウ開始の24時間前までにCT競技会場に到着している場合、ツアーアンドコンペティション責任者に、負傷のため第1ラウンドのヒートには参加せず、第2ラウンドのヒートには参加する可能性があることを伝えられた場合、そのCTサーファーのスポットは確保されます。CTサーファーの負傷と2ラウンド目のヒートに間に合うかに関する医師による診断書は、この便宜が図られる前にWSLメディカルコーディネーターに提出されていなければなりません。もしそのサーフ

ァーが2ラウンド目のヒートのパドルアウト時間にチェックインしなかった場合、規則1.08に従って交代選手がそのヒートの場所を提供され、CT競技に現れなかった（しかしツアーおよび競技責任者に不参加の旨は伝えていた）場合と同様の罰則を受けることとなります。

- (g) シード権のあるCTサーファーが、ツアーアンドコンペティション責任者に第1ラウンドのヒートに参加しないことを告げず、第1ラウンドのヒートに出場しなかった場合、第1ラウンドのヒート終了後に交代選手がそのポジションを獲得し、交代選手は第2ラウンド以降のヒートで再シードされます。ヒートの再シードは第3戦以降にのみ行われます。
- (h) CTサーファーがラウンド3以降のヒートに来なかった場合、対戦相手が遅れて来た場合に備えて、ヒートに参加する他のCTサーファーは単独でサーフィンをしなければなりません。ツアーアンドコンペティション責任者は、CTサーファーが予定されていたヒートに出場しないことを知らされ確定した場合、影響を受けるヒートの走行時間を短縮することで、1日のスケジュールを調整することができます。
- (i) もしCTサーファーがCT競技に参加し、その特定の競技向けトレーニング/ウォーミングアップ中に負傷し、そのためその競技に出場できなくなった場合、交代したサーファーがそのポジションを引き継ぎます。大会開始の2日前までにサーファーの出場辞退があった場合、ヒートドローは再シードされます。大会開始前日にサーファーが棄権した場合、交代するサーファーが同じヒートに出場します。交代するサーファーは2回戦以降のヒートで再シードされます。負傷したCTサーファーには最低ポイントと賞金が与えられ、交代するサーファーには次のラウンドに進出した場合のみ賞金の残額が付与されます。

1.16 CT 競技延期と中止、サーフィンシーズン中止

- (a) **競技が開始された場合 - CT 競技を終了するための競技ウィンドウの延長**：CT競技に残るCTサーファーは、CT競技を終了するためにCT競技のウィンドウを延長する決定に関して、ミーティングを開いてWSLと協議できます。ただし、最終的な決定は、WSLとサーフィンスポーツの最善の利益を考慮し、WSLが独自の裁量で行うこととなります。
- (b) **競技が開始された場合 - 不可抗力またはサーフ不足によるCT競技のキャンセル**：CT競技が不可抗力または「サーフ不足」の理由でWSLによってキャンセルされた場合、以下が適用されます：
 - (i) 賞金は、CTサーファーがCT競技の次のチャンスで敗退した場合に受けられる順位に応じてCTサーファーに対して支払われます。賞金の残額はCTサーファー間に均等に分配されます。
 - (ii) ラウンドが完了しなかった場合、各CTサーファーには、前のラウンドで獲得したCTランキングポイント、またはCT競技がラウンド1の途中でキャンセルされた場合は最下位のCTランキングポイントが付与されます。

- (iii) ラウンドが終了した場合、各CTサーファーはそのラウンドで獲得したCTランキングポイントを得られます。
 - (c) **競技が開始されていない場合 - いかなる理由でも CT 競技延期になった場合で、WSL によって競技が延期された場合、以下が適用されます：**
 - (i) 賞金はCTサーファーには支払われません。
 - (ii) CTサーファーが獲得できるCTランキングポイントはありませ
 - (d) **競技が開始されていない場合- 不可抗力（「サーフ不足」を除く）によるキャンセル：WSL が不可抗力でCT 競技をキャンセルした場合、以下が適用されます：**
 - (i) CT競技の最低賞金は、参加したCTサーファーに支払われま
 - (ii) CTサーファーが獲得できるCTランキングポイントはありませ
 - (iii) 上記にも拘わらず、サーフィンシーズン中に複数のCT競技がキャンセルされた場合（サーフィンシーズンがキャンセルされた場合を含む）、WSLはそのような追加的にキャンセルされた CT 競技に対して最低賞金が支払われるかどうかを独自の裁量で決定します。
 - (e) **競技が開始されていない場合- サーフ不足によるキャンセル：WSL がサーフ不足を理由に CT 競技をキャンセルした場合、以下が適用されます：**
 - (i) CT競技の賞金は、サーファー間で均等に分配されます。
 - (ii) CTサーファーが獲得できるCTランキングポイントはありませ
- 1.17 **競技への不参加：**CT サーファーは、サーフィンシーズン中のすべての CT 競技への出場義務に関するチャンピオンシップツアーアスリート同意書を遵守しなければなりません。
- 1.18 **妊娠：**CT サーファーが妊娠中から出産後に競技に復帰するまでの間、妊娠中の CT サーファーは、各 CT 競技において出場・不出場の意思を書面で通知しなければなりません。この通知は、競技開始日の 21 日前までに、ツアーアンドコンペティション事務局を通じて WSL に提出されなければなりません。CTサーファーが出場することを確認した後で、競技開始日前に不出場を決定した場合、CT競技の賞金は無効になりますが、CTランキング ポイントは最低限付与されます。妊娠中のCTサーファーは、CT競技の賞金およびCTランキングポイントを受け取るために、ツアーアンドコンペティション事務局のメンバーとCT競技で連絡を取ってください。いかなる状況においても、WSLは妊娠中のCTサーファーが移動や競技に関して受けた医師のアドバイスを厳守するよう強く奨励し、妊娠中のCTサーファーはいつでもWSLにそのような医師のアドバイスを開示するよう求められる場合があります。さらに、妊娠中の CT サーファーが WSL に CT 競技への出場の意向を伝え、WSL が妊娠中の CT サーファーの安全性に懸念を抱いた場合、WSL は妊娠中の CT サーファーに対し、CT 競技への出場前に適切なメディカルクリアランス書類の提出（必要であれば、個別の健康診断を受けること）を要求する場合があります。妊娠の詳細

- 細および開示された医師の医学的助言を、WSLは秘密に保持します。
- 1.19 **脳震盪**：すべての CT サーファーは、WSL が採用した脳震盪プロトコルの条件に従うものとします。また、練習中や競技中に脳震盪が発生した場合、脳震盪を起こしたCTサーファーは、脳震盪に精通した医師の診断を受け、競技復帰の許可が下りるまで、競技に復帰することはできません。CT サーファーは、CT 競技に出場する前に、WSL に適切な医療許可の書類を提出しなければなりません。開示されたいかなる医師の医学的助言も、WSLは秘密に保持します。
- 1.20 **CT 費**： CT 競技ワイルドカードおよび競技交代者は、WSL に参加費 US\$2,000 を支払う必要があり、WSL が承認した CT 競技については、サーフシーズン中に参加費を支払う必要はありません。競技開始日までに参加費の支払いがない場合は、賞金から差し引かれます。
- 1.21 **WSL 以外の競技 への 出場**：CT サーファーは、チャンピオンシップツアー選手契約に記載される WSL が公認しない競技に関する義務を遵守しなければなりません。
- 1.22 **閉鎖空間としての公式区域**
- (a) CT競技施設内の閉鎖された区域または事務所は、すべて 禁煙とします。
 - (b) アルコールは、指定されたVIPエリア（ある場合）のみで摂取できます。
- 1.23 **セキュリティパス/バリアフリーエリア**
- (a) CT サーファーは、CT 競技会場および CT サーファー用に確保されたエリアに入る際、WSL のすべてのセキュリティ要件に従うことが要求されます。
 - (b) WSL のセキュリティ要件および安全計画に従い、各 CT サーファーには、WSL によって承認されたサポートスタッフのメンバーのためのゲストパスが 1 枚提供されるものとします。このパスは本人のみが使用するものであり、第三者に譲渡または転売することはできません。
- 1.24 **CTサーファーリタイア**
- (a) WSL は要請があれば、CT に出場したサーファーに対し、サーフィンシーズン開始前に、リタイアサーファーとなるために提供される通知の書式を提供し、リタイアサーファーが資格取得を通過した各ランキング（CT またはチャレンジャーシリーズ）から次の順位のサーファーと交代します。詳細は規則1.08を参照してください。
 - (b) サーフィンシーズンにおいて最初のレギュラーシーズンCT競技が開始された時点で、リタイアサーファーとなったCTサーファーは、シーズン交代選手と入れ替わります。
 - (c) リタイアまたはCTサーファーのリタイア受諾は、チャンピオンシップツアー選手契約または同意した参加条件に基づくサーファーの義務を放棄するものではありません。
- 1.25 **WSL 有限責任** WSL は、CT サーファーが WSL 代表者からの通知（書面、口頭、またはその他）を CT への資格付与または降格（第三者への金銭的またはその他の約束を含む）に関連して信頼した場合、その責任を負いません。
- 1.26 **WSL QS大会での競技**。QS大会への出場を希望するCTサーファー

は、競技開始日の少なくとも**30**日前までに**WSL**に通知しなければなりません。**WSL**は、独自の裁量で当該参加を承認する権利を有するもの
とします。

第2章：資格取得シリーズと チャレンジャーシリーズ競技

本章は、WSL QS および チャレンジャーシリーズ大会に出場するすべての競技およびサーファーに適用されます。

2.01 ライセンス料

- (a) QSおよびチャレンジャーシリーズ大会のライセンス料は、ライセンス地域事務所が定めます。
- (b) すべての競技ライセンス保持者は、前年の9月30日までに、競技日程を提案し、関連する WSL 競技ライセンス契約書に署名することで、競技の約束を確認するものとします。
- (c) すべての競技において、ライセンス料の50%は、競技の180日前にライセンス地域に支払われます。残金は競技開始日の90日前までにお支払いください。新規競技は、WSLスケジュールへの掲載料として、ライセンス料の100%を支払う必要があります。
- (d) 本規則のいずれかの期限までにライセンス料が支払われない場合、その競技は WSL スケジュールから即座に削除され、競技の日程は空白となります。その後、競技ライセンス保持者が当該競技のライセンスを要求した時点で、ライセンス料全額の2倍が地域事務所にも全額支払われます。

2.02 競技のアップグレード/ダウングレード

- (a) 競技ライセンス保持者が、ライセンス競技のアップグレードを望む場合、少なくとも45日前までに地域事務所に通知しなければなりません。すべてのアップグレードの最終承認は、ツアーアンドコンペティション事務局が行います。
- (b) 競技ライセンス保持者が、ライセンス競技のダウングレードを希望する場合、少なくとも90日前までに地域事務所に通知しなければなりません。これを怠った場合、格下の競技のライセンス料と同額の罰金が科せられます。

2.03 **競技のキャンセル**： 競技ライセンス保持者が競技をキャンセルする場合、キャンセル前に支払われたライセンス料は返金されません。賞金の10%に相当する額のペナルティ料が WSL によって科されます。このペナルティは、競技開始日の90日前までに支払わなければ、WSL はその競技を将来のサーフィンのシーズン計画で復活させることはできません。

2.04 **競技内容の変更**： 競技ライセンス保持者が、予定競技開始日から60日以内に、ライセンスされた競技の日付または場所の変更を希望する場合、競技ライセンス保持者は、WSLに競技の賞金全額の50%を支払わなければなりません。この支払いは返金不可とし、競技開催時の賞金支払いに充当されます。競技がそのサーフィンのシーズンに開催されなかった場合、WSL に支払われた賞金は没収されます。支払いは、WSLで競技の場所/日程の変更が確定してから7日以内にお願います。競技ライセンス保持者は、これらの変更が承認されたことによるサーファーまたは WSL で発生した費用（宿泊費、旅費、その他の合理的な費用に対する返金不可の支払いを含む）を負担する事とします。

2.05 賞金課税

- (a) 賞金から税金が差し引かれる場合、競技ライセンス保持者は、各

サーファーに対し、返金に適用される書式と共に、控除額の詳細を記した書類を提供しなければなりません。地域事務局は、この要件が競技参加ライセンス保持者に公表され次第通知され、地方税務局から納付した税金の名称と金額が記載された領収書（写し）を貰ってください。

- (b) 競技ライセンス保持者が競技終了から3ヶ月以内に本規則を遵守しない場合、競技ライセンス保持者はWSLに速やかに説明を行い、競技ライセンス保持者は関連税法を遵守してください。競技ライセンス保持者は、競技ライセンス保持者による本規則の違反に対するサーファーへの補償に関するWSLのいかなる要請にも従わなければなりません。
- (c) 賞金の最低手取り額を維持する目的で、賞金に税金相当分が加算されることはありません。

2.06

賞金

- (a) 新規競技の場合、その格付け競技の賞金総額に相当する現金が、競技開始日の少なくとも90日前までに地域事務局に支払われなければなりません。この金額が支払われない場合、競技はキャンセルされ、ライセンス料は没収されます。競技が90日以内にキャンセルされた場合、現金およびライセンス料は没収され、サーファーおよびライセンス地域が負担した費用に相殺されます。
- (b) QSおよびチャレンジャーシリーズ競技の場合、賞金最低額の内訳は付録Cに記載されています。
- (c) 外国人サーファーのQSおよびチャレンジャーシリーズ競技の賞金は、銀行振込またはUSドルの現金で支払われなければなりません。現地人は小切手または現地通貨の現金で支払うことができますが、これらは支払日の米ドル買いレートで計算しなければなりません。
- (d) 本規則書に記載された賞金の内訳に変更がある場合は、WSLの承認を得なければなりません。
- (e) 銀行振込以外の方法で支払う場合、その場での賞金はすべて、サーファーが競技から敗退した日の終了時まで支払われます。銀行振込で支払う場合、競技ライセンス保持者は、銀行口座の詳細を提供したすべてのサーファーに対する支払いを完了するまで、競技ウィンドウの終了から7日間を要します。競技終了日の7日後に銀行口座の詳細を提供しなかったサーファーの賞金は、ライセンス地域事務局により没収されます。
- (f) すべての賞金の支払いは、関連する競技ライセンス契約に従い、競技終了後14日以内に、競技ライセンス保持者からサーファーに直接支払われます。
- (g) 賞金の支払いが遅れた場合、WSLが競技ライセンス保持者に請求する権利を放棄することなく、以後の競技の開催権を失うことを含む深刻な結果を招く事となります。
- (h) すべてのサーファーは、競技場から退場する前に、競技ライセンス保持者から要求された場合、書類に署名するか、身分証明書（パスポートまたは有効な運転免許証）のコピーを提出しなければなりません。これを怠った場合、賞金が失われる場合があります。競技ライセンス保持者は、この書類を受け取るために、各日

の競技開始から終了後30分までの競技時間中、会場に人員を配置してください。サーファーが必要書類の提出または記入を怠った場合、競技終了日から7日以内に提出しなければ、賞金は没収されます。

2.07 スケジュールリング

- (a) WSL は、現在開催される競技に対し、競技の日程を決定する権利を認めるよう、合理的な努力を払います。しかし、将来のツアーの増加や他の競合により、競技の再スケジュール調整が行われる可能性があり、WSLは常に競技の日付を指定する唯一の裁量権を有します。
- (b) 規則 2.01(d)および WSL のその他の要求事項を満たした競技だけが、WSL の独自の判断で WSL スケジュールに掲載されます。
- (c) QSおよびチャレンジャーシリーズ競技のスケジュールリング：
- (i) QS5000 競技は、年間を通じていつでも実施が可能で、予定される QS 競技または CT 競技と同時に開催することができます。
- (ii) チャレンジャーシリーズ競技は、ツアーアンドコンペティション事務局が決定するチャレンジャーシリーズシーズン中のみ開催可能であり、CT競技や他のチャレンジャーシリーズ競技と同じ日程では開催できません。
- (d) すべての WSL 競技の日程は、WSL スケジュールに記載されており、WSLの独自の判断により、いつでも変更される可能性があります。もし 競技開始日から 30 日以内に WSL スケジュールの変更に関連してサーファーに費用が発生した場合、ツアーアンドコンペティション事務局は費用の償還申請を検討し、サーファーが競技ライセンス保持者に対して費用の償還を請求できません。

2.08 **フォーマット：** 以下のフォーマットがすべての男子 チャレンジャーシリーズ競技に適用されます

フォーマット A			
	ヒートナンバー	ヒート時間 (分)	シード設定
ラウンド80	4人による8ヒート	30分	32シード
ラウンド64	4人による16ヒート	30分	48シード
ラウンド32	4人による8ヒート	30分	
ラウンド16	2人による8ヒート	30分	
準々決勝	2人による4ヒート	30分	
準決勝	2人による2ヒート	30分	
決勝	2人による1ヒート	30分	
合計	47ヒート	23時間30分	

以下のフォーマットが全男子QS競技に適用されます：

(a) 男子 QS5000

フォーマット B			
	ヒートナンバー	ヒート時間 (分)	シード設定
ラウンド160	4人による16ヒート	25分	64シード
ラウンド128	4人による16ヒート	25分	32シード
ラウンド96	4人による16ヒート	25分	32シード
ラウンド64	4人による16ヒート	25分	32シード
ラウンド32	4人による8ヒート	25分	
ラウンド16	2人による8ヒート	25分	
準々決勝	2人による4ヒート	25分	
準決勝	2人による2ヒート	25分	
決勝	2人による1ヒート	35分を推奨、 ヘッドジャッジ が時間を決定す ることも可能。	
合計	87ヒート	36時間 25分	

複合競技の場合、またはウェーブの状態が悪く時間的制約がある場合、ラウンド16は4ヒートで行われます。

複合競技において、ラウンド160は、サーフィンディレクター、WSL ツアーディレクター、ヘッドジャッジの判断により、ヒート時間を20分とすることができます。

(b) 男子 QS1000、QS3000

フォーマット C	ヒートナンバー	ヒート時間 (分)	シード設定
ラウンド160	4人による16ヒート	20分	64シード
ラウンド128	4人による16ヒート	20分	32シード
ラウンド96	4人による16ヒート	20分	32シード

ラウンド64	4人による16ヒート	20分	32シード
ラウンド32	4人8ヒート	20分	
ラウンド16	4人による4ヒート	20分	
準々決勝	2人による4ヒート	20分	
準決勝	2人による2ヒート	25分	
決勝	2人による1ヒート	30分	
合計	83ヒート	28時間	

時間が許せば、QS1000-3000の場合、フォーマットCのヒート時間を25分まで増やすこととします。

すべての女子チャレンジャーシリーズ大会には以下のフォーマットが適用されます：

フォーマット D			
	ヒートナンバー	ヒート時間 (分)	シード設定
ラウンド48	4人による8ヒート	30分	32シード
ラウンド32	4人による8ヒート	30分	16シード
ラウンド16	2人による8ヒート	30分	
準々決勝	2人による4ヒート	30分	
準決勝	2人による2ヒート	30分	
決勝	2人による1ヒート	30分	
合計	31ヒート	15時間30分	

以下のフォーマットが全ての女子QS競技に適用されます：

(a) 女子QS5000競技

フォーマット E	ヒートナンバー	ヒート時間 (分)	シード設定
ラウンド72	4人による4ヒート	25分	16シード
ラウンド64	4人による16ヒート	25分	56シード
ラウンド32	4人による8ヒート	25分	
ラウンド16	2人による8ヒート	25分	

	ト		
準々決勝	2人による4ヒート	25分	
準決勝	2人による2ヒート	25分	
決勝	2人による1ヒート	35分を推奨。 審判長が時間を決定することも可能。	
合計	43ヒート	18時間5分	

複合競技の場合で、またはウェーブのコンディションが悪く時間的制約がある場合、ラウンド16は4ヒートで行われます。

複合競技において、ラウンド72は、サーフィンディレクター、WSLツアーディレクター、ヘッドジャッジの判断により、ヒート時間を20分とすることができます。

(b) 女子QS1000-QS3000種目

フォーマット F	ヒートナンバー	ヒート時間 (分)	シード設定
ラウンド64	4人による8ヒート	20分	32シード
ラウンド48	4人による8ヒート	20分	16シード
ラウンド32	4人による8ヒート	20分	16シード
ラウンド16	4人による4ヒート	20分	
準々決勝	2人による4ヒート	20分	
準決勝	2人による2ヒート	25分	
決勝	2人による1ヒート	30分	
合計	35ヒート	12時間	

時間がある場合、QS1000-3000では、フォーマットFのヒート時間を25分まで増やすこととします。

全てのQS1000-QS5000、LQS、JQS男女競技は、決勝8サーファー（準々決勝）以降を2サーファーヒートとして行わなければなりません。ツアーアンドコンペティション事務局の承認を得れば、4サーファーヒートを使用することができます。

QSおよびチャレンジャーシリーズ競技のヒートは、サーファーの事情に関わらず、当初の出走順から変更されることはありません。ただし、競技間の移動時間が限られているため、サーファーのボードが到着していないグループがある場合、サーフィンドイレクター、サーファー代表、WSLツアー代表は、この例外がサーファーに適用されるかどうかをケースバイケースで決定する事とします。

男子QSおよびチャレンジャーシリーズ大会：

- (a) **QS1000および QS3000 競技**は、フォーマットCを使用し、最低 96 名のサーファーが参加でき、最低 3 日間のランニングタイムを設けなければなりません。
- (a) **QS5000競技**は、フォーマット B を使用し、最低128 名のサーファーが参加でき、最低 5 日間のランニングタイムを設けなければなりません。
- (c) **チャレンジャーシリーズ競技**は、フォーマットAを使用する80人のサーファーが参加できなければなりません。

女子QSおよびチャレンジャーシリーズ大会：

- (a) **QS1000- QS3000 競技**は、最低48人のサーファーが参加でき、フォーマットFを使用しなければなりません。
- (b) **QS5000**は、最低72名のサーファーがフォーマットEを使用し、最低3日間の走行時間を確保しなければなりません。
- (c) **チャレンジャーシリーズ競技**は、フォーマットDを使用する48名のサーファーが参加できなければなりません。

2.09
技

QS/チャレンジャーシリーズ競技におけるトライアル&その他の競

- (a) 競技ライセンス保持者が、WSL から QS 競技のためのトライアルを許可された場合、そのトライアルの勝者のために、メインの QS 競技のポジションが 1 つ空く事になります。
- (b) これらのトライアリストの内訳は、QS ランキングから少なくとも 50%（この 50% に適用される現行年度と前年度の QS ランキング比率は、ツアーアンドコンペティション事務局が決定）、また、参加数が超過している場合はライセンス地域が 50% を選択しなければなりません。
- (c) QS 競技では、ライセンス地域に対し、その地域から上位 4 名までの JQS サーファーにポジションを与えなければなりません。本規則 2.09(c) に従って実施されるトライアルに出場するサーファーに、QS ランキングポイントが付与されます。
- (d) もし QS 競技において、WSL が地域サーファー限定のトライアル実施を許可した場合、最大 1 ポジションが空き状態となり、選考はライセンス地区に委ねられます。QS ランキングポイントは、本規則 2.09(d) に従って実施されるトライアルに出場するサーファーには与えられません。
- (e) トライアルの資格取得は、ツアーアンドコンペティション事務局が許可しない限り、ライセンスされた大会の日程より前に行われなければなりません。
- (f) 他のカテゴリーを開催するチャレンジャーシリーズ競技や、80 競技形式の資格取得を決定するトライアルは、該当する競技に必要な最短日数が割り当てられる前に開催されなければなりません。
- (g) 競技に特有でない規則は、すべてトライアルに適用されます。
- (h) トライアルでは、WSL の資格を持つ審査委員会が使用可能であれば、本大会と同様に使用されます。これらのジャッジが、他の競技への参加や競技への移動のために不在の場合、その代わりのジャッジは WSL 公認ジャッジでなければなりません。すべてのジャッジは、WSL の要求に従い、完全な優遇措置を受ける事とします。
- (i) トライアリストとは、現在のシード状況が、規則 2.08 で提案される QS/チャレンジャーシリーズ競技のサイズに許容されるシードサーファーから外れているサーファーの事です。
- (j) トライアルから脱落したサーファーは、補欠リストの元のポジションを保持します。
- (k) 競技スポンサーが、エクспレッションセッション、セレブリティヒートなど、追加競技および/またはサーフィンに関連した活動を競技ウィンドウ内で行うことを希望する場合、競技ウィンド

ウの60日前までにツアーアンドコンペティション事務局から事前の承認を得なければなりません。

- (l) WSL は、第三者（競技ライセンス保持者を含む）により開催されるトライアル、またはそれらに起因する責任について、たとえ競技開催枠内で実施することが許可されていたとしても、一切の責任を負いません。
- (m) 競技トライアルに出場するすべてのサーファーは、WSL 会員になることが推奨され、競技のライセンス保持者/トライアルプロモーターがサーファーに WSL の会員であることを求めない場合、そのライセンス保持者は、すべてのサーファーに対して、この規則書に拘束されることに同意し、健康保険に加入し、それを維持することを要求することを含め、トライアルに関連するすべての事柄について責任を負います。競技ライセンス保持者、トライアルプロモーターが何を表明しようとも、トライアルサーファーは WSL メンバーになることなく競技に出場することはできません。

2.10 QS : チャレンジャーシリーズ ランキングポイントおよび地域ランキング

- (a) チャレンジャーシリーズポイントおよび地域QSポイントは、付録Bに示されたポイントスケジュールに従って割り当てられません。
- (b) 年末チャレンジャーシリーズまたは地域別QSランキングの資格取得通過順位が同順位の場合、以下の方法で同順位を解消します：
 - (i) 各サーファーについて、そのサーフィンシーズンのチャレンジャーシリーズ/地域QS競技の最高の結果を、そのベストパフォーマンスからワーストパフォーマンスまでさかのぼってカウントします。その結果、一方のサーファーがもう一方のサーファーの成績を上回った場合、同順位は破棄され、そのサーファーがその順位を維持し、もう一方が下位となります。同順位が解消できない場合は、(ii)が適用されます；および
 - (ii) サーフィンシーズンにおけるチャレンジャーシリーズ/地域QSでのヒート勝利数の合計が多いサーファーが同順位ポジションを維持し、他方が下位のポジションとなります。ただし、それでも同順位の場合は、当該サーフシーズンにおけるチャレンジャーシリーズ/地域QSの平均ヒートスコアが多いサーファーが同順位ポジションを維持し、他方が下位のポジションとなります。サーフィンシーズン中のチャレンジャーシリーズ/地域QSでのヒート勝利数の合計を計算する際、ラウンド1でのヒート勝利数は集計されません。
- (c) 地域別QSランキングは、現在のサーフィンシーズン中にカウントされます。各地域でカウントされる競技数は、ツアーアンドコンペティション事務局と関連地域事務所が決定し、この情報は地域のサーファーに公開されます。その結果、累積ポイントがそのサーファーの「地域ポイント」となり、地域内の他のサーファーに対するランキングがそのサーファーの「地域QSランキング」

となります。

- (d) サーフィンシーズン終了時に地域別QSランキングで最高位を獲得したサーファーが、翌サーフィンシーズンの地域チャンピオンとなります。
- (e) 本規則2.10に反する規則があっても、QS競技におけるシード順位の決定において、サーファーのQSランキングに同順位がある場合、その同順位は規則2.21に規則される通り取り消されます。

2.11 資格取得に含まれる競技

チャレンジャーシリーズ

チャレンジャーシリーズ競技が7つある場合はベスト5、チャレンジャーシリーズ競技が6つある場合はベスト4、チャレンジャーシリーズ競技が5つある場合はベスト3、チャレンジャーシリーズ競技が4つ以下の場合にはすべての結果が集計されます。

地域 QS シリーズ

競技会数のカウントは、ツアーアンドコンペティション事務局および関連する地域事務所が決定します。

2.12 負傷または妊娠のランク調整

- (a) 地域 QS または チャレンジャーシリーズ競技の負傷や妊娠の調整について考慮してもらうには、WSL は書面による申請書、承認できる内容の医療証明書、およびサーファーが該当年の地域 QS またはチャレンジャーシリーズ競技の 50%以上を欠場している旨を受理しなければなりません。さらに、そのサーファーは、負傷した時点でQSランキングが男子は150位以内、女子は75位以内でなければなりません。ツアーアンドコンペティション事務局によって調整が承認された場合、サーファーの最終ランキングはQSランキングに、男子は22、女子は10を足したものとなります。
- (b) サーファーは、そのサーフィンのシーズン中に負傷し、ミッドシーズン日以降まで競技に参加できなかったことを確認する診断書を提出した場合、シーズン中間の負傷によるランキング調整を申請することもできます。ツアーアンドコンペティション事務局で調整が承認された場合、サーファーはその年の初めからシード権を獲得し、前年度のランキングを上回るか、または年末の地域別QSランキングまたはチャレンジャーシリーズランキングに集計される最低数のQS/チャレンジャーシリーズ競技に出場するまで、ランキングは獲得しない事とします。ツアーアンドコンペティション事務局は、極端な状況により制限時間を超過した場合、サーファーのランキング調整を承認することができます。WSL メディカルコーディネーターは、サーファーの健康状態および診断書の有効性を評価する際、独自の裁量権を持つものとします。

2.13 資格取得シリーズ料金

国際競技

- (a) WSL QS/チャレンジャーシリーズ競技のうち、自国外の開催競技に出場しようとする選手は、国際サーファー料金を支払い、そのサーフィンシーズンについて、MemberProを通じて提供される旅行保険に加入しなければなりません。
- (b) 全ての競技参加費は WSL オンライン参加システムに準ずる事と

します。

- (c) サーファーが関連会費を全額支払っている場合、地域別QS/チャレンジャーシリーズ競技に参加する上での追加料金は必要ありません。

地域競技

- (a) すべての WSL 地域において、該当する地域事務所を設定されたサーファー料金が、その地域のみでの出場を希望する者に適用されます。
- (b) QS1000-5000競技において、地域サーファーは、規則2.13(a)(地域競技)に記載される通り、地域事務所が定めるサーファー料金を支払うことができます。それらはサーファーシーズンのシード権に先行して割り当てられます。
- (c) 男子チャレンジャーシリーズ競技への参加には、国際競技に適用される国際サーファー料金の支払いが必要となります。
- (d) QS/チャレンジャーシリーズ競技の賞金ラウンドに進出したサーファーは、規則2.13(a)(国際競技)に記載される通り、地域または単発のサーファー料金と国際サーファー料金の差額を支払わなければなりません。この手数料の差額は、前払いでない場合、獲得賞金から差し引かれます。

該当する場合、サーファー料金を支払わずに出場したサーファーは、その競技のポイントを獲得できず、それまでのシード権をすべて失います。 MemberProを通じて海外旅行保険に加入していない場合、サーファーの出場は認められません。

CTサーファーは、すべてのWSL QS/チャレンジャーシリーズ競技に該当する参加費を支払いますが、QSサーファー料金を支払う必要はありません。

WSLが指定するライフメンバー、またはCT世界チャンピオンになったことのあるライフメンバーは、QSサーファー料金を支払う必要はありませんが、WSL QS/チャレンジャーシリーズ競技の参加料金を支払い、MemberProを通じて旅行保険に加入する必要があります。

WSL競技に参加する際、アマチュアとプロの料金に差はありません。

アマチュアは、プロサーファーと同様にポイント、賞金、シード権を得ることができます。アマチュア選手の氏名はWSLランキングに掲載され、アマチュアとして表記されることはありません。この場合、アマチュアの地位に関連するあらゆる現地規則や法律が適用されます。アマチュアがその年にプロに転向しても、それまでに獲得したポイントを失うことはありません。

2.14 **参加費：** すべての競技の参加料は、MemberProに規定される通りとします。

2.15 **競技登録と参加手続**

- (a) すべての QS/チャレンジャーシリーズ競技への登録は、サーファーにそれができない酌量すべき事情がある場合を除き、MemberProを通じてオンラインで行う必要があります。その場

合、サーファーは直ちに WSL 地域事務所連絡する必要があります。地域事務所の連絡先情報は、WSL ウェブサイトの競技者サービスのページで入手できます。

- (b) すべてのオンライン QS/チャレンジャー競技登録は、シード権を維持するために、競技参加締切日（MemberPro に反映される）の米国太平洋岸時間午後 5 時までに行われなければなりません。
- (c) 参加費の支払いが拒否された場合、サーファーには E メールにて通知が送られ、7 日間の猶予が付与されます。7 日経っても入金がない場合、そのサーファーは QS/チャレンジャーシリーズ競技の参加リストおよびシードリストから削除されます。そのサーファーがその後 QS/チャレンジャーシリーズ競技に再参加した場合、QS/チャレンジャーシリーズ競技への参加が完了した時点で、他の新規参加と同様にシードリストの最下位に置かれます。
- (d) 競技ウィンドウが重複している複数の QS/チャレンジャーシリーズ競技に参加する場合、そのサーファーはより高いレーティングの QS/チャレンジャーシリーズ競技に参加することになります。QS/チャレンジャーシリーズ競技のレーティングが同じである場合、サーファーには早急に連絡が行き、7 日以内にどちらの QS/チャレンジャーシリーズ競技に出場するかを返答する事とします。サーファーが 7 日以内に返答しなかった場合、サーファーが最初に参加した QS/チャレンジャーシリーズ競技への参加のみが、MemberPro によって確認されます。
- (e) 締切日以降、競技開始日までに受領された参加代金は、QS/チャレンジャーシリーズ競技が定員に達するまで先着順で取り扱われます。
- (f) 競技主催者はいかなる参加も受け付けず、サーファーに MemberPro を紹介してください。
- (g) ビーチ参加は、競技会場の WSL 地域代表と行わなければならない、ビーチ参加を行ったサーファーは、補欠リストに登録されます。追加情報については、規則 2.23 を参照してください。

2.16

会員資格のためのサーファー地域資格

- (a) WSL は、サーファーの会員資格（「**地域資格**」）の変更の是非を決定するために、居住地に関する条件を設けています。これらの要件は複雑です。その結果、WSL 地域に申し込むサーファーは、メンバーシップに適用される居住資格について、よく質問を受けます。以下の規則は、サーファーに WSL の居住要件を知ってもらい、よくある質問に答えるためのものです。以下の情報は、居住に関する法律や規制の完全な説明ではないため、州、準州、または国での実際の居住に依存すべきではありません。WSL に関する考慮事項は、随時変更される可能性があり、特定地域に最も関連する考慮事項は、各地域から提供されます（各地域事務所の連絡先は、本規則書の最後のページに記載されています）。
 - (i) サーファーの**地域資格変更申請を承認する際に考慮される居住要件とは？** 地域資格の変更を受けるためには、サーファーは少なくとも WSL 地域事務所が定めた期間、地域の**正真正銘の居住者**でなければなりません。期間は地域によって異なるので、その地域の条件を確認してください。さ

らに、サーファーが成人であるか未成年であるかに拘わらず、申請前の期間において、申請する地域の合法的な居住者でない場合は、両親または後見人が税務上の扶養家族として申請していない状況が必要です。

(ii) 「**正真正銘の居住地**」とは？**正真正銘の居住地**は、住所の法的概念と同義です。人の住所とは、その人が永住し、不在の後に戻る場所のことです。ある地域の正真正銘の居住者となるためには、サーファーはその地域に物理的に存在し、その地域を永住の地とする意思を示さなければなりません。

(iii) **サーファーは、WSL 地域が恒久的な住処であるという意思をいかに証明するか。**サーファーの意図をたった一つの行為で示すことはできません。WSL は、地域資格の変更申請を評価する際、その地域に特有な他の考慮事項とも照らし合わせながら、複合的な行動を評価します。意図を示す可能性のあるすべての行動の中で、最も重要なものは以下の通りです：

- (v) 当該地域の国および／または州において、居住者個人所得税申告書を提出すること；
- (w) 当該地域の現在の運転免許証；
- (x) 当該地域で住宅を所有または継続的に賃貸していること；
- (y) 当該地域で永続的または継続的に雇用されること。
- (z) 当該地域に配偶者、子供、その他の近親者がいること。

その他、その地域を永住の地とする意思を示すその他の証拠も申請書に添付すること。

(b) **WSL 地域会員資格のための居住要件について、他に知っておくべきことは？**

(i) 会員資格のための正真正銘の居住者であるためには、サーファーは、申請する地域の国（またはその一部）の市民または永住者でなければなりません。

(ii) サーファーは2つの地域に同時に居住することはできません。言い換えれば、サーファーはその地域外に住所を維持しているような場合、ある国、例えばハワイの場合は米国の別の州の正真正銘の居住者であることはできません。

(iii) サーファーは、他の地域に移動するだけでは居住権を確立することはできません。この推定を覆すことができるのは、新地域に永住する意思を示す他の行動によるのみです。

(c) **サーファーが地域資格の変更を申請するためにすべきことは？**

サーファーが他地域のメンバーとして出場を希望する場合は、以下に従ってください：

- (i) サーファーの地域資格の変更が可能かどうかについては、本規則の情報をお読みください。
- (ii) 現在所属している地域事務所と、新たに所属を希望する地域事務所に連絡してください。
- (iii) その他、応募要件として検討される事項があれば、それも考慮に入れてください。

- (iv) WSL地域の変更を希望する場合は、本規則のガイダンスと関連する地域の要求事項を参照し、その証拠となる情報を添付して、文書で説明することとします。
- (v) 移籍を希望する地域に申請書を送付してください。
- (d) **誰がサーファーの申請可否を決定するか？** 該当地域のスタッフが、地域の要件、およびツアーアンドコンペティション事務局が決定するその他の規定に基づいて、サーファーの地域資格変更申請を受理の可否を決定します。サーファーが自分の申請に関する決定に同意しない場合、その理由をツアーアンドコンペティション事務局に提出することができ、事務局が独自の裁量で最終決定を下します。

2.17 参加確認

- (a) 競技の締切日に、受理されたサーファーにその旨が通知され、クレジットカードに **MemberPro**を通じて自動的に請求されます；但し、競技が定員に達していた場合、サーファーのクレジットカードには請求されません。競技が定員に達していた場合、サーファーは補欠リストに掲載されます。
- (b) 補欠リストに掲載され、本大会に繰り上げ出場するサーファーには、その時点でクレジットカードに請求が行われます。サーファーが補欠リストからの削除を希望する場合、サーファーは競技開始日前に**WSL**に通知しなければなりません。詳細は規則**2.17(c)**を参照してください。サーファーが競技に参加し、参加費が請求された後の返金はできません。
- (c) 参加が確認され次第、すべてのサーファーは競技前に義務付けられる安全に関するブリーフィングに出席し、競技のための参加証を受け取らなければなりません。

2.18 参加キャンセル、払い戻し、健康診断書

- (a) 規則**2.18(b)**に従い、競技締切日以降にサーファーが競技への参加をキャンセルした場合、そのサーファーにその競技の参加費は返金されません。
- (b) 競技開始日の7日前までに、WSL地域事務所に書面で負傷の届け出がなされ、規則**2.18(e)**に従った診断書が提出された場合、参加費から50ドルの事務手数料を差し引いた金額がサーファーに返金されます。
- (c) 競技参加締切後の競技参加のキャンセルは、競技名、キャンセルの理由、サーファーの詳細を記載した書面をEメールで cancellations@worldsurfleague.comに送付しなければなりません。
- (d) チャレンジャーシリーズ競技において、CTサーファーが競技参加をキャンセルした場合、ツアーアンドコンペティション事務局は、そのCTサーファーが競技締切日までに競技に参加していても、他のCTサーファーと交代させる権利を有します。
- (e) 規則**2.18(e)**で言及される競技会参加のキャンセルまたは負傷の通知後、健康診断書に日付を記入し、48時間以内に提出してください。WSLツアーディレクターは、提出された証拠が適切かどうかを判断します。

2.19 参加の選考

- (a) 地域別 QS1000-5000 競技およびチャレンジャーシリーズ競技の参加選考は、以下の選考手順で行われます（各サーファーが本規則書に従って QS/チャレンジャーシリーズ競技に正しく参加していることが条件です）。すべてのワイルドカードは、ツアーアンドコンペティション事務局、または同事務局が指名する代理人の承認を得なければなりません。
- (b) 地域別 QS 1000-3000-5000 ；
- (i) CTサーファー ；
 - (ii) 前年のチャレンジャーシリーズ最終ランキングで、前年および今後10年間（男子）および今後5年間（女子）のCTサーファー資格を持たない者(当年度のCT出場権を獲得していない者) ；
 - (iii) 地域ジュニアシード：当該地域の前年度ジュニアランキング上位男子3名、女子2名
 - (iv) 該当するQS競技のディフェンディングチャンピオン ；
 - (v) 過去5年間のCT世界チャンピオンを1名までとし、ライセンスリーグのCT世界チャンピオンを優先し、それがない場合は直近のCT世界チャンピオンを優先します。
 - (vi) 規則2.10(c)に基づく前年度の地域ランキングシードシーズン中の参加選択のため、地域は今年の地域ランキングに変えられる場合があります。これは、ツアーおよび大会事務局と協議の上決定され、該当する地域シリーズの開始日前に地域サーファーに通知されます ；
 - (vii) ワイルドカードは以下の通りです ；

ワイルドカード割当表

男女 - QS1000-QS3000				
競技フォーマット	ワイルドカード数	WSL選出ワイルドカード	競技ライセンス保持者が選択したワイルドカード	ラウンド
16人制	2	1	1	16
24人制	2	1	1	16
32人制	4	2	2	32
48人制	4	2	2	32
64人制	4	2	2	64
72人制	4	2	2	64
96人制	4	2	2	64
96人制以上	4	2	2	64
男女 - QS5000				
男子				
128人以上	6	3	3	1WSL/ ラウンド64、

				96、128 の各1競 技
女子				
60人以上	4	j2	2	1WSL/ ラウン ド48、 72の各1 競技

(c) チャレンジャーシリーズ：

- (i) ミッドシーズンカットに入らなかったCT男子12名、女子7名；
- (ii) 前年のチャレンジャーシリーズランキングから男子10名、女子5名；
- (iii) CTサーファーでありながら、CTシリーズ、チャレンジャーシリーズ共に再選を果たせなかった男子3名、女子2名；
- (iv) 次の通り割り当てされた男性 49 名、女性 30 名：
 - アフリカ - 男子5名 / 女子3名
 - アジア - 男子6名 / 女子4名
 - オーストラリア - 男子8名 / 女子5名
 - ヨーロッパ - 男子8名 / 女子5名
 - ハワイ - 男子6名 / 女子4名
 - 北米 - 男子8名 / 女子5名
 - 南米 - 男子8名 / 女子4名
- (v) 男女各1名の世界ジュニアチャンピオン；および
- (vi) 1競技につき男子5枚、女子3枚のワイルドカード。
CTサーファーでありながらCTシリーズにもチャレンジャーシリーズにも資格を得なかった男子は3枠、女子は2枠のチャレンジャーシリーズ出場枠の中に二重資格者がいた場合、CTサーファーであった者はCTサーファーに割り当てられた出場枠を獲得し、追加出場枠（二重資格によって生じた出場枠など）はチャレンジャーシリーズの次点サーファーに割り当てられます。
- (d) 競技締切日までに参加を受理されたサーファーは、QS/チャレンジャーシリーズ競技締切日現在、該当するランキング（参加選考順）順に配置され、該当するランキングがない場合は、参加日順に優先されます。
- (e) 本大会の締切日以降に参加を受理されたサーファーは、参加日順に優先されます。これらの参加は補欠リストの一番下に順番に配置され、サーファーはすべてのシード権を失います。
- (f) 残るすべてのポジションは、補欠リストのポジション毎に割り当てられます。
- (g) ハワイのQS競技については、現地の規制により、QS競技の許可が下り、日数が確定するまでは、競技の詳細を確定できません。従って、以下が適用されます：
 - (i) 3日間開催される競技は、96人または112人制を採用します。
 - (iii) QS競技（96人制）の参加選考は以下の通りです：
 - (x) 地元ハワイアンサーファー16名；および

(y) 規則2.19の規定が適用されます。

(h) 4日間のQS競技では、128人制が採用されます。

(i) 96人以上のフォーマットを使用するQS競技は、WSLで決定された選択要件が採用されます。

2.20 QSサーファーシードポイント：

(a) 地域別QSシードポイントは、前年度の最終QSランキングポイントと現在のQSランキングポイントの組み合わせに基づき、該当する地域事務所がツアーアンドコンペティション事務局と協議の上決定されます。各地域で開催される競技数に応じて、ツアーおよび競技会と協議の上、地域事務所が決定するシーズン中のある段階で、現行の地域QSシーズンポイントがシードポイントとなる場合があります。地域サーファーには、地域予選シリーズの競技開始前にシード規則が通知されます。

(b) チャレンジャーシリーズシードポイント；

ミッドシーズンカットを超えて続行しなかったCTサーファーには、CTランキング順に、地域シードよりも高いベースシードポイントが割り当てられます；

地域ランキングシードには、ツアーアンドコンペティション事務局が決定する特定の交互地域順でベースシードポイントが割り当てられます。

地域順位は、前年のQS/チャレンジャーシリーズランキングと各地域の成績に基づいて決定されます。

(c) チャレンジャーシリーズシードポイントは、ベースシードポイントと、チャレンジャーシリーズシーズンの全大会数の前半における現在のチャレンジャーシリーズランキングポイントの組み合わせとなります。シーズン中盤以降の競技から、現在のチャレンジャーシリーズランキングのポイントがシードポイントとなります。

2.21 QSシード順位： 地域 QS/チャレンジャーシリーズ競技の選抜参加は、該当競技のヒート抽選時に以下の順番でシードされます（どのラウンドにシードされるかを含みます）：

(a) CTシードポイントに基づくCTサーファー；

(b) 該当する大会の現在の地域QSまたはチャレンジャーシリーズのシードポイントに基づく残りのサーファー；

(c) WJC チャンピオンで、地域 QS またはチャレンジャーシリーズのシードポイントの有無；

(d) 元CT世界チャンピオン；および

(e) 参加日まで地域QSまたはチャレンジャーシリーズのシードポイントを獲得していないサーファー。

現在のチャレンジャーシリーズランキングポイント（規則2.10参照）に基づき、シード権を決定するためにサーファー間で同順位が生じた場合、その同順位は以下のように決着します：

そのサーフシーズンにおける最高のチャレンジャーシリーズ競技の成績が考慮され、最高のチャレンジャーシリーズ競技までさかのぼって同点決着がつけられます。これが適用され、一方のサーファーがもう一方のサーファーの成績を上回った場合、同順位が決着します。同順

位にならなかった場合は、前年度ランキングの高いサーファーが上位シードとなります。

2.22 QS競技でのディフェンディングチャンピオン

- (a) QS大会のディフェンディングチャンピオンは、優勝したQS大会の翌シーズンのQS大会において、以下のように扱われます：
 - (i) 地域 QS 1000-5000 競技、サーファーは参加を保証されます。
 - (ii) 不可抗力によりQS競技が中止された場合、本規則は、次のサーフィンシーズンのQS競技が開催される場合にのみ適用されます。理由の如何を問わず、QS競技が2年連続で開催されなかった場合、本規則は適用されません。
- (b) 規則 2.22(a)で言及されたディフェンディングチャンピオンは、この規則が提供する特典を利用したい場合、規則 2.15 に従って該当する QS 競技に参加しなければなりません。

2.23 交代

- (a) まだ出場しておらず、出場意思のないシードサーファーは、まだ出場していない前ラウンドの最高位のシードサーファーと交代し、その後、出場可能であれば交代要員と交代します。サーファーがいない場合、そのヒートはその場にいるサーファーで競技されます。
- (b) 全ヒートで無断欠席の場合、再シードは行われず、以下の交代規定が適用されます。
- (c) シード順位が割り当てられたラウンドの全ヒートにおいて、そのヒートの開始5分前、またはそのヒートの開始5分前にシード順位が割り当てられたヒートがない場合、交代要員が出場可能であれば、無断欠席者の代わりに出場します。
- (d) 先に進出していたサーファーを交代させることはできません。
- (e) 一度QS/チャレンジャーシリーズ本戦から脱落したサーファーは、いかなる理由でもQS/チャレンジャーシリーズ本戦に再び参加することはできません。これには、トライアルに出場したサーファーは含まれません。
- (f) 競技ウィンドウ内の競技が開始されると、出場枠（「WSL国際」または競技スポンサーのワイルドカード出場枠を除く）の補充は、補欠リストのサーファーによって行われます。補欠またはワイルドカードの枠は、補欠リストが参照される前に、WSLまたは競技スポンサーによって、それぞれ指名されたサーファーで（競技のツアーマネージャーによって決定された合理的な時間内に）埋められます。サーファーが適時に指名されず、競技のスケジュールに影響を与える可能性がある場合、補欠リストから指名されることがあります。

2.24 競技不参加

- (a) 競技開始後、シードされたサーファーが最初のヒート終了までに現れなかった場合、そのポイントおよび賞金（該当する場合は）は没収されます。賞金はWSL地域事務所に支払われます。
- (b) 呼ばれたときにチェックインしなかった無連絡不参加の補欠はすべて、最終的にチェックインした時点で補欠リストの最下位に配置されます。
- (c) サーファーが不可抗力により遅れた場合、WSLツアーディレク

ターはそのサーファーを補欠リストの最上位（複数のサーファーが参加する場合はシード順位）に配置されます。

- (d) サーファーがヒートを欠場した場合でも、参加料は返金されません。
- (e) もしサーファーが、許可された医療証明書を必要とするような重傷以外の理由で出場しないことを決定した場合、またはそのサーファーの安全に対する正当な懸念がある場合（および書面にてその旨を表明した場合）、そのサーファーはそのQS/チャレンジャーシリーズ競技のポイントおよび賞金を受けることはできません。
- (f) サーファーが負傷し、そのヒートにチェックインする意思がなく、そのヒート前にビーチマーシャルおよび関連ツアーマネージャーに出場しない旨を伝えた場合、そのサーファーはそのヒートのポイントおよび該当賞金を受け取ることができ、次の資格のあるサーファーと交代することができます。

2.25 妊娠： CT サーファーが妊娠中であるときから出産後に競技に復帰するまでの間、妊娠中のサーファーは、各QS/チャレンジャーシリーズ競技において出場・不出場の意思を書面で通知しなければなりません。この通知は、競技開始日の21日前までに、ツアーアンドコンペティション事務局を通じてWSLに提出されなければなりません。サーファーが出場することを確定した後、競技開始日前に不出場を決定した場合、競技の賞金は放棄されますが、サーファーのシード順位に相当するランキングポイントは付与されます。妊娠中のサーファーは、その競技の賞金およびランキングポイントを受け取るために、ツアーアンドコンペティション事務局のメンバーと共に競技会場で連絡を取ってください。いかなる状況においても、WSLは妊娠中のサーファーが受けた医師のアドバイスを厳守するよう強く奨励し、妊娠中のサーファーはいつでもWSLにそのような医師のアドバイスを開示するよう求められることがあります。さらに、妊娠中のサーファーがWSLに競技への出場の意向を伝え、WSLが妊娠中のサーファーの安全性に懸念を抱いた場合、WSLは妊娠中のサーファーに対し、競技への出場前に適切なメディカルクリアランス書類を提出すること（必要であれば、個別の健康診断を受けること）を要求する場合があります。妊娠の詳細および開示された医学的助言は、WSLは秘密に保持します。

2.26 脳震盪： すべてのサーファーは、WSLが採用した脳震盪プロトコルの条件に従うものとします。また、練習中または競技中に脳震盪が発生した場合、脳震盪を起こしたサーファーは、脳震盪に精通した医師の診断を受け、競技復帰の許可が下りるまで、競技に復帰することはできません。サーファーは、競技に出場する前に、WSLに適切な医療許可の書類を提出しなければなりません。開示されたいかなる医師の医学的助言も、WSLは秘密に保持します。

2.27 QS/チャレンジャーシリーズ競技不参加

- (a) 確認書と支払いを受け取ったにも拘わらず、サーファーが会場に現れず、（WSLツアーディレクターの判断に基づき）不十分な弁解をした場合、サーファーはWSL規律ディレクターの判断により、今後出場するQS/チャレンジャーシリーズ競技のシード権

喪失を含む、適用される罰金が発生します。

- (b) 複数の欠場があった場合、シード権喪失は欠場1回につき1QS/チャレンジャーシリーズ競技分だけ増加します。
- (c) サーファーが、事故または家族のトラウマによる同情的な理由により、WSL に不参加を通知することが物理的に不可能であった場合、配慮される可能性があります。他のサーファーが代理で本競技に参加することはできません。このような場合、サーファーは早急に WSL ツアーディレクターに通知しなければなりません。

2.28 サーファーによるメディアの義務

- (a) QS/チャレンジャーシリーズ大会の記者会見への出席を求められた場合、当該サーファー全員に出席が義務付けられます。
- (b) 全てのファイナリストは、QS/チャレンジャーシリーズ競技決勝終了後、直ちに会場での表彰式に出席しなければなりません。

2.29 WSL競技に関する一般規則

- (a) 出場奨励金を提供する QS/チャレンジャーシリーズ 競技は、WSL に連絡して承認を得なければなりません。
- (b) すべての WSL 競技は、WSL が規定する WSL 公式コンピュータースコアリングシステムを使用しなければなりません。WSL のコンピュータ採点システム（例えばプラス/マイナスシステム）が WSL によって承認されていない場合、結果と得点は WSL で要求されたフォーマットで WSL に提供されなければなりません。
- (c) WSL ビデオリプレーシステムは、すべてのチャレンジャーシリーズ競技で使用されなければなりません。
- (d) すべてのチャレンジャーシリーズ大会において、専属のサーフィンディレクターを配置し、ツアーアンドコンペティション事務局にサーフィンディレクターの身元を通知しなければなりません。
- (e) 各 QS 競技のサーフィンディレクターは、WSLが承認する必要があります。
- (f) 競技施設内の密閉されたエリアまたはオフィスはすべて禁煙とします。アルコールは、指定されたVIPエリア（ある場合）のみで摂取できます。

2.30 最低年齢

- (a) サーファーが、当該サーファーの地域外の大会に出場するには、大会初日の時点で15歳以上でなければなりません。
- (b) サーファーが、当該サーファーの地域の大会に出場するには、大会初日時点で13歳以上でなければなりません。
- (c) 競技初日時点で18歳未満のサーファーには、必ず親または法定後見人が競技に同席しなければなりません。サーファーが親または法的保護者を同伴していない場合、出場は認められません。

第3章：専門競技規則

- 3.01 **適用される規則：** 国際または地域競技は、WSL が本規則集に記載される規則について特定の免除を与える場合（WSL が独自の裁量で許可または拒否する場合があります）を除き、本規則集に記載されるすべての規則に従わなければなりません。
- 3.02 **ライセンス**
- (a) 「専門」競技の実施には、WSL とのライセンス契約が必要です。
 - (b) 専門競技のライセンス料は、WSL が提供する各専門競技ライセンス契約書に記載されています。
 - (c) WSL は、いかなるサーフィンシーズンにおいても、専門競技をライセンス提供に関する独自の裁量権を持ちます。
 - (d) 競技参加希望者は、WSL と適切な競技枠、賞金、CT サーファーの出場可能性、その他 WSL が適切と考える要素について交渉しなければなりません。
- 3.03 **専門競技のスケジュールリング：** 専門競技は、WSL で承認されない限り、CT競技の競技ウィンドウ中に実行することはできません。
- 3.04 **サーファーの出場：** 競技ライセンス保持者は、WSL が競技実施ライセンスを提供した後、競技への出場を希望する各サーファーから許可を得る必要があります。

第4章：ロングボード規則

- 4.01 ライセンス： WSL からライセンスを受けるためのロングボード競技向け：
- (a) 競技は、この規則書に従い、WSLから地域競技として承認されなければならない、ライセンス保持者は WSL が要求するすべての関連情報を提供しなければなりません。
 - (b) 競技は WSL地域事務所 で賞金が設定され、WSLにて設定されたライセンス料が WSL に支払われなければなりません。
- 4.02 賞金
- (a) 地域資格取得大会の賞金最低額は、ツアーアンドコンペティション事務局と協議の上、該当する WSL 地域事務所が設定します。
 - (b) WLT賞金は以下の通りです：

レギュラーシーズンWLT競技

場所	賞金
1位	5,000ドル
2位	2,500ドル
3位	1,300ドル
5位	1,000ドル
9位	750ドル
17位	700ドル
合計	25,700ドル

WLT決勝

場所	賞金
1位	15,000ドル
2位	8,000ドル
3位	7,000ドル
4位	6,000ドル
5位	5,000ドル
6位	4,000ドル
7位	3,000ドル
8位	2,000ドル
合計	50,000ドル

- 4.03 スケジュールリング
- (a) WLT競技およびWLT決勝は、最大10日間開催されます。
 - (b) 地域資格取得競技は、該当する WSL地域事務所 で設定された日数となります。
- 4.04 ランキングポイント
- (a) 地域資格取得大会の男女ランキングポイントは、付録Bの QS1000ポイント内訳に従って配分されます。
 - (b) レギュラーシーズンWLT競技の男女ランキングポイントは、付録

BのQS5000競技ポイント内訳に基づき、WLT決勝の男女ランキングポイントは、付録Bのチャレンジャーシリーズポイント内訳に基づき、割り当てられます。

- (d) ランキングポイントは、すべてのWLT競技において、競技ワイルドカードを除くすべてのサーファーに付与されます。
- (d) WLTの最終資格取得順位およびシード権を決定するため、以下の点を考慮してタイプブレイクを行います：
 - (i) 各サーファーについて、そのサーフィンシーズンの最高のレギュラーシーズンWLT競技の結果を、そのベストパフォーマンスからワーストパフォーマンスまでさかのぼってカウントされます。その結果、一方のサーファーがもう一方のサーファーを上回った場合、同順位は破棄され、そのサーファーが同順位となり、もう一方のサーファーが下位となります。同順位が解消できない場合は、(ii)が適用されます；また、
 - (ii) サーフィンシーズンのWLT競技におけるヒート勝利数（エリミネーションラウンドを除く）の合計が多いサーファーが同順位のポジションを維持し、もう一方は下位のポジションとなります。それでも同順位の場合は、そのサーフィンシーズンのWLT競技の平均ヒートスコアが高いサーファーが同順位のポジションを維持し、もう一方のサーファーは下位のポジションとなります。

4.05 WLTの資格

- (a) レギュラーシーズンのWLT競技は、男子24名のサーファーと女子24名のサーファーで構成され、それぞれ(1)前シーズンのWLTランキング上位10名、(2)地域ランキングに基づく地域シード7名（各地域から1名ずつ）、(3)WSLワイルドカード5名、ツアーアンドコンペティション事務局が決定する競技ワイルドカード2名で構成されます。競技ワイルドカードは、そのシーズンの6月1日以前に選出されます。WLTへの出場資格は、毎年ツアーアンドコンペティション事務局によって決定され、その決定時に該当するサーファーに通知されます。

4.06 WLT決勝への資格

- (a) レギュラーシーズンのWLT競技はすべて、レギュラーシーズン終了時のサーファー最終ランキングにカウントされます。
- (b) WLT決勝は、男子上位8名（レギュラーシーズンWLT最終戦後の男子ランキングポイントに基づく）、女子上位8名（レギュラーシーズンWLT最終戦後の女子ランキングポイントに基づく）で構成されます。WLT決勝終了後、男子上位8名、女子上位8名のランキング順位は、WLT決勝での順位（例：1位、2位、3位、4位、5位、6位、7位、8位）を反映して再配分されます。
- (c) WLT決勝への出場権、またはWLT決勝戦へのシード権を決定するにあたり、(1)レギュラーシーズン終了時ランキングで8位にランクされたサーファーが同順位の場合、または(2)WLT決勝への出場権を獲得した8名のサーファーが同順位の場合、該当する場合に限る、以下のように適用されます：
 - (i) 各サーファーについて、そのサーフィンシーズンの最高のレギュラーシーズンCT競技の結果を、そのベストパフォーマンス

マンスからワーストパフォーマンスまでさかのぼってカウントされます。その結果、一方のサーファーがもう一方のサーファーを上回った場合、同順位は破棄され、そのサーファーがその順位を維持し、もう一方が下位となります。

同順位が解消できない場合は、(ii)が適用されます；また

- (ii) サーフィンシーズンのレギュラーシーズンWLT競技におけるヒート勝利数の合計が多いサーファーが同順位のポジションを維持し、もう一方は下位のポジションとなります。それでも同順位の場合は、そのサーフィンシーズンの平均ヒートスコアが高いサーファーが同順位のポジションを維持し、もう一方のサーファーは下位のポジションとなります。

4.07 競技フォーマット

(a) 地域資格取得 競技では、フォーマットは参加数に依存し、WSLで承認されます。

(b) レギュラーシーズンのWLT競技は、男子24名、女子24名のサーファーで構成され、それぞれの場合、(1)前年のWLTランキング上位10名、(2)地域ランキングに基づく7名の地域シード（各地域から1名）、(3)ツアーアンドコンペティション事務局が、サーファーのヒート勝利数とウェーブスコアの平均を考慮し、現サーフィンシーズンの地域予選シリーズの最高ヒート合計に基づいて決定する5名のWSLワイルドカードと2名の競技ワイルドカードで構成されます。競技ワイルドカードは、そのシーズンの6月1日以前に選出されます。以下のフォーマットが使用されます：

- (i) ラウンド1は8名のサーファーによる3ヒート制で、優勝者はラウンド3へ、2^位と3^位のサーファーはラウンド2へ進出。
- (ii) ラウンド2は8名のサーファーによる2ヒート制で、勝者はラウンド3へ進出、敗者は同率17^位で敗退。
- (iii) ラウンド3は8名のサーファーによる2ヒート制で、勝者は準々決勝に進出、敗者は同率9^位で敗退。
- (iv) 準々決勝は4ヒート制で、勝者は準決勝に進出、敗者は同率5^位で敗退。
- (v) 準決勝は2ヒート制で、勝者が決勝に進出、敗者は同率3^位で敗退。
- (vi) 決勝は優勝1名、準優勝1名。

(c) WLT決勝は以下のフォーマットで行われます：

- (i) 第1試合：シード8×シード7×シード6 勝者が第2試合に進出
- (ii) 第2試合：第1試合の勝者×シード5×シード4勝者が第3試合に進出
- (iii) 第3試合：第2試合の勝者×第3試合の勝者が第4試合に進出
- (iv) 第4試合：第3試合の勝者×シード2の勝者が決勝ラウンドに進出

(v) 第5試合：第4試合の勝者×シード1、3ヒート中2ヒートの勝者が世界チャンピオン

- 4.08 **参加規則**：規則 2.15-2.18 に記された参加規則は、すべての地域資格競技に適用されます。
- 4.09 **サーファー費と保険**： 自国以外の WSL 競技に出場しようとするサーファーは、国際サーファー費を支払わなければなりません。また、すべてのサーファーは、MemberProを通じて海外旅行保険に加入しなければなりません。
- 4.10 **シード**
- (a) **WLTシード**：サーファーには、ツアーアンドコンペティション事務局が決定するベースシードポイントが以下の順番で割り当てられます；
1. 前年のWLTランキング上位10名；
 2. 前シーズンのWLTの成績に基づき、7つの地域シードが決定されます。ツアーアンドコンペティション事務局で、各地域全体、または資格取得を通過した地域シードを個別に決定します；
 3. WSLワイルドカード5枚；および
 4. 競技ワイルドカード2枚。
- (b) **地域資格取得シード**：シード権は、ツアーおよび競技事務局と協議の上、地域事務所が決定します。
- 4.11 **地域資格取得ランキング**： 地域資格取得ランキングは、その地域に登録する現役サーファーのみが対象となります。
- 4.12 **ボード要件**
- (a) 長さは、サーフボードのデッキ上でノーズからテールまでを計測した9フィート以上とします。幅は、ボードの最も幅の広い部分、テールから12インチ上の幅、ノーズから12インチ下の幅を合計した47インチ以上とします。
- (b) 従来のロングボードのマリブシェイプを使用します。
- (c) 複数のフィンを使用することができます。
- (d) ロングボードは15ポンド (6.8kg) で、9フィート以上または頭上3フィート以上のどちらか大きい方でなければなりません (例えば、サーファーが6'3の場合、ボードは9'3以上でなければなりません)。ボードの重量やサイズが不足している場合は使用できません。初回検査に合格しなかったボードは、変更の有無に拘わらず、その大会で使用することはできません。
- 4.13 **ロングボードの審査基準**：サーファーは従来のロングボードサーフィンを用いて、ボード全体とウェーブを利用し、ウェーブのクリティカルな部分でコントロールされた操作を行わなければなりません。これを最も高度なスタイル、フロー、優雅さで最高の難易度を披露したサーファーが、ライディングの最高得点を獲得します。上記に加え、ジャッジが考慮する重要な要素を以下に挙げます：
- ノーズライディングとレールサーフィン
 - ウェーブの臨界部分
 - 多様性
 - スピードとパワー
 - 注力

- コントロール
- フットワーク

特定要素を重視するかどうかは、場所や当日のコンディション、および日中のコンディションの変化次第だという事実に注意が重要です。

採点されるライドには、以下の尺度が用いられます：

0-1.9=不良；2.0-4.9=普通；5.0-6.4=良好；

6.5-7.9=非常に良好；8.0-10.0=優秀。

4.14 **傷害ランキングおよび/またはシード権補償：** 傷害補償の申請は、ツアーアンドコンペティション事務局へ書面にて行うものとし、ツアーアンドコンペティション事務局が正しい処置を決定します。

4.15 **ヒート欠場／不出場／競技不参加：**

(a) 地域資格取得については、第2章を参照のこと。

(b) **WLT競技の場合**

- WLTサーファーは、参加資格のあるすべてのWLT競技に参加しなければなりません。WLT競技に出席しなかった場合、US\$1,000の罰金が科され、WLTサーファーは、本規則4.15に別段の記載がある場合を除き、当該WLT競技のWLTシードポイント、ランキングポイント、賞金を受け取ることはできません。
- やむを得ない事情、負傷、妊娠による欠席は、ツアーアンドコンペティション事務局が処置の検討をする場合があります。負傷や妊娠の場合は、できるだけ早く医師の診断書をWSLに送付してください。WSLメディカルコーディネーターは、これらすべての事柄を検討し、確認する権利を有します。
- WLTサーファーがWSLメディカルコーディネーターに受け入れられる診断書を提出した場合、そのサーファーが出場できなかったWLT競技の賞金は支払われませんが、最低限のWLTシードポイントとランキングポイントが付与されます。
- WLTサーファーは、サーフィンシーズン中の全てのWLT競技への出場義務に関する競技者同意書を遵守しなければなりません。
- WLTサーファーが妊娠してから出産後に競技に復帰するまでの間、妊娠中のWLTサーファーは、各WLT競技に出場・不出場の意思を書面で通知しなければなりません。この通知は、競技開始日の21日前までに、ツアーアンドコンペティション事務局を通じてWSLに提出されなければなりません。WLTサーファーが出場することを確認した後、競技開始日前に不出場を決定した場合、WLT競技の賞金は無効になりますが、WLTランキングポイントは最低限付与されます。妊娠中のWLTサーファーは、そのWLT競技の賞金とWLTランキングポイントを受け取るために、ツアーアンドコンペティション事務局のメンバーと共に競技会場で連絡を取ってください。いかなる状況においても、WSLは妊娠中のWLTサーファーが移動や競技に関して受けた医師のアドバイスを厳守するよう強く奨励し、妊娠中のWLTサーファーはいつでもWSLに

そのような医師のアドバイスを開示するよう求められることがあります。さらに、妊娠中の WLT サーファーが WSL に WLT 競技への出場意向を伝え、WSL が妊娠中の WLT サーファーの安全性を懸念を抱いた場合、WSL は妊娠中の WLT サーファーに対し、WLT 競技への出場前に適切なメディカルクリアランスの書類を提出すること（必要であれば、独立した健康診断を受けること）を要求することがあります。妊娠の詳細および開示された医師の医学的助言を、WSL は秘密に保持します。

- 4.16 メディア義務：** すべての WLT または地域資格取得競技において、勝者は WSL を代表して最大 60 分間の様々なメディアの義務を果たさなければなりません。これらの大会に参加する他のサーファーは、WSL による合理的なメディア関連要請に協力し、参加する事とします。

第5章：ジュニアツアー規則

- 5.01 **年齢**：サーファーがジュニア競技に出場できる最高年齢は20歳までとします。ただし、WJCが翌年に開催される場合は、WJCの出場資格を得たサーファーを除きます。サーファーは、当該サーファーの地域外の大会に出場するには、大会初日の時点で15歳以上でなければなりません。サーファーは、当該サーファーの地域の大会に出場するには、大会初日時点で12歳以上でなければなりません。
- 5.02 **サーファー費と保険**：自国以外の WSL 競技に出場しようとするサーファーは、国際サーファー費を支払わなければなりません。また、すべてのサーファーは、MemberProを通じて海外旅行保険に加入しなければなりません。
- 5.03 **参加規則**：JQS 競技規則 2.14-2.18 に記された参加規則は全ての JQS 競技に適用されます。

世界ジュニア選手権 (WJC)

5.04 世界ジュニア選手権賞金内訳

男女 - 24サーファーフォーマット

場所	賞金
1位	10,000ドル
2位	5,000ドル
3位	2,500ドル
5位	2,000ドル
9位	1,500ドル
17位	1,000ドル
合計：	48,000ドル

- 5.05 **世界ジュニアランキング**：単発の世界ジュニア選手権競技の結果によって、そのサーフィンのシーズンの世界ジュニアランキングが決定されます。
- 5.06 **スケジューリング**：WJC 競技は、ツアーアンドコンペティション事務局の承認がない限り、QS 5000 以上の競技と同じ日程で開催されることはありません。すべての競技 (WJC競技を含む) は、ツアーアンドコンペティション事務局の承認が必要です。
- 5.07 **世界ジュニア選手権資格取得**：
地域JQSのシーズン終了後のWJC出場資格の締め切りは、WJCの日程と場所が確定した時点で決定されます。この締切日において；
以下のサーファーが男子WJCの出場権を獲得します：
(a) JQSサーファーの最高位で構成される選手が7WSL地域事務所から2名ずつ。
(b) WSLが選択した10枚のワイルドカード。
以下のサーファーが男子WJCの出場権を獲得します：

- (a) JQSサーファーの最高位で構成される選手が7つのWSL地域事務所から2名ずつ；および
 - (b) WSLが選択した10枚のワイルドカード。
- 5.08 **WJCのシード順位：** WJCのシード順位は以下の通りとします：
- (a) 現 CT サーファーで、現 CT シード権に基づき WJC への出場資格を有する者；
 - (b) 前年のWJCランキング上位4名；
 - (c) チャレンジャーシリーズ最新ランキング；
 - (d) WSL地域のジュニアチャンピオン7名；および
 - (e) JQS 地域ランキングに残ったサーファー。
- 5.09 **世界ジュニア選手権フォーマット：** 男子および女子のWJC競技は24名のサーファーで構成され、以下のフォーマットが採用されます：
- (a) ラウンド1は、3名のサーファーによる8ヒート制で、1位はラウンド3へ、2位と3位はラウンド2へ進出。
 - (b) ラウンド2は2名のサーファーによる8ヒート制で、勝者がラウンド3に進出。
 - (c) ラウンド3は2名のサーファーによる8ヒート制で、勝者が準々決勝に進出。
 - (d) 準々決勝以降は、勝者が決定するまで2ヒート制とします。
- 本規則 5.09に記載される形式は、男女 WJC 競技の標準形式です。
- 5.10 **次年度の QS / チャレンジャーシリーズ大会への出場資格：** 5.10 次年度の QS / チャレンジャーシリーズ大会への出場資格： QS のシード権に準拠：
- (a)男女WJCの上位2名は、各地域の全地域QS競技への出場が保証されます。
 - (b)男女の世界ジュニアチャンピオンには、翌シーズンのチャレンジャーシリーズ全大会への出場枠が割り当てられます。

ジュニア資格取得シリーズ (JQS)

- 5.11 **JQS競技の賞金とポイント：** JQS賞金の最低額は、WSL地域事務所がツアーアンドコンペティション事務局と協議の上、設定します。
- 5.12 **JQSランキングポイント：** JQS競技の男女のランキングポイントは、付録Bに記載されるQS1000ポイントの内訳に従って割り当てられます。
- 5.13 **選考方法：** JQS競技の選考は、以下の選考方法により行われます：
- (a) ワイルドカード 2枚(WSLに1枚と競技ライセンス保持者に1枚)；
 - (b) 前年のWJC成績上位4名で、(c)に記載されたそれぞれの割り当てを最初に埋める選手（本規則書に従って参加した場合）；
 - (c) WSL地域サーファーには、前年度のJQSランキング順に参加が行われます；
 - (d) 国際サーファーは、それぞれの JQS 順位で、参加可能なポジションを埋めることができます；
 - (e) 追加で欠員した場合は、参加の時間順に補充されます。
- 5.14 **JQSシード順位：** JQS 競技のシード順位は以下の通りとします：
- (a) 本規則書に従って参加した場合、前回のWJCの上位4名（32名以

下のフォーマットは上位2名) ;

- (b) 前年のJQSランキングの地域サーファー ;
- (c) JQSランキングを持たない地域サーファーの参加順 ;
- (d) 参加順での外国から参加するサーファー。

5.15 **JQSランキング** : 地域のJQSランキングは、その地域に登録される現役サーファーのみを対象とすることができます。

第6章：マスターズツアー規則

- 6.01 **年齢：**サーファーが競技に参加するには、競技開始日時点で、規則6.04に従ってシード権を得ることができる該当年齢グループに属していなければなりません。
- 6.02 **賞金：**男子または女子の単発世界選手権は、ツアーアンドコンペティション事務局が定める最低賞金を設けなければなりません。
- 6.03 **招待選手の選考：**マスターズ世界選手権の招待選手の選考は、以下の手順で行われます：
- (a) 45歳から54歳までの部：
 - (i) 男子は11名、女子は5名のサーファーが、国際プロフェッショナルサーフィン（IPS）/WSLランキングと、WSLの独自の裁量で選出された1976年以前の競技結果より選出されません。
 - (ii) WSLワイルドカード1枚。
 - (b) 55歳以上の部：
 - (i) IPS/WSLランキングおよびWSLの独自の裁量で選出された1976年以前の競技成績から選出された男子8名のサーファー；および
 - (ii) WSLワイルドカード1枚。
- 上記の年齢は、競技開始日に決定されます。
- ディフェンディングチャンピオンには、同カテゴリーの本大会への出場枠を与えなければなりません。
- 6.04 **シード順位：**マスターズ競技のシード順は以下の通りとします：
- (a) ディフェンディングチャンピオン；
 - (b) マスターズのシードポイントに基づく招待選手；および
 - (c) WSLワイルドカード。
- 6.05 **フォーマット：**形式はラウンドロビン（ラウンド数はイベント会場により決定）とし、ラウンドロビン終了後に決勝形式で、2人のサーファー決勝戦が決定し、勝者が各部門のチャンピオンと宣言されるまで、多数のサーファー（WSLにより決定）がファイナル形式で戦います。
- 6.06 **スケジューリング：**マスターズ競技は、年間を通じていつでも開催することができますが、CT競技は年間を通じて特定の日程が優先されるため、日程はWSLの独自の判断によります。
- 6.07 **サーファーの招待：**WSLからマスターズ競技への招待を受けたサーファーは、出場前にWSLが要求するすべての必要書類と手続を完了しなければなりません。
- 6.08 **参加資格にカウントされる競技：**サーファーのマスターズツアーの成績はすべて、各サーフィンシーズン終了時のサーファーのランキングにカウントされます。

第7章：ビッグウェーブ競技

本章は、特に明記されない限り、WSLがハワイのマウイ島ベアヒとポルトガルのナザレで開催するビッグウェーブ（BW）競技、およびWSLとWSL BWサーファー契約（以下、「**BWサーファー契約**」）を締結したBWサーファー（他のWSLツアーや競技に出場する場合も含む）、およびBWサーファーサポートスタッフに適用されます。第10章から第11章までの規則は、本章の規則と抵触せず、抵触する場合にはツアーアンドコンペティション事務局が関連規則を適用するとみなす場合に限り、適用することができます。疑義を避けるため、第13章および第14章はBWサーファーに適用されます。

全BW競技に適用される一般規則

7.01 スケジュール

- (a) ジョーズビッグウェーブチャンピオンシップは競技であり、ここでは「**ジョーズBW**」と称し、ナザレ・トウサーフィンチャレンジはトウイン競技であり、ここでは「**ナザレBW**」と称します。ジョーズBWとナザレBWを総称して、本章では「**BW競技**」と呼びます。BWシーズンごとのBW競技（競技と非競技の招待またはエキシビション競技の両方を含む可能性あり）の数は、WSLツアーアンドコンペティション事務局が決定します。
- (b) WSLスケジュールは、BW競技の状況に関して、可能な限り毎年更新されます。

7.02 BW競技告知

- (a) 暫定的な予報（「**イエローアラート**」）は、BW競技の開始日のおよそ72時間前にWSLから発表され、WSLはその発表の前に関連するすべてのBWサーファーに通知し、BWサーファーとスタッフが適切な移動の手配をし、会場と設備の準備時間を確保します。
- (b) WSLは、BW競技の開始日の48時間前に、BW競技が「グリーン」であることを発表し、その発表の前に関連する全てのBWサーファーに通知します。疑義を避けるために、BW競技は、BW競技が「グリーン」であると発表されてから48時間以内にBW競技が開催される可能性が高いとツアーアンドコンペティション事務局が結論付けるような天候およびウェーブの予報がある場合、「グリーン」であるとみなされます。
- (c) BWサーファーは、BW競技の地元競技エリアに到着した時点で、WSLの競技長またはその代理人に通知することが求められます。BW競技開始の少なくとも24時間前までに、BW競技のために現地の競技エリアに未到着、および/または、該当するBW競技に適切に準備する時間内に到着しない恐れがあるBWサーファーは、WSLが独自裁量で決定する交代サーファー、交代チームと交代する対象となります。

7.03 競技出場の前提条件

- (a) BW競技に出場する条件として、サーファーはBW競技の開始前、WSLが指定する期日までに、関連するWSL権利放棄、免責、補償フォームを含むBWサーファー同意書に署名しなければなりません。

- (b) WSL は、各 BW シーズンの各 BW 競技前に、BW 競技の安全とロジスティクスのミーティングを開催します。このミーティングは、BW競技に出場するすべてのBWサーファー、およびすべてのチーム（以下に定義）メンバー（該当する場合）に義務付けられています。ミーティングに出席しないチームメンバーは、BW競技への参加を認められません。
- (c) すべてのBWサーファーとチームメンバー（該当する場合）は、すべてのパンデミック対応事項関連の要件（例：COVID-19テスト）を含む、競技のWSL安全計画を遵守しなければなりません。

7.04 賞金

- (a) BW競技の賞金配分は、BW競技開始前にツアーアンドコンペティション事務局が決定しますが、当該BW競技に関連するBWサーファー同意書に規定された内訳（以下、「**BW賞金**」）に比例して配分されます。
- (b) WSL は、別途合意しない限り、すべての BW 賞金の支払いを、BW サーファーの銀行口座に直接振り込みます。

7.05 BW競技エリア

- (a) すべてのBW競技は、BW競技の前に、またはヘッドジャッジもしくはツアーアンドコンペティション事務局が許可したときに、予備のサーフボードを取り付けることができるブイを競技エリアに設置します。
- (b) 以下の規則に別段の定めがある場合を除き、PWCがBWサーファーを迎えに行く場合（安全のため、またはその他の理由で要請された場合）、BWサーファーは競技エリア内の安全なエリア（ヘッドジャッジが決定）で、かつパドルを始めてラインアップに戻る際にそのBWサーファーに明確なアドバンテージを与えない場所で降ろされます。

7.06 BW競技不参加

- (a) BWサーファーは、参加資格を得た、または招待され、参加に同意したBW競技に参加しなければなりません。
- (b) ツアーアンドコンペティション事務局は、負傷や妊娠を含む、やむを得ない事情のある状況を、本規則7.06の例外（「**免除された欠場**」）として考慮します。
- (c) 医師の診断書をWSLに送付し、できるだけ早く欠席を通知しなければなりません。WSLメディカルコーディネーターは、これらのすべてのケースにおいて、あらゆる情報を調査し、確認する権利を有します。WSLに提供された情報は、すべて機密情報として扱われます。

7.07 妊娠

妊娠：BWサーファーが妊娠中であるときから出産後に競技に復帰するまでの間、妊娠中のBWサーファーは、BW競技において出場・不出場の意思を書面で通知しなければなりません。この通知は、BWシーズン開幕の21日前、あるいはBWシーズン中に必要な場合は、合理的に実行可能な限り速やかに、ツアーアンドコンペティション事務局を通じてWSLに提出されなければなりません。BWサーファーが出場を確定した後で、競技開始日前に不出場を決定した場合、BWサーファーは競技の賞金を放棄するものとします。妊娠中のBWサーファーは、そのBW競技の賞金およびランキングポイントを受け取るため

に、ツアーアンドコンペティション事務局のメンバーと共にBW競技会場と連絡を取ってください。いかなる状況においても、WSLは妊娠中のBWサーファーが受けた医師のアドバイスを厳守するよう強く奨励し、妊娠中のBWサーファーはいつでもWSLにそのような医師のアドバイスを開示するよう求められることがあります。さらに、妊娠中のBWサーファーがWSLにBW競技への出場の意向を伝え、WSLが妊娠中のBWサーファーの安全性に懸念を抱いた場合、WSLは妊娠中のBWサーファーに対し、競技への出場前に適切なメディカルクリアランスの書類を提出すること（必要であれば、個別の健康診断を受けること）を要求することがあります。妊娠の詳細および開示された医師の医学的助言を、WSLは秘密に保持します。

7.08 **脳震盪：**すべてのBWサーファーは、WSLが採用した脳震盪プロトコルの条件に従うものとします。また、練習中または競技中に脳震盪が発生した場合、脳震盪を起こしたBWサーファーは、脳震盪に精通した医師の診断を受け、競技復帰の許可が下りるまで、競技に復帰することはできません。BWサーファーは、競技に出場する前に、WSLに適切な医療許可の書類を提出しなければなりません。妊娠の詳細および開示されたいかなる医師の医学的助言も、WSLは秘密に保持します。

7.09 **セキュリティパス/バリアフリーエリア**

(a) すべてのBWサーファーは、WSLがBW競技用に指定する資格証明書で、安全上の理由から識別されます。

(b) 各BWサーファーには、WSLによって承認された場合に限り、サポートスタッフまたは家族のためのゲストパスが1枚提供されるものとします。そのような人はすべて、WSL安全プランに従わなければなりません。

7.10 **WSL 責任の制限：**WSLは、BWサーファーがWSLの代表者からの通知（書面、口頭、その他）を信頼（第三者への金銭的またはその他の約束を含む）した場合、BW競技への出場資格や降格、または特定のBW競技のBW補欠選手としての地位に関して、責任を負いません。BWサーファーに対するすべての支払いは、BWサーファー契約に規定される通りであり、BWサーファーがこれらの同意書を遵守するまで、WSLはいかなる支払いに対しても責任を負わないものとします。

ジョーズBW競技に適用される追加規則

7.11 **フォーマット：ジョーズBW競技**

(a) ジョーズBW競技のフォーマットは、パドルサーフィンの種目です。競技に参加するBWサーファーは、PWC、電動サーフボード、その他の機械装置による補助を受けずに、自分自身でウェーブを捕らえることが要求されます。

(b) ジョーズBW競技の出場者は、特に過去のBW競技での成績と、WSLビッグウェーブの選手代表と信頼のある地元のアドバイザーからの意見に基づいて選ばれます。BW競技に参加する全BWサーファーの最終選考は、WSLが決定します。

- (c) ハワイ州マウイ島ペアヒのジョーズで開催される女子ジョーズ BW競技は、12名の女子サーファーで構成され、以下のフォーマットが採用されます：
- (i) 準決勝は2ヒート行われ、6名のBWサーファーが参加し、1位、2位、3位が決勝に進出します。4位、5位、6位はジョーズBW競技から脱落となります。
 - (ii) 決勝は、6名のBWサーファーによる1ヒートとなります。
- (d) ハワイ州マウイ島ペアヒのジョーズで開催される男子ジョーズ BW競技は、24名のBWサーファーで構成され、以下のフォーマットが採用されます：
- (i) ラウンド1は6名のBWサーファーによる4ヒート制で、1位、2位、3位が準決勝に進出します。4位、5位、6位はジョーズBW競技から脱落となります。
 - (ii) 準決勝は6名のBWサーファーによる2ヒート制で、1位、2位、3位が決勝に進出します。4位、5位、6位はジョーズBW競技から脱落となります。
 - (iii) 決勝は、6名のBWサーファーによる1ヒートとなります。
- (e) ラウンド1のヒートは、BWサーファーの事情に拘わらず、当初予定されていたヒートに参加できないBWサーファーのために、当初の出走順から変更されることはありません。

7.12 ジョーズ BW 競技用ヒート規則

- (a) ヒート中に2本以上のライディングが行われなかった場合、ヘッドジャッジはBWサーファーがヒート中にウェーブに乗る最良の機会を確保するために、ヒートの15分延長を決定することができます。
- (b) ヒートの開始時間、終了時間、およびBWサーファーへの伝達に関して、ヘッドジャッジは、ジョーズBW競技中、何が競技として公平であり、状況において効果的であるか（例えば、ボートにホーンが必要かどうか）を決定します。

7.13 **ジョーズBW競技のジャッジ基準：** BWサーファーは、WSLジャッジの主要要素に則ったパフォーマンスを行い、スコアのポテンシャルを最大限に引き出す必要があります。ジャッジはBW競技のライディングを採点する際、以下の主要な要素を分析します：

- 注力
- 難易度
- ライディングのウェーブの強さとサイズ
- コントロール
- 操作

注：特定の要素を重視するかどうかは、場所や当日のコンディション、および日中のコンディションの変化次第だという事実が重要です。

注：採点されるライドには、以下の尺度が用いられます：

0-1.9=不良、2.0-4.9=普通、5.0-6.4=良好、6.5-7.9=非常に良好、8.0-10.0=優秀

7.14 **ジョーズBWウェーブ集計：** 各ライディングの得点は以下のように決定されます：

- (a) 最高得点は1無得点、最低得点は無得点；

- (b) ジャッジの最高得点と最低得点は、ライドごとに除外；
- (c) 残りのジャッジの得点は合計され、小数点以下2桁まで平均化。
- (d) BWサーファーのベストスコアは2倍され、BWサーファーのセカンドベストスコアに加算されて、その合計がBWサーファーの最終ヒートスコアとなります。

7.15 同順位： ヒートスコアが同順位の場合、同順位は以下の方法で分けられます：

- (a) 各BWサーファーのベストライドスコアを集計します。
- (b) 各BWサーファーのベストライドスコアを集計した結果、同スコアが残った場合、WSLは各BWサーファーの次点のライドスコアを集計します。
- (c) 上記の手順にも拘わらず同点が続いた場合、WSLは独自の裁量でサーフオフを開催してヒート順位を決定するか、またはBW賞金をBWサーファーで分け合うように決定することができます。

7.16 優先順位： 6つのサーファーヒート優先が以下の通り決定します；

- (a) 各ヒートに出場するサーファーには、ヒート開始前に最初の優先順位が割り当てられます；
 - (i) ラウンド1は、シード順位順に行われます。最も高いシードが第1優先、最も低いシードが第6優先となります。
 - (ii) 次ラウンド以降の順位は、成績とシードの組み合わせから以下のように決定されます；
 1. 第1優先：先行ラウンドヒート1位-高シード
 2. 第2優先：先行ラウンドヒート1位-低シード
 3. 第3優先：先行ラウンドヒート2位-高シード
 4. 第4優先：先行ラウンドヒート2位-低シード
 5. 第5優先：先行ラウンドヒート3位-高シード
 6. 第6優先：先行ラウンドヒート3位-低シード
- (b) サーファーがウェーブに乗るか、またはウェーブに乗るためにパドルをした後で、そのウェーブを逃してしまったら、ウェーブの優先権は失われます。
- (c) 規則 7.16(b)は、サーファーが以下の場合には不適用となります；
 - (i) 優先が上のサーファーと並んでパドリングし、そのサーファーがウェーブをキャッチした場合。
 - (ii) 優先が上のサーファーにパドリングやポジショニングでブロックされた場合。
- (d) その他適用される全ての規則については優先章を参照してください。
- (e) サーファーがヒート開始時に主要テイクオフゾーンにおらず、遅れて到着した場合、そのサーファーには主要テイクオフゾーンに到着した時点で優先ジャッジが決定した適切な優先ポジションが割り当てられます。
- (f) 第6優先を持つサーファーがパドルしてウェーブに乗り遅れた場合でも、(i)立とうとして手がレールから離れた場合、または(ii)優先ジャッジの判断により主要テイクオフゾーンの外側でパドルした場合を除き、優先を失うことはありません。

7.17 ジョーズ BW 妨害規則

- (a) 妨害ペナルティは以下の通りです；
 1. 妨害ペナルティ1：妨害したサーファーの2番目に高い

得点のライドは半分として集計。

2. 妨害ペナルティ1：妨害したサーファーの1番目に高いライドは無得点として集計。
 3. 妨害ペナルティ3：妨害サーファーの最高得点ライド無得点として集計。
 4. 失格：サーファーはそのヒートから失格となります。
- (b) 優先状況においてサーファーに妨害がコールされた場合、妨害ペナルティ2が適用されます。上記に拘わらず、ヒートの最後の10分間に、サーファーが得点となりうるライド（すなわち、ジャッジがそのサーファーの最高得点のライド1本または2本になりうる判断したライド）を行うことを妨げる妨害（ドロップイン、パドリング、ブロックなど）があった場合、妨害ペナルティ3が適用されます。疑義を避けるため、本規則に違反したからといって、自動的に規則11.20に違反するわけではありません。最終10分間の妨害が故意であると過半数のジャッジが判断した場合、妨害したサーファーは失格となります。
- (c) 非優先状況において、サーファーに妨害ペナルティが科された場合、妨害ペナルティ1が適用されます。
- (d) ウェーブを捕らえるためのパドリング中、またはライディング中のサーファーに妨害ペナルティが科された場合、そのライディングは無得点となります。
- (e) 妨害はジャッジシートに三角印で示されます。
- (f) 一度でも妨害の判定が下された場合、ヘッドジャッジはその判定が不正確な技術（ビデオ/オーディオ）に基づいて下された判断した場合のみ、その判定を修正することができます。ジャッジは妨害判定に関するいかなる議論にも立ち入られません。
- (g) 非優先ヒートにおいて、妨害されたサーファーは、規定時間内であれば、自分のウェーブ数の上限を超えて追加のウェーブを許可されません。両方の選手の妨害がコールされた場合、どちらのサーファーも追加のウェーブは得られません。また、水上フォトグラファー、水上警備員、その他外部からの妨害に対しては、その時点でヘッドジャッジが決定する追加ウェーブまたはヒート遅延が適用されます。
- (h) サーファーが2回の妨害ペナルティを言い渡された場合、そのサーファーは直ちに競技エリアから退場しなければなりません（退場しなかった場合、本規則書第14章に従ったペナルティが科されます）：
- (i) もし両方の妨害が非優先状況であれば、妨害ペナルティ1が適用されます。
 - (ii) もし一方の妨害が非優先状況で、もう一方が優先状況であった場合、順番に関係なく、妨害ペナルティ1がサーファーの最も得点の高いライドに、妨害ペナルティ2がサーファーの2番目に得点の高いライドに適用されます。
 - (iii) 両方の妨害ペナルティが優先状況にある場合、そのサーファーはヒートから失格となります。
 - (iv) 3ヒート、4ヒート、5ヒート、6ヒートにおいて、上記規則に基づき、残りのサーファーが同順位で勝ち上がれない場合、シード順位が最も高いサーファーが次のラウンドに進出します。
- (i) 妨害の状況にあるサーファーのどちらも、関係する他のサーファーに対して優先を確立していない場合、ヒート内の他のサーファー（妨害

の状況に関係しない) が優先を保持しているか否かに関わらず、妨害ペナルティ1が適用されます。この規則は、1対1、3サーファーヒート、4サーファーヒート、6サーファーヒートに適用されます。

7.18サーファーの責任

- (a) すべてのBWサーファーは、各自のサーフィン用具、ウェットスーツ、および個人用救命胴衣について、各自責任を負うものとします。
- (b) BWサーファーは、ジョーズBW競技中、個人用救命胴衣を着用しなければなりません。

ナザレBW競技に適用される追加規則

7.19 フォーマット：ナザレBW競技

- (a) ナザレBW競技のフォーマットは、トウインサーフィン競技です。
- (b) BWサーファーは、WSLが独自の裁量で選出します。
- (c) ナザレBW競技の形式は以下の通りとします：
 - (i) 各チームに2名のBWサーファーが所属する9チームで構成。
 - (ii) チームは WSL が独自の裁量で選出するものとし、男子、女子、またはその両方で構成されます。
 - (iii) 各ヒートの各チームにはジャージが割り当てられます。WSLはBWサーファーにジャージを提供し、BWサーファーはナザレBW競技期間中（サーフィンの間、PWCに乗っている間、または運転している間）、提供されたジャージを着用しなければなりません。
 - (iv) チームに参加する各BWサーファーは、BWサーファーのチームメイトとウェーブの割り当てを決めることができます。BWサーファーは、サーフィンをするBWサーファーに変更がある度にWSLに連絡しなければなりません。
- (d) 男子上位4チームおよび女子上位2チームに、翌シーズンの大会への参加資格が付与されます。疑義を避けるため、男子の最下位2チームと女子の最下位1チームは翌シーズンの大会に自動的に再加盟することはできません。WSLは独自の裁量で、これらのチームを翌シーズンの大会に入れ替えるか、残留させるかを決定します。

7.20 ヒート：

- (a) ナザレBW大会に参加する9チームは、3つのグループに分けられます：グループA、グループB、グループC、およびそれはWSLが独自の裁量で決定します。各グループは3チームで構成されます。
- (b) ナザレBW競技においては、1ヒート40分で6ヒート行われます（上記規則7.19に準拠）。各グループは以下の2ヒートに参加します：
 - ヒート1：グループA（チーム2、6、8）
 - ヒート2：グループB（チーム1、5、7）
 - ヒート3：グループC（チーム3、4、9）
 - ヒート4：グループA（チーム2、6、8）
 - ヒート5：グループB（チーム1、5、7）
 - ヒート6：グループC（チーム3、4、9）

- (c) 競技中、負傷した選手および/または競技に参加できない選手の交代は認められず、チーム全体が競技エリアから退場しなければなりません。
- (d) 翌シーズンのチームキャプテンは、2ウェーブのヒートの合計が最も高いチーム選手に指名されます。

7.21 ウェーブ数

- (a) BWナザレ大会の1ヒートまたは1コースにおいて、1チームのBWサーファーがライディングできるウェーブ数に制限はありません。
- (b) WSLは、ナザレBW競技の状況に応じて、ナザレBW競技の合計時間を延長したり、ヒート数を減らしたりする権利を保持します。WSLが独自の裁量で決定します。WSLは、各チームに割り当てられた合計時間が同等になるように、それぞれのケースで最善を尽くすものとします。
- (c) ナザレBW競技の各ヒート終了前には、出場する全BWサーファーに5分間の警告が出されます。

7.22 優先

- (a) ナザレBW競技は、規則11.11および11.13(j)に従い、以下の方法で機能する3つのチームヒート優先権を使用します：
- (b) 最初にウェーブに乗ったチームが3番目の優先権（第1チーム）を得ます。
- (c) ヒート中の残り2チームは、第1チームよりも優先権を持ち、そのうちの1チームがウェーブに乗るまで、優先権を失うことなくウェーブを確保できます（第2チーム）。
- (d) 第2チームがウェーブに乗ると、最初のヒート優先順位が確定します：
 - (i) まだウェーブに乗っていないチームが第1優先とされます。
 - (ii) 残りのチームは、主要テイクオフゾーンに戻った順に優先が与えられ、事実上「サーフィン準備完了」となります。
 - (iii) 第1優先チームは、他の両チームよりも優先されます。第2優先チームは、第3優先チームよりも優先されます。
- (e) 優先ジャッジと優先システムオペレーターは、ブレイクがよく見える場所に配置され、ナザレBW競技中に優先を割り当てます。優先は、表示板と無線を通じてBWサーファーとそのサポートスタッフに伝えられます。
- (f) 第1優先を持つチームは、いかなる寄せウェーブでも選択することができます。優先順位の低いチーム（第2または第3）は、第1優先チームがパスしたウェーブを引き受けられます（残りの優先順位の割り当てが掲示された順で）。優先順位の低いチームも、優先順位の高いチームが評価しているウェーブを、優先順位の高いチームの軌道を妨げたり、得点の可能性を妨げたりしない限り、評価することができます。
- (g) 第3優先チームが確保を試みたがウェーブに乗り遅れた場合、(i)BWサーファーがロープを離すか、(ii)優先ジャッジが決定した利用可能なピークのテイクオフゾーンの外側に位置しない限り、優先を失うことはありません。
- (h) 優先順位の低いチームがウェーブを確保するために注力したが、優先順位の高い他のチームが注力したり、同じウェーブに乗っ

たりしたためにウェーブを放棄しなければならなくなった場合、優先順位の低いチームは優先順位を失いません。

- (i) BWサーファーがトゥロープを離すか、ウェーブを確保する明確な努力をするか、あるいは他のチームの軌跡を遮ることによって、他のチームが自由にウェーブを捕らえることを妨害した時点で、ウェーブは選択されたものとみなされます。BWサーファーがウェーブを選択すると、そのBWサーファーがウェーブに乗る乗らないに関わらず、そのBWサーファーのチームは、テイクオフエリアに戻った後、最後に空いていた優先に移動します。
- (j) チームがウェーブに乗り、BWサーファーが戻ったら、チームは出場したいサーフゾーン（ピーク1、2、3）に隣接する「レディエリア」に戻る事とします。優先順位は、優先ジャッジが「レディエリア」に到達し、事実上サーフィンの準備ができたと考えられる選手を優先的に割り当てます。準備が整ったチームは、最後に空いた優先からサーフィンを再開することができます。複数のBWサーファーが「レディエリア」に到達し、同時にサーフィンの準備が整った場合、最下位優先権を持たないサーファーが優先されます。
- (k) 指定されたサーファーがトゥラインに乗り、PWCが動き出した時点で、チームは「サーフィン準備完了」とみなされます。
- (l) チームがヒート開始時に競技を希望するゾーンに隣接する「レディエリア」のいずれにもおらず、遅れて到着した場合、そのチームは「レディエリア」に到着し「サーフィン準備完了」となった時点で、優先ジャッジが決定した適切な優先順位が割り当てられます。
- (m) すべてのBWサーファーは、船舶の干渉に関する慣例的な規則を守り、他チームの進路上の航跡を最小限にすることを含め、他チームの干渉を避けることが求められます。

7.23 優先の妨害とペナルティ

- (a) すべての優先妨害は、ジャッジ、ヘッドジャッジ、優先ジャッジによって決定されます。
- (b) 妨害に対するペナルティは以下の通りです（詳細は第11章を参照）：
 - 1. 妨害ペナルティ1：妨害を行ったサーファーの2番目に高いスコアのライドのスコアは半分になります。
 - 2. 妨害ペナルティ2：妨害したサーファーの2番目に高い得点のライドは無得点としてカウントされます。
 - 3. 妨害ペナルティ3：妨害したサーファーの最高得点のライドは無得点としてカウントされます。
 - 4. 失格：サーファーおよび/またはチームは、そのヒートから失格となります。
- (c) 優先ペナルティは、妨害しているチームと他のBWサーファーに無線で伝えられます。
- (d) 優先状況において チームに妨害のコールされた場合、妨害ペナルティ2が適用されます。上記に拘わらず、ヒートの最後の10分間に、チームが得点となるライド（すなわち、ジャッジがチームの1つまたは2つの最高得点ライド得られると判断されるライ

ド) を行うことを妨げる妨害（ドロップインやブロックなど）があった場合、妨害ペナルティ3が適用されます。最終10分間の妨害が故意であるとジャッジの過半数が判断した場合、妨害したチームは失格となります。

- (e) ラインアップに戻るチームとウェーブに乗っているチームとの間で、そのウェーブに乗っているチームの得点に悪影響を与える衝突やニアミスが発生した場合（ジャッジの大多数が、その衝突やニアミスが現在のヒート結果に得点の影響を与えないウェーブで発生したと判断した場合は、妨害ペナルティは無し）、以下の通り適用されます：
- (i) ラインアップに戻るチームが、ウェーブに乗っているチームのラインから離れる能力がない場合、妨害ペナルティはありません。
 - (ii) ラインアップに戻るチームが、誤ってウェーブに乗っているチームと衝突またはニアミスを起こした場合、ジャッジの過半数が賛成すれば妨害ペナルティが科せられます。妨害ペナルティを科すかどうかを決定する際、ジャッジはチームの安全と、状況避けるためのチームの位置取り／努力を考慮します。妨害ペナルティが宣告された場合、妨害ペナルティ1が適用されます。
 - (iii) もしジャッジの過半数が、ラインアップに戻るチームが故意にウェーブに乗っているチームとの衝突またはニアミスを引き起こしたと判断した場合、ラインアップに戻るチームに対して妨害ペナルティ2がコールされます。
 - (iv) もしジャッジの過半数が、ウェーブに乗ったチームがラインアップに戻るチームと故意に衝突を起こしたと判断した場合、ウェーブに乗ったチームに対して妨害ペナルティ2がコールされます。このような妨害行為を行ったチームは、規則14.02に基づく追加制裁の対象となります。
- (f) チームが2回の妨害ペナルティを言い渡された場合、そのサーファーは直ちに競技エリアから退場しなければなりません（退場しなかった場合、本規則書第14章に従ったペナルティが科されます）：
- (i) もし両妨害ともに非優先状況の場合、妨害ペナルティ1が適用されます。
 - (ii) 一方の妨害が非優先状況で、もう一方が優先状況であった場合、順番に関係なく、妨害ペナルティ1がチームの最も得点の高いライドに、妨害ペナルティ2が2番目に得点の高いライドに適用されます。
 - (iii) 両方の妨害反則が優先状況である場合、または一方の妨害反則がヒートの最終10分以内である場合（7.23(b)の規則参照）、そのチームはヒートから失格となります。
- (g) 妨害状況にある両チームが、関係する他チームより優先権を獲得していない場合、ヒート内の他のチーム（妨害状況に関係なし）が優先権を持つかどうかに関係なく、妨害ペナルティ1が適用されます。

7.24

ナザレBW競技のジャッジ基準： BWサーファーは、WSLジャッジの主要要素に則ったパフォーマンスを行い、得点の可能性を最大限に引き出さなければなりません。ジャッジはナザレBW競技のライディングを採点する際、以下の主要な要素を分析します：

- 注力
- 難易度
- ライディングのウェーブの強度とサイズ
- コントロール
- 操作

注：特定の要素を重視するかどうかは、場所や当日のコンディション、および日中のコンディションの変化次第だという事実に注意が重要です。

注：採点されるライドには、以下の尺度が用いられます：

0-1.9=不良、2.0-4.9=普通、5.0-6.4=良好、6.5-7.9=非常に良好、8.0-10.0=優秀

7.25 **ナザレBWウェーブ集計**：各ライディングの得点は以下のように決定されます：

- 最高得点は1無得点、最低得点は無得点となります；
- ジャッジの最高得点と最低得点は、それぞれのライドで除外されます；
- 残りのジャッジの得点は合計され、小数点以下2桁まで平均されます；
- BWサーファーのベストスコアは2倍され、BWサーファーのセカンドベストスコアに加算され、その合計がBWサーファーの最終スコアとなり、男女のベスト個人パフォーマンス勝者が決定されます。
- 各チームの各BWサーファーの最終スコアを合計し、合計スコアの最も高いチームがベストチームパフォーマンス賞の勝者となります。

7.26 **同順位**：ヒートスコアが同順位となった場合、各BWサーファーの最高のウェーブスコアをカウントすることで同順位を分けます。この方法で順位が決定されない場合は、決定されるまで、各サーファーの次のベストウェーブがカウントされます。上記の手順にも拘わらず同点が続いた場合、WSLは独自の裁量でサーフオフを開催してヒート順位を決定するか、BW賞金をBWサーファーで分配するかを決定することができます。

7.27 **追加アワード**：

- ナザレBW競技終了後、WSLジャッジがジョゴスサンタカーサ最優秀賞を決定します。
- ジョゴスサンタカーサ最優秀選手賞の審査基準は以下の通りです：
 - ライド開始から終了までのウェーブのサイズ；
 - パワフルで機能的な操作の数；
 - バレル内またはバレル近くでのクリティカルな位置（もしあれば）；および
 - ウェーブの有意義な部分の成功。

7.28 **PWCとチームの責任**

- チームに所属するBWサーファーは、チームメンバーの判断により決定されたドライビング業務を分担します。資格のあるジェットスキー運転者は、BW競技の開始前、WSLが指定する期日までに、関連するWSL免責、リリース、免責フォームを含むBWサーファー同意書に署名しなければなりません。

- (b) 各チームは、ナザレBW競技タワーに「スポッター」を配置しなければなりません。スポッターは、指定されたプライベートチャンネルの無線を通じて、チームとの主要な通信手段となります。スポッターは、WSLの競技責任者またはその代理人、優先ジャッジ、ウォーターセーフティディレクターに隣接して配置され、特定チームへの連絡管理をサポートします。
- (c) 各チームは、資格のあるジェットスキー運転者を配置しなければなりません。疑問を避けるため、複数のチームが同じ資格を持つジェットスキー運転者を専任の安全担当者として使用することができます。
- (d) 各チームは、PWCおよび安全装備の提供、保管、装備、燃料、メンテナンスに責任を負うものとします。
- (e) WSL は、ナザレ BW 競技期間中に使用する防水無線機を、無線機を必要とし、ナザレ BW 競技前に要求した各チームに提供します。
- (f) すべてのBWサーファーは、各自のサーフィン用具、ウェットスーツ、および個人用浮揚器具について、単独で責任を負うものとします。
- (g) BWサーファー（およびジェットスキー運転者）は、ナザレBW競技中、個人用浮力装置を着用しなければなりません。

第8章：ウェーブシステム（「WS」）競技規則

本章の規則は、WS で開催されるすべての競技サーフィンに適用されます。WSで実施される競技に先立ち、ツアーアンドコンペティション事務局は、競技開始の少なくとも14日前までに、競技に出場するサーファーに競技の規則を説明します。

第9章：エアツアー規則

本章の規則は、WS で開催されるすべての競技サーフィンに適用されます。

9.01 サーファーの招待

- (a) サーファー（CT または非 CT サーファー）は、WSL からエアツアー競技に出場するには招待を受ける必要があります。
- (b) WSL からエアツアー競技への招待を受けたサーファーは、出場前に、WSL が要求するすべての必要書類、権利放棄書、契約書に記入しなければなりません。
- (c) エアツアー競技に招待するサーファーを選ぶ際に、WSL 大会内外での成績が考慮されます。
- (d) ワイルドカードも出場することができ、WSL の裁量でビデオコンペティションまたはその他の方法で選出される可能性があります。

9.02 採点：一般採点

- (a) 完成したエアはそれぞれ得点となり、ライド中に複数のエアができます。
- (b) 各エアは0.1から10.0（1無得点）まで、10分の1刻みで採点されます（例：7.3）。
- (c) 3人のジャッジの得点の平均が各エアの得点となります。
- (d) 予選ラウンド：
 - (i) 予選ラウンド終了時、サーファーのベストエアスコアは2倍され、サーファーのセカンドベストスコアに加算され、その合計がサーファーの予選ラウンド最終スコアとなります。
 - (ii) 疑義を避けるため、サーファーの予選ラウンドのスコアは、予選ラウンド中の両ヒートのエアーを考慮できます。
- (e) 決勝：決勝の最後に、サーファーのエアーのシングルベストスコアが採用され、順位が決定します。

9.03 フォーマット

- (a) エアツアー競技は18名のサーファーで構成され、予選ラウンドと決勝ラウンドからなります。
- (b) 予選ラウンドは、1ヒート30分の6ヒート制で行われます。各サーファーは予選ラウンドに2回出場します。ヒート1-3で1回、ヒート4-6で再試合します。
- (c) WSL の判断により、サーファーはヒートに組み込まれます。
- (d) 予選ラウンドでベストスコアを出した6名のサーファーが決勝に進出します。
- (e) 決勝は1ヒート30分としますが、WSLにより変更される場合があります。

9.04 同順位

- (a) 予選ラウンド終了時点で同順位の場合、各サーファーの次に良い最高のエアスコアをカウントして同順位を分けます。この方法で順位が決定しない場合、WSL が独自の裁量でその時点で決定した方法（例えば、現在のランキングがある場合はそのランキング、サーフオフ、またはその他のサーファーのパフォーマンスを区別する 公平な方法）によって順位が決定します。
- (b) 決勝戦終了時点で同順位の場合：

(i) 1位については、勝者が決定するまで、該当するサーファー間でサーフオフ（またはサーフオフ）が行われます。サーフオフはWSLがその時点で決定した時間だけ行われます。

(ii) 決勝のその他の順位については、順位は決定せず、その順位に関連する賞金はサーファー間で均等に分配されます。

9.05 **スケジューリング：** エアツアー競技は、1年中いつでも開催することができますが、日程はWSLの独自の判断によります。CT競技は、その競技ウィンドウにおいて優先権を与えられる場合があります。エアツアーは、CT競技とは別に運営または公認されることもあります。

9.06 **審査パネルの構成：** エアツアー競技の審査パネルは、3名の国際ジャッジで構成されます。

9.07 **審査基準**

(a) サーファーは、WSLジャッジの主要要素に則ったパフォーマンスを行い、得点ポテンシャルを最大化しなければなりません。

(b) ジャッジは、エアツアー競技中に完成したエアを採点する際、以下の主要要素を分析します：

- 革新的で先進的な技術；
- 難易度；
- 技術度；
- 高さ/振幅；
- 注力；
- スタイル；
- スピード；
- パワー；および
- コントロール。

特定要素を重視するかどうかは、場所や当日のコンディション、および日中のコンディションの変化次第だという事実には注意が重要です。

採点されるライドには、以下の尺度が用いられます：

0-1.9=不良；2.0-4.9=普通；5.0-6.4=良好；

6.5-7.9=非常に良好；8.0-10.0=優秀

9.08 **優先と妨害**

(a) エアツアー競技中は優先はありません。

(b) サーファーに対して妨害がコールされた場合、そのサーファーのベストウェーブのみがヒートスコアにカウントされることを除き、非優先状況に対する妨害の規則が適用されます（規則11.03参照）。

第10章：競技規則

本章の規則は、本章に別段の定めがある場合、または本章と直接矛盾する規則がある場合を除き、すべての競技に適用されます。その場合、各章の矛盾する規則が適用されます。

- 10.01 「コール」：CT競技および非CT競技において、ツアーアンドコンペティション事務局の代表者が公式の資格で出席する場合：
- (a) コンペティションの進行に関しては、ウェーブの大きさと形がコンペティション可能なレベルである必要があります。ツアーアンドコンペティションの責任者（または指定された代表者）は、ヘッドジャッジおよびCTサーファー代表（複数可）と協議の上、最終的な決定（すなわち「コール」）を下し、この決定はこれら3者だけが出席するプライベートエリアで行われます。
 - (b) 規則10.01(a)に従い、コンディションが男女ともに出場可能とみなされ、男女どちらのサーファー代表が先に出場するかについて合意が得られない場合、ツアーアンドコンペティション責任者（または指定された代表者）が、該当する場合はヘッドジャッジおよび競技ディレクターと協議の上、最終決定を下します。
 - (c) 規則10.01(a)および(b)が適用されない場合：
 - (i) コンペティションの進行に関連して、ウェーブのサイズと形が、サーファー代表、ヘッドジャッジ、コンペティションディレクターの過半数の意見でコンテスト可能なレベルだと判断される必要があります。この決定は、上記の3者だけが関与するプライベートな場所で行われます。代表サーファーは、そのヒートがコール後に続行される最初のヒートでない場合に限り、本大会に残っているサーファーが決定します。合併競技の場合、競技ディレクター、男女サーファー代表、ヘッドジャッジが集まり、決定します。
 - (ii) 規則10.01(c)(i)に従い、コンディションが男女ともに出場可能と判断され、男女どちらのサーファー代表が先に出場するかについて合意が得られない場合、競技ディレクターがヘッドジャッジと協議の上、最終決定を行います。
 - (d) ツアーアンドコンペティション責任者（またはその代理人）またはヘッドジャッジは、ヒート中に誰もウェーブに乗れず、コンディションが急激に、または予期せず悪化した場合、競技を「オフ」にすることができます。
- 10.02 ヒートタイム
- (a) すべてのWSL競技のヒートタイムについては、規則2.08を参照してください。
 - (b) CT競技およびQS/チャレンジャーシリーズ競技におけるヒートタイムの変更は、競技を終了するのに十分な時間がない場合に認められる場合があります。ツアーアンドコンペティション事務局代表、サーフィンディレクター、ヘッドジャッジが該当時期に決定します。
 - (c) WSLの計時装置と方法は、すべてのWSL競技で使用されなければなりません。ヘッドジャッジが全ヒートの計時を担当します。
 - (d) いかなる場合も、ヒート開始後の時間延長は認められません。何らかの理由でヒートが中断された場合、ヘッドジャッジが中断し、全サー

ファーが中断された時点と可能な限り同じ位置にいるときに再開され、最初に設定された残りの時間で行われます。優先状況にある場合、サーファーは優先ポジションを保持します。上記に拘わらず、ヘッドジャッジが独自の判断で、キャンセル時にどのサーファーも明確なアドバンテージを持っていなかったと判断した場合、またはコンディションの変化によりジャッジが同じ尺度を保つことが不可能となった場合、全ヒートを再度行うことができます。

- (e) 30分以内のヒート、または競技決勝において、10分が経過してもサーファーがライドしていない場合、ヘッドジャッジは以下を行えます：**(a)**優先状況を維持したまま続行；**(b)**優先状況を維持したまま、競技を再開。**(c)**すべての状況を考慮した上で、ヘッドジャッジの独自判断でヒートを延期し、再開。
- (f) 35分以上のヒート（競技決勝を除く）において、15分経過してもサーファーがライドしていない場合、ヘッドジャッジは以下のことができます：**(a)**優先状況を維持したままヒートを続行、**(b)**優先状況を維持したままヒートを再開、**(c)**全ての状況を考慮した上で、ヘッドジャッジの独自判断でヒートを延期、再開。
- (g) ツアーアンドコンペティション責任者またはヘッドジャッジは、時間的な制約から、競技開始前にヒートの再開を行わないことを宣言することができます。
- (h) ビーチマーシャルがヒート中のサーファーに間違ったヒートタイムを告げた場合、以下のことが起きます：
 - (i) 実際のヒート時間がビーチマーシャルから告げられた時間よりも短い場合、残りの時間について、すべてのサーファーが整列した状態から再開が切られます。
 - (ii) 実際のヒート時間がビーチマーシャルから告げられた時間よりも長い場合、そのヒートはヘッドジャッジにより実際の設定時間終了まで行われます。
- (i) 非CT競技の場合、WSLツアー代表者だけが競技の正確なスケジュールを伝えることができますが、彼らまたはビーチマーシャルが競技の公式掲示板に提供した情報は公式なものとみなされます。競技またはWSLの他の従業員が尋ねられ、間違った情報を受け取った場合、その後ヒートを欠場したり、その他の問題が発生した場合、サーファーに抗議する権利はありません。WSLツアー代表者が誤った情報を提供し、サーファーがその後ヒートを欠場した場合、再サーフが行われなければなりません。WSLツアー代表者は、サーファーに正当な理由があると判断した場合、その裁量で予定外の時間にヒートを行うこともできます。CT競技の場合、上記の役割はツアーアンドコンペティション事務局が担当します。
- (j) 競技ライセンス保持者は、全てのサーファーがいつでも閲覧できるように、1日のスケジュールが掲示される公式掲示板を提供しなければなりません。

10.03 ヒートスタート&フィニッシュ

- (a) すべてのサーファーは、ヒートスタート前に指定されたマーシャリングエリアに待機しなければなりません。マーシャリングエリアはヘッドジャッジが決定します。
- (b) サイレンまたはホーンは、ヒートのスタートとフィニッシュに使用さ

れなければなりません。

- (c) 規則**10.03(d)**に記載される**5分間の視覚警告とPAシステムによる警告**は、ヒート終了前に行われます。
- (d) タイミングディスクシステムには、ヒートが開始されたことを示す（視覚的な警告）緑色の面と、サーファーにヒートの残り時間が**5分未満**であることを示す黄色またはオレンジ色（ベストの色で黄色を使用したい競技はオレンジ色）の面を持つ大型ディスクシステムも使用しなければなりません。
- (e) 解説者は各ヒートの終了時に**5秒間のカウントダウン**を行わなければならないが、カウントダウンがゼロになった時点でサイレンを鳴らし、直ちにヒートを終了しなければなりません。ヒートの正式な終了は最初のサイレンが始まった時点です。
- (f) タイミングディスクシステムは、解説者がカウントダウンをゼロにした時点で、色が表示されないニュートラルポジションでなければなりません。
- (g) ヒート終了後、サーファーは伏せた姿勢でビーチに戻らなければなりません。サーファーが次のヒート中にウェーブに乗った場合、ヘッドジャッジの判断でペナルティを科される場合があります。さらに、次のヒート中に競技エリアに留まり、ビーチに戻ろうとしないサーファーにも、本規則書に従ってペナルティが科せられる場合があります。
- (h) ヒート終了時およびヒート中、サーファーがウェーブフェイス上で明らかにウェーブを掴み、立つ動作をし、両手がレールから離れていなければ（レールグラブは除く）、そのウェーブは得点となりません。ヒート開始のサイレンが鳴り始めるまでにサーファーの手がレールから離れていない場合、またはヒート終了の**2つのサイレンのうち最初のサイレンが鳴り始めるまでにサーファーの手がレールから離れていない場合**、ジャッジパネルはいかなるウェーブも採点しません。
- (i) サーファーは、ヒート開始前に競技エリア内でウェーブに乗ってはなりません。優先状況にある場合、公式ホールド中でない限り、対戦相手は自動的に優先権を得る事になります。
- (j) ヒート間の遅延時間は、不測の事態やオーバーラップヒートでない限り、**2分以内**とします。
- (k) 競技開始の**5分前**になると、サーファーは競技エリアから退場するよう警告されます。**2分間の警告が発せられた時点で**、まだ競技エリアに残っているサーファーで、ビーチまでパドルする努力を怠っている場合は、規則**14.12**に従って罰金が科されます。
- (l) 決勝競技では、セットが競技エリアに到着した時点でヒートを開始することが推奨されます。

10.04 ヒート中断

- (a) CT 競技ではヘッドジャッジ、ツアー競技責任者（またはその指定された代表者）、非 CT 競技では WSL ツアー代表者の決定により、極度の危険性によりヒートを中止する場合、以下の手順が採用されます：
 - (i) ヘッドジャッジがヒートを止め、ホーンを鳴らし続け、タイミングディスクシステムをオフの位置に移動。
 - (ii) もし可能であれば、WSL PWC安全管理計画および本規則書第12章に従って、サーファーを競技エリアから安全な場所に移動させ

るために、ジェットスキーのドライバーと連絡をとってください。

- (iii) コンディションが再び安全になったと、そのヒートを止めた者またはヒートを止めた者と同じ者によって判断された場合、ヘッドジャッジがコンディションの変化やサーファー間の公平な競技が損なわれると判断しない限り、ヒートはヒートを止めた時点からの残り時間で再開します。このような場合、ヒートは時間いっぱいまで再開します。
- (b) もしサーファーが、サメやそれに類する動物の襲撃の危険性を感じ、海から離れた場合、ヘッドジャッジはヒートを中断し、ヘッドジャッジがその危険を検知できなくても、この規則10.04の手順を用いて、同じヒートのサーファーに警告しなければなりません。
- (c) 本規則書の規則に従い、ヒートを再サーフしてもよいと判断される出来事が発生した場合、そのヒートは「審査中」と呼ばれます。該当するサーファー（ヘッドジャッジが決定）には直ちに通知され、再サーフが宣言された場合、再ウェーブの原因となったヒートで獲得した結果は、公式目的のために再サーフのヒート結果で代用されます。
- (d) ヒートに関して不測の事態が発生した場合、ツアーアンドコンペティション事務局（CT競技）またはWSLツアー代表者（非CT競技）はヘッドジャッジと協議し、ヒートの再サーフを含む解決策を決定します。
- (e) CT競技においてのみ、そのヘッドジャッジは、現在のヒート状況に影響を及ぼす可能性のある出来事を確認する目的で、いつでもヒートを中断することができます（1回のホーン音で示されます）。審査が終了し、決定が下されると、ヒートは以下のいずれかを行うことができます；
 - (i) サスペンドされた時点から継続；または
 - (ii) その出来事が現在のヒート状況に影響を及ぼすと判断された場合、再開。ヘッドジャッジは、ツアーおよび競技会事務局の責任者、またはヘッドジャッジがその時点で関連性があると判断した者と協議し、ピーチコメンテーターによってサーファーに対して(i)または(ii)が通知されます。
- (f) サウンドシステムが故障した場合、ヘッドジャッジの判断でヒートを保留することができます。ヘッドジャッジはウォーターセーフティチームと連絡を取り、サーファーに状況を伝えます。ヘッドジャッジは、一旦保留されたヒートを再開するかどうかをその裁量で決定します。

10.05 ウェーブ集計：すべてのWSL競技のヒート集計：

- (a) 各ウェーブにおいて、ジャッジの得点の高低は考慮されません；
- (b) その後、残りのジャッジの得点の合計平均は、小数点以下2桁までの10点満点で決定されます。
- (c) ヒート終了時、サーファーの最高のライド2本が合計され、当該サーファーのヒートスコアとなります。

10.06 同順位：ヒートスコアが同順位の場合、同順位は以下の方法で分けられません：

- (a) 各サーファーの最高のウェーブスコアをカウント；

- (b) この方法で順位が決定しない場合、集計者は順位が決定するまで、各サーファーの次のベストウェーブを比較します。
- (c) 上記の結果、順位が決定しない場合、同順位がゼロでない限り、サーファーたちはサーフオフに参加します。上記に拘わらず、ヘッドジャッジがライディング可能なウェーブがなかったと判断したヒートについては、ツアーアンドコンペティション責任者の裁量で再サーフを行うことができます。

10.07

抗議：ライディングの得点など、判定を伴う競技におけるジャッジの決定は最終的なものです。いかなるサーファーも、当該判定決定に対して抗議することはできません。競技におけるジャッジの判定が本規則書の規則に抵触すると合理的に考えられる場合、サーファーはその判定に抗議を申し立て、正しい裁定を下すよう求めることができます。抗議の申し立ての手続きは以下の通りです。

(a) CT競技の場合、サーファーは抗議を申し立てるためにツアーアンドコンペティション事務局に連絡しなければなりません。ツアーアンドコンペティション事務局は、サーファーがヘッドジャッジに抗議をするための時間と場所を手配します。ヘッドジャッジは、抗議を受けるサーファーと最大30分間話し合います。その後、ヘッドジャッジは抗議を受けている問題を検討し、最終決定を下します。抗議中の案件について、これ以上の審査はありません。

(b) CS、QS、WLT、LQS、WJC、および地域ジュニアシリーズ大会：

- (i) サーファーは、ビーチマーシャルから入手可能な抗議用紙に記入しなければなりません。
- (ii) サーファーは、記入済みの抗議用紙をビーチマーシャルに返却しなければなりません。
- (iii) ビーチマーシャルはヘッドジャッジにプロテストシートを提出します。
- (iv) ヘッドジャッジは、その日の終わりに30分以内、サーファーと抗議の件について話し合います。
- (v) その後、ヘッドジャッジは抗議を受けている問題を検討し、最終決定を下します。抗議中の案件について、これ以上の審査はありません。

本規約に定める不服申し立て手続きは、サーファーが審査決定に対して異議を申し立てる、または申し立てようとする方法であり、各サーファーは、審査決定に対して公に異議を申し立てたり、その他の方法で中傷したりしてはなりません。

10.08

発表

- (a) ビーチの解説者は、間近のセットの発表は絶対にできません。
- (b) ヘッドジャッジには、テレビクルーなどがインタビューをしている間、音声遮断を無効にする権利があり、インタビュー中にタイミングや状況をコールするようビーチ解説者に指示することができます。競技に際して、静かな場所にインタビューエリアを設けることが不可欠です（いずれにせよ、ビーチでのインタビューはスピーカーの近くで行われるべきではありません）。水中でのサーファーとのコミュニケーションと本規則書の遵守は常に優先させてください。
- (c) ヒート中、全てのジャッジのスコアがシステムに入力されるまで、ビーチコメンテーターはサーファーのスコアやライディングの基準を発

表してはなりません。

- (d) スコアとヒート状況は、ヒート全体を通してアナウンスされなければなりません。
- (e) ビーチの解説者が得点を出し、ジャッジが間違った得点を入力した、または解説者が間違った得点を出したために、その得点が間違っていた場合、サーファーには抗議する権利はありません。
- (f) ヒート中、サーファーが水上からの情報を必要とする場合、以下のハンドシグナルを使用しなければなりません：
 - (i) スコアまたはヒートの状況（最終スコア、ヒートスコア、勝利に必要なスコアなど）は、サーファーの頭の真上に片腕をまっすぐ伸ばす。
 - (ii) 残り時間は、片方の手が頭上でもう一方の手に触れる。
 - (iii) 優先は両腕を頭の上に上げて示す。

10.09 サーファーキャディ規則

- (a) サーファーは、競技用ジャージを受け取る前に、キャディをビーチマージャーに登録しなければならず、そのキャディは WSL の現在の規律や命令の対象にはなれません。
- (b) サーファーのキャディ（サーファー1人につき1名まで）は、ボードを紛失または破損した場合、水上キャディが禁止されるサーフコンディションを除き、入水することができます。
- (c) 水上キャディは、ヘッドジャッジが適切と判断した場合、定められたマーシャリングエリアで入水することができます。
- (d) キャディが(1)ウェーブに乗った場合、または(2)他のサーファーに何らかの妨害を与えた場合、審査委員会の見解に基づき、キャディをするサーファーにウェーブ1本ごとに罰金が科されます。また、キャディを務めるサーファーに妨害ペナルティも科されます。
- (e) すべてのキャディは、そのキャディが代表するサーファーと同様に本規則書に従うものとし、キャディが本規則書を遵守しなかった場合、サーファーに強制することができます。
- (f) サーファーは、自分のヒートが開始された後、自分のキャディが運んだ交換用サーフボードのみを使用することができます。
- (g) サーフィンボード以外の道具（例えば、空気膨張式のボート、水上パトロールのボードやジェットスキー、フォトグラファーの船艇、前または現在のヒートサーファーや他のキャディのサーフボードなど）を使用した後、そのサーファーが競技エリアに再入場して余計なウェーブに乗ったり、パドリングやポジショニングによって他のサーファーを妨害したりした場合は、妨害とみなされます。上記に拘わらず、水上パトロールは、サーファーが生命にかかわる状況にあると判断した場合、水上パトロールがサーファーをインパクトゾーンから移動させ、主要テイクオフゾーンに近づかない安全な場所にサーファーを連れていき、そこからサーファーがヒートを続行できます。
- (h) キャディをするサーファーにボードを渡したキャディは、紛失したサーフボードやビーチまで移動するために、PWCが使用可能であれば、そのPWCを使用することができます。紛失したサーフボードまで移動した場合、マーシャリングエリアまで持ち帰ることができますが、ビーチまで移動した場合は、キャディのために決められたマーシャリングエリアまでパドルで戻らなければなりません。

- (i) サーファーがキャディーをつけないことを選択した場合、そのサーファーはビーチまたはボートに戻り、交換用のサーフボードを余分に持っていかなければなりません。
- (j) サーファーは、本規則書内でPWCによって許可される以外のいかなる方法による援助も受けずに、自力で主要テイクオフゾーンに戻らなければなりません。
- (k) ヘッドジャッジは、競技の開始時に、全てのキャディが行動と本規則書に関連して厳守すべきパラメーターを設定することができます。

10.10 **電子コーチング** サーファーは、競技エリアにおいて WSL または WSL ツアー代表者以外から電子的な通信を受けることは禁止されています。

10.11 承認機材

- (a) ツアーアンドコンペティション事務局は、安全上またはその他の理由により、常にサーファーに対し、ツアーアンドコンペティション事務局が指定する用具の使用を要求する権利を有します。上記に拘わらず、(i) ツアーアンドコンペティション事務局は、特定ブランドのサーフボード、リーシュ又はトラクションパッドの使用を要求する権利を有さず、かつ、(ii) CT については、当該要求は、競技者契約の条件に従うものとします。常に、公正な競争とスポーツの最善の利益が優先されます。
- (b) 規則 10.11(d) に従い、使用される用具に関する指示にサーファーが従わない場合、WSL 競技におけるツアーディレクターは、ディレクターの裁量で、サーファーに得点の不適格を宣告するか、その得点/結果を無効とすることができます。
- (c) CT 競技では、WSL アプリと関連するウェアラブル技術は WSL の公式装備となります。アスリート同意書に規定された例外を条件として、サーファーは、WSL アプリが使用可能なすべての CT 競技において、WSL アプリを水中（すなわち競技中）で使用することが要求されます。WSL アプリは、サーファーのヒートを補助する追加ツールです。LED システムまたはビーチアナウンサーが提供するヒート情報（①優先、②ヒートの残り時間、③ウェーブスコア、④進出に必要なポイント）と WSL アプリが競合した場合、LED システム/ビーチ解説者が WSL アプリより優先されます。ヒート中に WSL アプリが動作しなかったとしても、そのヒートの結果には影響ありません。
- (d) サーファーは、大会出場中に特定用具の使用をツアーアンドコンペティション事務局から否認される場合があります（SUP、パドル、サーフスキーの使用禁止など）。

10.12 **競技不履行**：非CT競技において、ヘッドジャッジ、WSL ツアー代表者、サーファー代表者の大多数が競技続行に同意しているにも拘わらず、サーファーが競技を拒否した場合、当該サーファーには第14章に従いペナルティが科されます。サーファーが出場しない場合は、第1シードが進出します。サーファーが海に入っているかどうかにかかわらず、ヒートは予定通り行われます。

10.13 競技中の服装

- (a) いかなる場合においても、サーファーは競技中または表彰式において、競技用ジャージ以外の服装を強制されることはありません。
- (b) サーファーは、ヒート終了時にビーチマーシャルに返却されるまで、WSL が提供する競技用ジャージを着用します。サーファーは、ヒート

後のインタビューと表彰式で競技用ジャージを着用しなければなりません。

- (c) ヒート後のインタビューや表彰式において、国旗やタオルなどで競技用ジャージを覆うことは許されません。
- (d) サーファーは、表彰ステージにサーフボードを持ち込むことはできません。
- (e) すべてのサーファーのスポンサーシップは、センスがよく、プロのサーファーに期待される礼儀の基準に従うものとし、WSLのイメージと評判に悪影響を与える可能性のあるスポンサーシップ、WSLを不利な立場に追い込む、コミュニティまたはコミュニティ内のグループを侮辱または不快にさせる、またはWSLが合理的に判断して、憎悪的、虐待的、わいせつ、または分裂的と見なされるスポンサーシップは禁止されています。
- (f) サーファーのアパレル、ヘッドウェア、サーフボードに付けられるすべての名称、ブランド、ロゴ、その他のマークや識別は、WSLが合理的に判断するように、サイズ、位置、量に関して、センスの良いものでなければなりません。
- (g) 違法な製品のスポンサーシップはすべて禁止されています。
- (h) タバコ、WADAで禁止される薬物、武器、アダルトグッズのスポンサーシップはすべて禁止されています。
- (i) WSLの書面による事前の同意がない限り、ギャンブル会社や製品のスポンサーシップはすべて禁止されています（つまり、そのようなスポンサーシップは、サーファーの要求に応じて、ケースバイケースでWSLで審査されます）。
- (j) ウェットスーツには、ウェットスーツを製造した会社以外の会社のブランド名を入れてはなりません。ただし、その会社が**消費者用ウェットスーツ会社**であることを条件とします。この規則の唯一の例外は、第三者がサーファーのためにウェットスーツの製造を手配するアパレル会社の場合です。その場合、そのアパレル会社のみを次のようにウェットスーツに含めることができます：**(1)**左胸または右胸に2インチ×2インチ以内のブランドマーク、**(2)**左肩または右肩に2インチ×2インチ以内のブランドマーク、**(3)**左ふくらはぎまたは右ふくらはぎに2インチ×2インチ以内のブランドマーク（つまり3カ所）。競技会で着用される消費者用ウェットスーツ会社のすべてのウェットスーツおよび水着のブランドは、一般向けに販売されるブランドのウェットスーツおよび水着とサイズ、数、および位置に関して一貫していなければなりません。ただし、競技用ジャージの外側に見えるサーファー向け消費者用ウェットスーツ会社の特別なブランドが入ったウェットスーツと水着は、WSLが合理的に判断したサイズ、位置、数量に関してセンスが良ければ許可されます。
- (k) サーファーは、表彰ステージにサーフボードを持ち込むことはできません。
- (l) サーファーは、ヒート後のインタビューにおいて、サーフボードを持つてはなりません。WSLは、ポストヒートインタビューのバックドロップの真横にサーフボードスタンドを用意し、サーファーが自分のボードをスタンドに置くことができるようにし、WSLはサーフボードが放送に映し出されるようにします。

- (m) サーファーは、アパレル、用具、アクセサリーのスポンサーから提供されたウェットスーツ、ボードシューズ、フットウェア、サングラス、時計を表彰ステージで着用することができます；但し、そういったアイテムは、当該スポンサーのビジネスの善意の一部であることを条件とします。サーファーは、WSLが承認した場合（保留される場合もある）、パーソナルスポンサーのブランドが入ったキャップやその他のヘッドウェアを着用し（および／またはドリンクボトルを携帯し）、表彰式に臨むこともできます。

10.14 追加競技義務

- (a) すべての催し物、会議等は、競技会場の近くで、合理的な時間に開催される事とします。
- (b) すべての競技は、少なくとも各競技の決勝進出者全員にトロフィーを提供しなければなりません。
- (c) すべてのビーチマーシャルは英語を話さなければなりません。
- (d) スコアボード - 電子スコアボードを使用する場合は、ツアーアンドコンペティション事務局が定めたガイドラインに従わなければなりません。
- (e) 競技エリア
 - (i) 競技会場内はすべて禁煙とします。
 - (ii) 競技中、サーファーズエリアおよび指定されたVIPバーエリア（ある場合）以外での飲酒は禁止します。
 - (iii) すべての大会は、競技エリアが見渡せる、倉庫およびヒート準備のためのエリアを備えた、十分に確保された大きさのサーファーズエリアを設けなければなりません。サーファーズエリアの最大収容人数に十分な無料の飲料水を提供しなければなりません。食べ物、競技会場またはその周辺で入手できるものとします。
 - (iv) サーファーズエリアは、サーファーとそのサポートスタッフ1名が利用できます。
 - (v) サーファーは、サポートスタッフの行動に対して責任を負う事とします。
 - (vi) 競技では、サーファーのみが使用できるように、競技開始の1時間前に競技エリアを確保する目的で、あらゆる合理的な努力を払わなければなりません。
 - (vii) CT 競技ではすべての CT サーファーに、CT 以外の競技では少なくとも男子シード上位 16 名と女子シード上位 8 名に、パーキングパスが提供されます。
 - (viii) すべての WSL 競技は、WSL が決定した適切な宿泊施設（競技会場近くの宿泊施設に 1 部屋につき 1 名）を、WSL 選出スタッフ用に、競技期間中提供しなければなりません。WSL ツアーディレクターは、WSL 旅行スタッフの宿泊施設の選択と承認に直接関与します。コンテストとの協議の結果、WSL ツアーディレクターの判断により、宿泊施設が WSL のガイドラインに準拠していない場合、WSL スタッフは関連する WSL 競技計画書に従って適切な宿泊施設を見つけようと試みますが、これは競技宛に請求されます。ホテル名、住所、電話番号などを含む宿泊先の詳細は、遅くとも競技開始の 1 ヶ月前までに、関連する WSL 地域事務局に提供されなければなりません。

- (ix) WSL は、本規則集に基づく義務が完全に遵守されない場合、競技ライセンス保持者に罰金を科します。WSL から要求を受けて課された罰金は、競技ライセンス保持者にライセンスが提供される前に支払われなければなりません。未納の罰金が全額支払われるまで、今後の競技は競技スケジュールに掲載されません。

10.15 **水上フォトグラファー**：水上フォトグラファーのガイドラインは以下の通りです：

- (a) WSL 競技において、WSL 公認の水上フォトグラファーのみが水中に入ることができます。CT 競技における水上フォトグラファーの権限とアクセスは WSL が提供します。非 CT 競技における水上フォトグラファーの権限とアクセスは、サーフィンディレクターが提供します。
- (b) WSL 競技において、どのヒートにおいても、最大 2 名の水上フォトグラファーがラインナップに入ることが許されます。
- (c) 競技エリア内での水上フォトグラファーの移動は、ヘッドジャッジが管理し、ヘッドジャッジは独自の裁量でその退去を命じることができます。

10.16 **ダブルバンク**：競技中にダブルバンクを使用するには、WSL ツアーディレクター、ヘッドジャッジ、サーファー代表が、時間内に競技を終了する上で必要なことに同意しなければなりません：

- (a) 2 つのバンクの間に少なくとも 100 メートルの「競技禁止区域」を確保してください。
- (b) 最低 3 名のジャッジパネル（すべてのジャッジの得点が最終平均点にカウントされる）が採用されます。

10.17 **非 CT 競技への時間延長**：CT 以外の競技の時間延長は、WSL で承認され、まだ大会に参加しているサーファーの大多数が同意した場合のみ認められます。本大会は、期間延長に伴うサーファーの合理的な費用の全額を支払う責任を負います。残れなかったサーファーには、到達したラウンドに相当するポイントと賞金が付与されます。

10.18 **非 CT 競技のキャンセルまたは延期（不可抗力またはコンペティティブウェーブの欠如によるものを除く）**：非 CT 競技の競技ライセンス保持者が、当初予定されていた競技開始日から 60 日以内にその日程を変更、および/またはキャンセルする場合、競技ライセンス保持者（WSL ではない）は、不可避免的に発生した全ての費用を負担する責任を負います。これには、サーファー、関係者、WSL スタッフが各自のフライトや宿泊のスケジュール変更やキャンセルにかかる費用も含まれます。

10.19 **CT 以外の競技のキャンセルまたは延期で、不可抗力または競技ウェーブの欠如によるもの**

- (a) WSL 競技ライセンス契約の不可抗力条項に影響を与えることなく、不可抗力または競技ウェーブの欠如により競技がキャンセルされた場合、以下が適用されます：
- (i) 競技が開始されていない場合 - いかなる理由でも延期の場合は：
(i) 賞金はサーファーに支払われません。(ii) 参加費を支払ったすべてのサーファーには、その参加費は返金されません。
- (ii) 競技が開始されていない場合 - 不可抗力またはウェーブ不足によるキャンセルの場合：
(i) 参加費を支払い、賞金が保証されていないすべてのサーファーには、参加費が返金されます。(ii) 参加費を支払い、賞金が保証されるシードされたサーファーには、

- (x) 最低賞金額 (y) 参加費のいずれか大きい額が支払われます。
- (iii) 競技は開始されたが、最初の賞金ヒートが開始されていない場合 – 不可抗力またはウェーブ不足によるキャンセルの場合: (i) サーファーはその時点の結果に該当するポイントを受け取ります。 (ii) 競争して負けたサーファーは参加料の返金を受けられません。 (iii) まだ競技中だが賞金が保証されていないサーファーには、参加料が返金されます。 (iv) 参加料を支払い、賞金が保証されるシードサーファーは、(x) 最低賞金、(y) 参加料のいずれか大きい方を受け取るようになります。
- (iv) 競技は開始されたが、賞金ラウンドが完了しなかった場合で - 不可抗力またはウェーブ不足によるキャンセルの場合: (i) アドバンスサーファーは、未完了のラウンドで最後にアドバンスしなかった順位に適用されるポイントを受け取ります。ただし、賞金は次のラウンドに適用されるものとします。 (ii) すでに敗退した非アドバンスサーファーは、そのラウンドに適用されるポイントと賞金を受け取るものとします。 (iii) 未出場の非アドバンスサーファーは、未完了ラウンドの最後の非アドバンス順位に対するポイントと、そのラウンドの賞金を受け取るものとします。
- (v) 賞金ラウンド終了後、不可抗力やウェーブ不足により競技がキャンセルされた場合、競技に残っているすべてのサーファーには、進出したラウンドの最低順位分のポイントが付与されます。

10.20 **競技におけるサーファーの死亡または障害:** もし大会中にサーファーが死亡した場合（競技中ではない場合）、または競技不能となった場合、WSL はその大会に残っている全サーファーと協議し、ツアーアンドコンペティション事務局（またはその代理人）が、その大会の継続または中止を決定します。ヒート中にサーファーが死亡した場合、本大会は中止となり、不可抗力とみなされます。競技がキャンセルされた場合、規則10.19が適用されます。

10.21 **トランスジェンダーアスリート規則** オリンピックスポーツとして、またWSLのすべての種目がオリンピックに含まれることを目指して、WSLはトランスジェンダーの参加に関する国際サーフィン協会（ISA）の方針（「ISAトランスジェンダー方針」）を採用しました。本規則に基づく男子または女子のいずれかの大会に出場するサーファーの資格は、ISAトランスジェンダー規則に従うことを条件とします。

第11章：優先規則と妨害

11.01 優先規則の適用と妨害

- (a) 本章の規則は、他の章で特に明記されていない限り、全ての WSL 競技に適用されます。
- (b) 妨害ペナルティは、ジャッジパネルの過半数がジャッジシートに妨害をマークした場合にのみ適用されます。
- (c) ヘッドジャッジは、多数決に達しなかった場合（それを見ておらず、コールに投票できないジャッジを考慮し）、妨害ペナルティをコールすることができます。
- (d) 優先順位や時期など、競技に関して不測の事態が発生した場合、再サーフを含む解決策が決定されます；
 - (i) CT 競技にて：ヘッドジャッジおよび/またはツアー競技責任者は、その裁量で関係者と協議します。
 - (ii) 非 CT 競技において：ヘッドジャッジは WSL ツアー代表者、コンペティションディレクター、またはその他の関係者とその裁量で協議します。

11.02 オーバーラッピングヒート： 競技でオーバーラッピングヒートが実施される場合：

- (a) 2人のサーファー優先規則が各ヒートに適用されます。優先順位はヒート毎に別々に表示・発表されます。
- (b) 先にスタートしたヒート（以下「**第1ヒート**」）のサーファーは、ラインアップのどの位置でも、無条件で他のヒート（以下「**第2ヒート**」）のサーファーより優先権を持ちます。
- (c) 妨害ペナルティは、各ヒートに適用され、他のヒートのいずれかのサーファーに妨害したサーファーに適用されます。
- (d) 他のヒートに出場するサーファーに対して故意のスポーツマンシップを欠く妨害があった場合、ジャッジは妨害したサーファーに、たとえそのサーファーが無条件で優先権を持っていたとしても、妨害ペナルティを課することができます。もしジャッジが妨害ペナルティを宣告した場合、規則**11.17(b)**、**11.18**、**11.19**、**11.20**に記載される状況を考慮し、どのようなペナルティを適用するかを決定します。
- (e) 第2ヒートで優先を持つサーファーが、第1ヒートのサーファーと並んでパドルし、そのサーファーがウェーブをキャッチした場合、第2ヒートのサーファーは優先権を失いません。
- (f) 規則**10.02(e)**および**(f)**に基づく再開はありません。

非優先規則

11.03 非優先状況における通行権

- (a) 非優先状況においては、ウェーブのインサイドポジションにあるとみなされたサーファーが、そのライドの全期間、無条件で通行権を持ちます。そのライド中、ジャッジの過半数が、あるサーファーがそのウェーブの進路権を持つサーファーの得点の可能性を妨げたと判断した場合、妨害ペナルティが科されます。妨害の例としては、過度な口論やリードを引っ張るなどです。ジャッジにより妨害ペナルティが宣告された場合、妨害ペナルティ**1**が適用されます。
- (b) 「非優先状況における通行権」に関する規則に記載される各状況にお

ける進路の権利の基準の選択は、ヘッドジャッジまたは最も上級の WSL ジャッジの責任となります。

- (c) このような状況における通行権は、コンテスト会場の性質で決定する以下のカテゴリにより若干異なります。基本的に、ウェーブが右か左かによって、どちらのサーファーがインサイドポジションにいるかを判断するのは各ジャッジの責任であり、どちらのサーファーが先に足をついたかを判断することはありません。

- 11.04 **ポイントブレイク**：あるウェーブで使用可能な方向が1つしかない場合、インサイドサーファーがそのウェーブの間中、無条件で通行権を持ちます。
- 11.05 **リーフまたはピーチブレイク - 単体ピークでの状況**：テイクオフの最初の地点で、左右両方が利用可能で明確に定義された1つのピークがあり、左右どちらも優れていないと判断される場合、（明らかな右ターンまたは左ターンをして）最初に選択した方向に明確にターンしたサーファーに通行権が付与されます。セカンドサーファーは、通行権のあるファーストサーファーを妨害しない限り、ペナルティを受けることなく同じウェーブの反対方向に進むことができます（すなわち、ジャッジの多数意見において、インサイドサーファーを妨害せずに行わない限り、ピークの反対側を得るためにファーストサーファーの進路を越えてはなりません）。
- 11.06 **リーフまたはピーチブレイク - 複数のピークがある状況**：複数のランダムなピークがある場合、個々のウェーブの性質によって通行権が多少変わることがあります。
- (a) ピークが2つある場合、1つのうねりが2つの別々の明確なピークを持ち、遠く離れていて、最終的にある地点で合流するケースがあります。2人のサーファーがそれぞれのピークでインサイドポジションを取ることができますが、最初に立ち上がったサーファーが通行権を持つとみなされ、2番目のサーファー通行権を持つサーファーを妨げる前に、カットバックするかキックアウトしてコースを譲らなければなりません。
- (b) 2人のサーファーが、最終的に会う2つの別々のピークに同時に立つとします、そこで：
- (i) 双方が切り返すか蹴り出すかして道を譲り、どちらも妨害しないようにすれば、ペナルティはありません。
- (ii) サーファー同士がぶつかり合ったり、妨げ合ったりした場合、どちらか一方、または両方が妨げられた地点で攻撃性を示した場合、ジャッジによりペナルティが科されます。妨害ペナルティが宣告された場合、妨害ペナルティ1が適用されます。
- (iii) もしどちらのサーファーもライディングを降りて道を譲らず、両者が対立をしている場合、両サーファーに妨害ペナルティ1が科されます。
- 11.07 **「スネーキング」**
- (a) 最初のテイクオフ地点で最もインサイドに位置し、通行権を確立したサーファーは、その後他のサーファーがその後ろにテイクオフしたとしても、ライディングの間、そのウェーブに乗る権利があります。ジャッジは、サーファーが前にいたとしても、サーファーに通行権があるとしてペナルティを科されません。
- (b) もし2人目のサーファーが、元のサーファーの通行権を妨害していな

い場合、ジャッジはペナルティを与えず、両サーファーのライディングを採点します。

- (c) ジャッジの見解において、2人目のサーファーが通行権のある1人目のサーファーに対して、ウェーブを引かせたり、ウェーブを失わせたりして妨害（スネーク）した場合、ペナルティが課された時に1人目のサーファーの後ろにいたとしても、2人目のサーファーに対して妨害ペナルティが課される場合があります。妨害ペナルティが科された場合、妨害ペナルティ1が適用されます。

11.08 パドルリング妨害

- (a) 同じウェーブに向かってパドルしているサーファーは、インサイドポジションにいる他のサーファーを過度に妨げてはなりません。
- (b) 妨害反則は次の場合に適用されます：
- (i) 違反したサーファーがインサイドサーファーに接触し、その妨げとなり、その結果、そのサーファーがウェーブに乗るためにパドルリング中にラインを変えなければならなくなり、得点の可能性を奪った場合。
 - (ii) 違反したサーファーが、明らかにインサイドのサーファーの前で、通常であればそうならないのに、セクションを崩し、得点の可能性を奪った場合。
 - (iii) 妨害ペナルティが科された場合、妨害ペナルティ1が適用されます。
- (c) パドルアウトしているサーファーとウェーブに乗っているサーファーの間で衝突またはニアミスが発生し、ウェーブに乗っているサーファーの得点の可能性に悪影響を及ぼした場合（ジャッジの大多数が、その衝突・ニアミスが現在のヒート結果に得点的な影響を与えないウェーブで起こったと判断した場合は、妨害ペナルティはない）以下が適用されます：
- (i) パドルアウトしているサーファーが、ウェーブに乗っているサーファーのラインから離れる能力がない場合、妨害ペナルティはありません。
 - (ii) パドルアウトしているサーファーが、ウェーブに乗っているサーファーと偶発的に衝突やニアミスを起こした場合、ジャッジの大多数決により妨害ペナルティが科されます。妨害ペナルティを科すかどうかを決定する際、ジャッジはサーファーの安全と、状況を避けるためのサーファーの位置取り／努力を考慮します。妨害ペナルティが科された場合、妨害ペナルティ1が適用されます。
 - (iii) もしジャッジの大多数が、パドルアウトしているサーファーが故意にウェーブに乗っているサーファーとの衝突やニアミスを引き起こしたと判断した場合、パドルアウトしているサーファーに妨害ペナルティ2が科されます。
 - (iv) もしジャッジの大多数が、ウェーブに乗っているサーファーがパドルアウトしているサーファーと故意に衝突を起こしたと判断した場合、ウェーブに乗っているサーファーに妨害ペナルティ2が

科されます。このような妨害行為を行ったサーファーは、規則14.02に基づく追加制裁の対象となります。

優先規則

11.09 優先システムを利用した通行権

- (a) 優先が適用されるヒートでは、優先システムにより、その時点でどのサーファーがウェーブに優先権を持つかが決定されます。優先を持つサーファーは無条件に通行権を持ち、どのウェーブでもパドルして乗ることができます。以下の行為が発生しない限りにおいて、サーファーの対戦相手は同じウェーブに向かってパドルして任意の方向に乗り、得点できます；
 - (i) 優先権を持つサーファーのライディングの得点可能性を妨害する。
 - (ii) サーファーがアップしてウェーブに乗っているか、ウェーブをキャッチしている最中であるかどうかにかかわらず、優先権を持つサーファーの前を横切ったり、ボトムターンする。
- (b) 優先権を持たないサーファーが規則11.09(a)に従わない場合、妨害ペナルティ2が科されます。
- (c) サーファーが妨害ペナルティを科された場合、優先権を失います。優先ジャッジは、ヒートにおけるサーファーの新たな優先順位を決定します。ヒート中の優先順位の変更を常にチェックするのはサーファーの責任です。

11.10 一般優先順位

- (a) 優先が確立されるまでは、非優先での規則が適用されます。
- (b) 優先ジャッジは、優先を示すために、水中でサーファーの競技用ジャージの色に対応した色の表示システムを用いて、優先のコールを行います。どの表示システムでも、縦型なら優先順位は上から下へ、横型なら左から右へとなります。優先順位が設定された後は、常に優先順位を確認することがサーファーの責任です。
- (c) サーファーがウェーブに乗るか、またはウェーブに乗るためにパドルをした後で、そのウェーブを逃してしまったら、ウェーブの優先権は失われます。
- (d) 規則11.10(c)は、以下の状況ではサーファーが2人以上のヒートでは適用されません；
 - (i) 優先が上のサーファーと並んでパドルし、そのサーファーがウェーブをキャッチした場合。
 - (ii) 優先が上のサーファーにパドルングやポジショニングでブロックされた場合。
- (e) インサイドのサーファーが2番目または3番目の優先権を持ち、対戦相手がパドルしてウェーブに乗り遅れた場合、インサイドのサーファーが自動的に上位の優先権を持ちます。したがって、もし彼らがパドルしてウェーブに乗り遅れたら、優先権を失ったこととなります。つまり、優先を変更するのに十分な時間がなく、ウェーブが1本しか経過していないにも拘わらず、両方のサーファーが優先権を失ったこととなります。

- 11.11 **非優先状況における「ブロッキング規則」**：優先ジャッジがいる全ての競技において、インサイドポジションにいるサーファーは、以下の場合、その時点で優先最下位が割り当てられます：
- (a) ウェーブに向かってパドルをし、サーファーがそのウェーブを捕らえるのを妨害した場合。
 - (b) テイクオフゾーンに位置し、他のサーファーがウェーブを捕らえるのをブロックした場合。
- 11.12 **非優先状況での過度な口論**：優先ジャッジのいるすべての競技において、優先ジャッジおよびヘッドジャッジの見解により、サーファーが他のサーファーのパドルングを過度に妨げたり、妨害したりした場合、その時点で適用される優先最下位が割り当てられます。もしその行為が攻撃的であったり、スポーツマンシップを欠くものであれば、妨害ペナルティ1が科されることもあります。このようなサーファーは、規則14.02に基づく追加制裁の対象となります。
- 11.13 **優先状況における「ブロッキング規則」**：
- (a) ヘッドジャッジまたは優先ジャッジの見解において、以下の場合、優先サーファーは優先権を失います：
 - (i) 非優先サーファーの前でパドルし、故意にウェーブを捕らえるのを妨害した場合。
 - (ii) テイクオフゾーンに位置し、他のサーファーがウェーブを捕らえるのを妨害した場合。
 - (iii) 優先権を持つサーファーが得点する意志がないと思われるときに、パドルングで相手のウェーブに向かうかテイクオフして相手をブロックすることによって、優先を使用した場合。この場合、どちらのサーファーがライディング後に先にテイクオフゾーンに到達しても、優先権が付与されます。
 - (b) 優先順位の高いサーファーが主要テイクオフゾーン外でパドルをした場合（インサイドポジションに入った場合を含む）、そのサーファーは主要テイクオフゾーンに再び入るまで優先権が一時停止されます。サーファーがした場合、主要テイクオフゾーンに再突入しない場合、優先サーファーではなくなります。優先ジャッジは、ヒートにおけるサーファーの新しい優先ポジションを決定します。優先サーファーが主要テイクオフゾーンを離れ始めると、PAシステムを通じて口頭で警告が下されます。サーファーは口頭での警告を鵜呑みにせず、必ず競技の優先ディスクを見て優先を確認する事とします。
 - (c) 妨害ペナルティ2は、審判団の大多数がその出来事を見ていない場合に限り、ヘッドジャッジが個別にコールすることができます。
 - (d) 優先システムの決定または不具合により生じるすべての論争において、ツアーアンドコンペティション事務局（CT 競技）/WSL ツアー代表（CT 競技以外）は、ヘッドジャッジおよび優先ジャッジと協議し、再サーフを含む解決策を決定します。
 - (e) 優先ジャッジが、誰が最初に主要テイクオフゾーンに到達したと考えるかに基づいて割り当てが行われます。サーファーが同時に主要テイクオフゾーンに到着した場合、最下位優先権を持っていないサーファーが優先されます。
 - (f) ヒートが終了すると、すべての優先権は消滅します。ヒート終了時にサーファーがウェーブに乗っていた場合、どのサーファーもそれを妨

害してはなりません（たとえヒート終了前により高い優先権を持っていたとしてもです）。妨害が発生した場合、妨害ペナルティ2が適用されます。

- (g) PWCの補助がある場合、2人のサーファーが同時に搬送される場合の優先順位は、ピックアップとドロップオフの両方を考慮した上で、優先ジャッジが決定します。サーファーをラインアップに戻す際、PWC同士の追い越しは一切できません。
- (h) ヘッドジャッジまたは優先ジャッジが、ある状況においてPWC操縦者の能力または機械的問題のいずれかによって優先順位が影響を受けると判断した場合、ヘッドジャッジまたは優先ジャッジが適切と考える優先順位が割り当てられます。
- (i) 無許可のPWC補助がサーファーに使用された場合、そのサーファーは自動的に優先最下位に移動されます。
- (j) サーファーがヒートスタート前にウェーブに乗ったり、PWCの補助を受けたりした場合、そのサーファーはヒート開始後、そのヒートで最下位優先順位を与えられ、再開後もその順位を保持します。
- (k) 優先ジャッジの判断により、サーファーの用具が破損し、そのサーファーが積極的に代替りの用具に向かう場合（プロローンの姿勢でウェーブを捕えたり、サーファーの安全のためにPWCを使用する場合を含む）、またはサーファーがセットにより主要テイクオフゾーンから流された場合：
 - (i) サーファーの優先権が停止され、サーファーが「優先無し」と表示されます。
 - (ii) 主要テイクオフゾーンにいた時のサーファーの優先順位（1位、2位など）は、主要テイクオフゾーンに戻れば回復できます。

11.14 2件のサーファーヒート優先権： 2件のサーファーヒート優先権は、規則11.11および11.13(j)に従い、以下のように決定します：

- (a) ヒート開始時、最初のウェーブに乗った後、2番目のサーファーは、ヒート開始前にそのウェーブに乗らない限り（規則11.13(j)参照）、またはヒート開始前にそのサーファーが競技エリアにいない場合を除き、選択した他のウェーブに対して自動的に優先権を得ます。
- (b) 第2優先を持つサーファーがパドルしてウェーブに乗り遅れても、優先ジャッジの判断により、(i)立ち上がろうとして手がレールから離れた、または主要テイクオフゾーン外でパドルした、(ii)第1優先権を持つサーファーがウェーブに乗り、第2優先権を持つサーファーより先に主要テイクオフゾーンに戻った、などの場合を除き、優先権を失うことはありません。
- (c) 割り当ては、優先ジャッジが誰が最初に主要テイクオフゾーンに到達したと考えるかに基づいて行われます。サーファーが同時に主要テイクオフゾーンに到着した場合、優先権の最下位ではないサーファーが優先されます。
- (d) ヒート開始時に主要テイクオフゾーンにサーファーがおらず、遅れて到着した場合、優先ジャッジの判断により、優先権は他のサーファーに割り当てられます。

11.15 3件のサーファーヒート優先権： 3件のサーファーヒート優先権は、規則11.11および11.13(j)に従い、以下のように決定します：

- (a) 最初にウェーブに乗ったサーファーが3番目の優先権（第1サーファ

- 一) を得ます。
- (b) ヒート中の残りの2人のサーファーは、第1サーファーよりも優先権を持ち、そのうちの1人（第2サーファー）がウェーブに乗るまで、この優先権を失うことなくウェーブをパドルすることができます。
- (c) 第2サーファーがウェーブをキャッチした時点で、最初のヒート優先順位が確定します：
- (i) まだウェーブに乗っていないサーファーが第1優先とされます。
 - (ii) 残りのサーファーは、主要テイクオフゾーンに戻った順に優先順位が確定します。
 - (iii) 第1優先権を持つサーファーは、他の両サーファーよりも優先されます。第2優先サーファーは、第3優先サーファーよりも優先されます。
 - (iv) サーファーがヒート開始時に主要テイクオフゾーンにおらず、遅れて到着した場合、そのサーファーは主要テイクオフゾーンに到着した時点で優先ジャッジが決定した適切な優先ポジションが割り当てられます。
 - (v) 第3優先を持つサーファーがパドルしてウェーブに乗り遅れた場合でも、(i)立とうとして手がレールから離れた場合、または(ii)優先ジャッジの判断により主要テイクオフゾーン外側でパドルした場合を除き、優先権を失うことはありません。

11.16 4件のサーファーヒート優先権：4件のサーファーヒート優先権は、規則11.11および11.13(j)に従い、以下のように決定します：

- (a) 最初にウェーブに乗ったサーファーが4番目の優先（第1サーファー）を得ます。
- (b) ヒートに残っている3人のサーファーは、第1サーファーよりも優先権を持ち、次のサーファーがウェーブに乗るまで（第2サーファー）、この優先権を失うことなくウェーブをパドルすることができます。
- (c) ヒートに残った2人のサーファーは、第1サーファーと第2サーファーよりも優先権を持ち、そのうちの1人（第3サーファー）がウェーブに乗るまで、この優先権を失うことなくパドルすることができます。
- (d) 第3サーファーがウェーブをキャッチした時点で、最初のヒート優先順位が確定します：
- (i) まだウェーブに乗っていないサーファーが第1優先とされます。
 - (ii) 残りのサーファーは、主要テイクオフゾーンに戻った順に優先されます。
 - (iii) 第1優先権を持つサーファーは、他のサーファーよりも優先されます。第2優先サーファーは、第3と第4優先サーファーに対してのみ優先権を持ちます。第3優先サーファーが優先権を持つのは、第4優先サーファーに対してのみです。
- (e) サーファーがヒート開始時に主要テイクオフゾーンにおらず、遅れて到着した場合、そのサーファーは主要テイクオフゾーンに到着した時点で優先ジャッジが決定した適切な優先ポジションが割り当てられます。
- (i) 第4優先権を持つサーファーがパドルしてウェーブに乗り遅れた場合でも、(i)立とうとして手がレールから離れた場合、または(ii)優先ジャッジの判断により主要テイクオフゾーン外側でパドルした場合を除き、優先権を失うことはありません。

11.17 妨害に対するペナルティ

- (a) 妨害ペナルティは以下の通り：
1. 妨害ペナルティ1：妨害を行ったサーファーの2番目に高いスコアのライドのスコアは半分になります。
 2. 妨害ペナルティ2：妨害したサーファーの2番目に高い得点のライドは無得点としてカウントされます。
 3. 妨害ペナルティ3：妨害したサーファーの最高得点のライドは無得点としてカウントされます。
 4. 失格：サーファーはそのヒートから失格となります
- (b) 優先状況においてサーファーに妨害がコールされた場合、妨害ペナルティ2が適用されます。上記に拘わらず、CTおよびチャレンジャーシリーズ競技のみにおいて、ヒートの最後の5分間に、サーファーが得点となりうるライド（すなわち、ジャッジがそのサーファーの最高得点のライド1本または2本になりうる判断したライド）を行うことを妨げる妨害（ドロップイン、パドリング、ブロックなど）があった場合、妨害ペナルティ3が適用されます。疑義を避けるため、本規則に違反したからといって、自動的に規則11.20に違反するわけではありません。最終5分間の妨害が故意であるとジャッジの過半数が判断した場合、妨害したサーファーは失格となります。
- (c) 非優先状況において、サーファーに妨害ペナルティが科された場合、妨害ペナルティ1が適用されます。
- (d) ウェーブを捕らえるためのパドリング中、またはライディング中のサーファーに妨害ペナルティが科された場合、そのライディングは無得点となります。
- (e) 妨害はジャッジシートに三角印で示されます。
- (f) 一度でも妨害の判定が下された場合、ヘッドジャッジはその判定が不正確な技術（ビデオ/オーディオ）に基づいて下された判断した場合のみ、その判定を修正することができます。ジャッジは妨害判定に関するいかなる議論にも立ち入れられません。
- (g) 非優先ヒートにおいて、妨害されたサーファーは、規定時間内であれば、自分のウェーブ数の上限を超えて追加のウェーブを許可されず、両方の選手の妨害がコールされた場合、どちらのサーファーも追加のウェーブは得られません。また、水上フォトグラファー、水上警備員、その他外部からの妨害に対しては、その時点でヘッドジャッジが決定する追加ウェーブまたはヒート遅延が適用されます。
- (h) サーファーが2回の妨害ペナルティを言い渡された場合、そのサーファーは直ちに競技エリアから退場しなければなりません（退場しなかった場合、本規則書第14章に従ったペナルティが科されます）：
- (i) もし両妨害とも非優先状況の場合、妨害ペナルティ1が適用されます。
 - (ii) もし一方の妨害が非優先状況で、もう一方が優先状況であった場合、順番に関係なく、妨害ペナルティ1がサーファーの最も得点の高いライドに、妨害ペナルティ2がサーファーの2番目に得点の高いライドに適用されます。
 - (iii) 両方の妨害反則が優先状況である場合、またはCTおよびチャレンジャーシリーズ競技において妨害反則の一方のみがヒート終了5分以内である場合（11.17(b)参照）、そのサーファーはヒート

から失格となります。

- (i) 妨害の状況にあるサーファーのどちらも、関係する他のサーファーに対して優先を確立していない場合、ヒート内の他のサーファー（妨害の状況に関係しない）が優先を保持しているか否かに関わらず、妨害ペナルティ1が適用されます。この規則は、1対1、3サーファーヒート、4サーファーヒートに適用されます。

- 11.18 **優先状況における過度の嫌がらせ**：優先とヘッドジャッジの見解では、サーファーが優先を持つ他のサーファーに対し、スポーツマンシップを欠く方法で過度に嫌がらせを行った場合、妨害ペナルティ2を妨害するサーファーに対して科すことができます。疑義を避けるため、本規則に違反したからといって、自動的に規則11.20に違反するわけではありませんが、規則14.02に基づく制裁が含まれる場合があります。
- 11.19 **優先の使用**：優先またはヘッドジャッジの見解では、サーファーが優先権をスポーツマンシップを欠く方法で使用し、優先度が低い、または優先がない他のサーファーを主要テイクオフゾーン外で故意にブロックした場合、妨害したサーファーに対して妨害ペナルティ2が科されます。疑義を避けるため、本規則に違反したからといって、自動的に規則11.20に違反するわけではありません。
- 11.20 **スポーツマンシップを欠く重大な妨害**：ヘッドジャッジおよびツアーアンドコンペティション責任者が、競技中の妨害が故意またはスポーツマンシップを欠くものであり、他のサーファーに負傷を負わせたと判断した場合、規則14.09に基づくペナルティ（競技またはツアー全体の出場停止を含む場合がある）の有無に関係なく、このサーファーは該当ツアーにおけるランキングを計算する際に、その競技のベストの成績を計算に入れる特典を失います（例えば、QS/チャレンジャー競技でこの規則に違反した場合、QSランキングに影響が出ます）。加えて、ヘッドジャッジが本規則内で言及されるサーファーの行為で結果が影響を受けたと判断した場合、当該ヒートを再サーフすることができます。
- 11.21 **交通手段の無許可使用**：サーファーがヒート中、ブレイクに向かうためにスケートボード、スクーター、車、自転車などの外部からの補助を使用してビーチを移動したり、ブレイクに戻るためにジェットスキーやボートを使用した場合（WSLが提供し許可した場所以外で）、妨害ペナルティ2が科されます。

第12章：パーソナルウォータークラフト (PWC) のガイドライン

- 12.01 **PWC の使用**：全ての WSL 競技は、本章に含まれるものを含め、ツアーアンドコンペティション事務局が随時決定する承認されたガイドラインの下に、競技中の PWC の補助の使用を許可するオプションを有します。
- 12.02 **PWC使用のガイドライン**
- (a) 競技保険は、運転者、サーファー、および一般市民が巻き込まれた事故に備え、PWCを補償しなければなりません。
 - (b) PWCは以下の条件で許可されます。
 - (i) 激しいウェーブコンディション；
 - (ii) ロングパドルでラインアップに戻る；
 - (iii) 安全上の理由；および
 - (iv) 後流がウェーブに悪影響を与えない場合。
 - (c) PWCの使用に関する決定は、ヘッドジャッジ、サーファー代表、ツアーアンドコンペティション事務局 (CT) /WSLツアー代表 (その他の全ての競技) の多数決によって行われます。
 - (d) ラインアップに戻るために使用するルート方向は、ヘッドジャッジと運転者チームリーダーが、主要テイクオフゾーンで最も後流が少なくなるルートで、競技にて決定します。
 - (e) ラインアップ・ドロップオフポイントは、できれば主要テイクオフゾーンの幅か外側に設け、その位置を示すブイを設置します。ラインアップ・ドロップオフポイントから主要テイクオフゾーンまでの最大パドルタイムは30秒以上でなければなりません。
 - (f) インサイドピックアップポイントは、ウェーブのコンディションに応じて、ヘッドジャッジが当日決定します。基本的に、競技エリア内のウェーブの終わりやセットゾーンの近くでは、PWCは水深のある場所に座り、サーファーがウェーブを抜けるときに移動します。サーファーがインサイドのピックアップポイントに失敗した場合、PWCはそのサーファーを獲得するために順位を上げることはできません。サーファーの安全が脅かされない限り、サーファーがインサイドのピックアップ位置までパドルするのを待たなければなりません。運転者が本規則に反する行為をした場合、本規則集に従った懲罰の対象となります。
- 12.03 **有資格運転者**：WSL は、WSL PWC 安全管理計画に従って、資格のある PWC運転者のリストを競技に提供します。名簿は2つ用意されます。
- (a) 最初のリストは選抜グループとし、その中から1名を選び、チームリーダーおよび意思決定者として使用します。このリストに関しては、WSLにお問い合わせください。
 - (b) 2つ目のリストは、他のすべての公認運転者で構成され、そこから残りの運転者を選ばなければなりません。すべての運転者は、CPRスキル、トウイン/アウトの経験を有し、競技の場所を管理する規則や規制によって要求される必要な許可、ライセンス、または証明書を保持する必要があります。PWC運転者は、競技での作業に先立ち、必要なすべての許可、ライセンス、または証明書の証拠を提出しなければなりません。

- (c) WSL に有効な PWC 安全管理計画がない場合は、資格のある PWC 運転者を提供する義務が競技ライセンス保持者/主催者であり、本規則書は、関連する競技ライセンス契約内の義務を削除したり、代用したりするものではありません。

12.04 **優先**：同時に2名の乗員を輸送する場合の優先順位は、ピックアップとドロップオフの両方を考慮した上で、優先ジャッジが決定します。サーファーをラインアップ・ドロップオフポイントに戻す際、PWC 同士の追い越しは一切できません。

12.05 **PWCに関するヘッドジャッジの権限**

- (a) ヘッドジャッジは不測の事態の場合、ヒートを保留することができます。ヒート中にサーファーがPWCによって負傷した場合、そのサーファーが医師の手当てを受ける間、ヒートは中断されます。手当てが終了すると、ヒートは残りの出場可能時間で再開されます。
- (b) ヘッドジャッジが、PWC 運転者の能力または機械的な問題によって優先順位が影響を受けると判断した場合、ヘッドジャッジが適切と判断する方法で優先順位が割り当てられます。
- (c) ヘッドジャッジは、サーファーがサーフボードを失った場所からマーシャリングエリアまたは指示されたビーチまでサーファーを搬送するために、PWC による支援が許可されるかどうかを各日の競技開始時に決定します（ただし、サーファーの安全への配慮が最優先されます）。

12.06 **一般事項**

- (a) PWC が1台しかない場合、ヘッドジャッジがWSL ツアーディレクター、サーファー代表、サーフディレクターと協議し、1台のみのPWC 使用を認めることが適切であると判断するまで、あるいは両方のPWC が使用可能になるまで、PWC の使用は停止されません。
- (b) すべてのPWC 運転者とヘッドジャッジとの間の双方向無線通信は、常に可能な状態に保ってください。
- (c) キャディをするサーファーにボードを渡したキャディは、サーファーの PWC が使用されておらず、利用可能な場合は、紛失したサーフボードまたはビーチまで移動するために使用できます。紛失したサーフボードまで移動した場合は、マーシャリングエリアまで戻ることができますが、ビーチまで移動した場合は、所定のキャディ用マーシャリングエリアまでパドルで戻らなければなりません。
- (d) 優先を持つサーファーがPWC の補助を使用した場合、規則 11.3(k) の例外を除き、そのサーファーは自動的に優先権を失う事となります。

第13章：審査

13.01 ジャッジの選出と審査：

- (a) ヒートまたは競技の結果に利害関係を持つ者は、WSL 競技で審査することはできません。ツアーアンドコンペティション事務局のみが、競技の任命および代役を立てる権限を有します。既得権益を主張するサーファーによるジャッジの解任要求は、ツアーアンドコンペティション事務局で審査され、処理されます。
- (b) 各CT競技終了後、ヘッドジャッジは当該競技のジャッジパネルの各ジャッジの採点のレビューを行い、当該競技における当該ジャッジのレーティングを決定します。

13.02 審査パネルの構成： 審査パネルの構成は、各競技において以下の通りでなければなりません：

- (a) **CT 競技**：国際ヘッドジャッジ 1 名、国際採点ジャッジ 7 名、国際優先ジャッジ 1 名。地域または国の採点ジャッジの人数は、最大3名までとします。各ヒートを採点するジャッジは5名としてください。
- (b) **チャレンジャーシリーズ 競技**：国際ヘッドジャッジ 1 名、国際採点ジャッジ 7 名、国際優先ジャッジ 1 名。地域または国からの採点ジャッジの人数は、最大3名までとします。各ヒートを採点するジャッジは5名としてください。
- (c) **世界ジュニア選手権**：国際ヘッドジャッジ 1 名、国際採点ジャッジ 7 名、国際優先ジャッジ 1 名。地域または国からの採点ジャッジの人数は、最大3名までとします。各ヒートを採点するジャッジは5名としてください。
- (d) **QS 5000 競技**：地域ヘッドジャッジ 1 名、地域採点ジャッジ 7 名、地域優先ジャッジ 1 名。各ヒートを採点するジャッジは5名としてください。
- (e) **QS 3000 競技**：地域ヘッドジャッジ 1 名、地域採点ジャッジ最低6名、地域優先ジャッジ 1 名。各ヒートを採点するジャッジは最低4名としてください。
- (f) **QS1000、地域プロジュニア、地域ロングボード競技**：地域ヘッドジャッジ 1 名、地域採点ジャッジ最低5名、地域優先ジャッジ 1 名。各ヒートを採点するジャッジは最低3名としてください。
- (g) **男女合同 QS 種目**：レーティングの高い方のパネル構成が採用されます。
- (h) **ワールドロングボードツアー**：国際または地域ヘッドジャッジ 1 名、地域採点ジャッジ 7 名、地域優先ジャッジ 1 名。各ヒートを採点するジャッジは5名としてください。
- (i) **エアツアー**：エアツアー競技の審査委員会は3名の国際ジャッジによって構成されます。
- (j) **BW**：国際ヘッドジャッジ1名、国際ジャッジ2名、地域ジャッジ 3名。各ヒートを採点するジャッジは5名としてください。

13.03 スプリットパネル： 競技完走の可能性が危ぶまれる例外的な状況においては、3名のジャッジによるスプリットパネルが使用されることがあります。スプリットパネルが使用されることが事前に判明してい

る場合（例：参加数の超過）、WSL の承認を得なければならず、最低4名のジャッジパネルが許可されます。

13.04 **ウェーブ採点スケール**： 0.1から10.0（10）まで、10分の1刻みで採点（例：7.3）。

13.05 **審査基準（第4章ロングボードおよび第7章ビッグウェーブ競技には適用されない）**： サーファーは、WSL ジャッジの主要要素に合致した演技を行い、得点の可能性を最大限に引き出さなければなりません。ジャッジはライドを採点する際、以下の主要要素を分析します：

- 注力と難易度
- 革新的で進歩的な操作；
- 主要操作の組み合わせ
- 多彩な操作
- スピード、パワー、フロー

特定要素を重視するかどうかは、場所や当日のコンディション、および日中のコンディションの変化次第だという事実に注意が重要です。CTおよびCS競技において、ヘッドジャッジは、競技期間中の各競技日のジャッジ基準を、当該競技日の開始前にサーファーに提供します。

採点されるライドには、以下の尺度が用いられます：

0-1.9=不良；2.0-4.9=普通；5.0-6.4=良好；

6.5-7.9=非常に良好；8.0-10.0=優秀

13.06 **一般審査規則**

- ジャッジは視覚的に分けられるべきです。ヘッドジャッジは、ジャッジがスコアや妨害の判定について話し合わないようする責任があります。
- ジャッジは、コンピュータ端末上でも手動のジャッジシート上でも、得点や妨害コールを変更することはできません。ミスがあった場合、ジャッジはヘッドジャッジに訂正してもらうべきです。
- もしジャッジがライドを欠場した場合、またはライドの一部を欠場した場合、ジャッジシートのマスに「M」を記入しなければなりません。ヘッドジャッジは、欠場したライドに対する他のジャッジの得点に基づいて、欠場した得点を提供しますが、以前のライドを採点した際のそのジャッジのポジションを考慮します。
- 競技に関して不測の事態が発生した場合（優先順位や時期が含まれますが、これに限定されません）、再サーフを含む解決策を決定します；
 - CT 競技にて：ヘッドジャッジおよび/またはツアーアンドコンペティション責任者は、その裁量で関係者と協議します。
 - 非 CT 競技において：ヘッドジャッジはWSL ツアー代表者、サーフィンディレクター、またはその他の関係者とその裁量で協議します。
- 一度下された判定、採点、またはヒート結果の決定は、審査委員会の見解において、再評価を検討するのに十分な証拠がある場合に限り、変更することができます。再サーフや得点の変更は、その時の審査委員会が考慮する場合があります。ヘッドジャッジ

は、適切と判断した場合、そのヒートに参加するサーファーが関与することなく、再サーフをコールする権限を持ちます。ヘッドジャッジは、該当する場合、誰が再サーフに関わるべきか、また再サーフがいつ行われるかを決定します。ヘッドジャッジは、判定が行われる間、次のヒートまたはラウンドの開始を遅らせることができます。

- (f) WSL ジャッジングパネルによって下された決定は、ヘッドジャッジまたはツアーアンドコンペティション責任者を通じてのみ抗議することができます。コールや判定に関して、他のジャッジに接触を試みてはなりません（サーファーサポートスタッフによる接触を含む）。規則10.07に記載される抗議のプロセスを参照してください。
- (g) WSL 競技のジャッジは、いかなる競技におけるサーファーのチャンスに関しても、一般大衆、メディア、または他のサーファーに対して、いかなるコメントもしてはなりません。もし、ジャッジがこの規則に違反するコメントをした場合、WSLとの契約は、WSLが契約上またはその他で持つ他の権利に拘わらず、直ちに再審査されます。

13.07 審査料

- (a) すべての競技におけるジャッジの最低支払額、およびその他の審査支払情報は、WSL 競技計画書または競技ライセンス契約に記載される通りです。
- (b) CT、チャレンジャーシリーズ、WJC、BW の審査料はすべて米ドルで支払うものとします。

13.08 **競技以外の活動のジャッジ**： 競技開催期間中に行われる、サーフィンに関連し、何らかの競技形式をとるすべての活動は、競技に勤務する WSL ジャッジが審査します（各ジャッジが同意した場合）。このような活動の支払率は、競技および審査計画書に記載されています。

13.09 WSL コンピュータースコアリングシステム

- (a) WSL が規定するコンピューター採点システムは、すべての WSL 競技において使用が義務付けられています。
- (b) コンピュータ採点オペレーターの勤務時間、料金、条件は、WSL が関連する競技ライセンス契約書または競技計画書に記載される通りです。

13.10 WSL 審査エリア

- (a) サーファーおよびサポートスタッフは、ツアーアンドコンペティション事務局から特別な許可がない限り、いかなる時も審査エリアに入ることはできません。

13.11 CTおよびCS競技におけるヘッドジャッジの役割

- (a) サーファー支援と安全のためにPWCチームと連絡を取り、調整します。
- (b) 本大会を通じて、ジャッジングパネルの得点、妨害コール、優先コールを監督します。
- (c) 競技初日に審査パネルと審査基準を確立し、各ヒートの開始時に再確認します。また、ヘッドジャッジは、競技を通して一貫してこの尺度を監視し、維持します。
- (d) 判定リプレーシステムの使用を促進します。

- (e) 審査基準および本規則書を遵守し、競技会におけるすべての審査要素を監督します。

第14章：WSLの行動方針

- 14.01 **はじめに** 本方針は、競技に関わる、または競技に参加するすべてのサーファー、サポートスタッフ、ジャッジに適用されます。すべてのサーファー、サポートスタッフ、および役員は、常に本規則書を遵守し、サーフィンというスポーツ、WSL、またはそのメンバー、役員、代表者、競技、またはスポンサーに不利な印象を与えないよう、プロフェッショナルな態度で行動しなければなりません。すべてのサーファーは、WSLのドーピング防止規則を遵守しなければなりません。WSLのドーピング防止規則の要件と、その規則に違反した場合の制裁は、その規則で個別に扱われています。
- 14.02 **スポーツマンシップに則した行動**：本規則に拘束されるすべての人物は、常にスポーツマンシップに則した行動を取らなければなりません：(i)WSLツアーおよび競技のスポンサー、ジャッジ、対戦相手、WSLマネジメント、WSL代表者、観客、メディアのメンバー、またはソーシャルメディア上で軽蔑的なコメントを控える等、指定された競技会場内のその他の人物に対する敬意を払う、(ii)競技会場における施設および運営手順に対する敬意を払う、(iii)競技会場において以下のことを控える事とします：
- (a) 一般的に軽蔑的、冒瀆的、および/または非常に不快と受け取られる、あるいは性的な行為を示すような、目に見えるジェスチャー；
 - (b) 低俗または乱暴な言葉の使用（WSLツアーや競技のスポンサー、ジャッジ、対戦相手、WSLの管理者、WSLの代表者を中傷したり、競技の審査に異議を唱えたり、中傷するようなコメント）；
 - (c) 違法（未成年など）または過度のアルコール飲用；
 - (d) 違法薬物の使用；および
 - (e) 意図的かつ意図的なヌードの露出。
- これは、スポーツマンシップに反する行為の網羅的な列挙を意図したのではなく、一般的なガイドラインに過ぎません。本方針に拘束され、本規則に違反することが判明した者は、以下の懲戒処分の対象となります：
- (i) 罰金および資格剥奪。本規則の違反に対する罰金額は、1回の違反につき1,000米ドルから100,000米ドルの範囲となります。本規則の違反者は、本大会または今後の本大会への参加資格を剥奪される場合もあります。
 - (ii) 出場停止および除名。本規則に違反した者は、初回違反時にWSLツアーの出場停止および/または除名処分を受ける可能性があります。容認できない行為のパターンを示す複数の違反が、1シーズンまたはそれ以上の同時期に発生した場合、サーファーはWSLへの出場停止および/または除名処分の対象となる可能性もあります。
 - (iii) WSLドーピング防止規則にも違反する違法薬物の使用は、同規則に基づく制裁の対象となります。
- 14.03 **追加の行動基準**：本規則に拘束されるすべての人物で、犯罪により有罪判決を受けた者、または刑事訴訟手続きによる処分（有罪判決ま

たは犯罪違反の認容、罪の軽い犯罪への嘆願、禁固刑または争わな
いことの嘆願、または陽動プログラム、猶予判決、監督処分、条件付き
解雇、または同様の取り決めによる訴訟手続きの処分を含む)を受け
た者は、懲戒処分の対象となります。しかし、たとえその行為が刑事
上の有罪判決に至らなかったとしても、この規則に拘束される人物
は、(i)WSLの完全性と社会的信頼に有害な行為、または(ii)サーフィン
というスポーツ、WSL、またはそのメンバー、役員、代表者、競技、
またはスポンサーに好ましくない影響を与える行為に関与したことが
判明した場合、懲罰の対象となります。本規則に違反した者は、初
回違反時にWSLツアーの出場停止および/または除名処分を受ける可
能性があります。

14.04

サーフィンのイメージの毀損：規則14.11に定める義務に加えて、本
方針に拘束される人物は、サーフィンというスポーツのイメージを損
なうような行為を行ってはなりません。本規則において、「サーフィン
というスポーツのイメージの毀損」とは、時間や場所に関係なく、
サーフィンというスポーツやWSLを否定的なイメージに陥れる行為と
定義され、WSLツアーや競技のスポンサー、ジャッジ、対戦相手、
WSLマネジメント、WSL代表者を中傷したり、競技の審査に異議を
唱えたり、中傷したりするコメントが含まれるものとします。本規則
の適用を制限することなく、「サーフィンのスポーツに対する損害」
には、サーファーが責任を負うソーシャルメディアのコメントまたは
放送、およびサーファーまたはそのサポートスタッフメンバーによる
他者のソーシャルメディアへのコメントが含まれます。本規則におい
て、サーファーは自身およびサポートスタッフのソーシャルメディア
に責任を負うものとします。本規則に違反したサーファーは、以下の
処分を受けるものとします：

- (a) 罰金および資格剥奪。この規則の違反に対する罰金額は、1回の
違反につき1,000米ドルから100,000米ドルの範囲です。本規則
の違反者は、本大会または今後の本大会への参加資格を剥奪され
ることもあります。
- (b) 出場停止および除名本規則に違反した者は、初回違反時にWSLツ
アーの出場停止および/または除名処分を受ける可能性がありま
す。容認できない行為のパターンを示す複数の違反が、1シーズ
ンまたはそれ以上の同時期に発生した場合、サーファーはWSLへ
の出場停止および/または除名処分の対象となる可能性もありま
す。

14.05

WSL公式用具とサーフボード本規則に拘束されるいかなる人物も、
WSLの事前の承認なしに、WSL公式機器に改造や変更を加えてはなり
ません。WSL公式装備とは、ジャージ、WSLが提供するウェアラブル
テクノロジー、およびWSLが将来特に指定するその他の装備を意味し
ます。疑義を避けるため、個人のサーフボードはWSL公式用具ではあ
りません。本規則に拘束される人物は、自分のサーフボードに掲載さ
れた画像や文字に責任を負うものとし、いかなる場合も本規則に従う
ものとします。疑義を避けるため、いかなる場合においても、本規則
に拘束される人物は、サーフボードに政治家または政党の直接的な支
持を含めることはできません。本規則に違反したサーファーは、以下
の処分を受けるものとします：

- (a) 罰金および資格剥奪。この規則の違反に対する罰金額は、1回の違反につき1,000米ドルから50,000米ドルの範囲です。
- (b) 出場停止および除名本規則に違反した者は、初回違反時にWSLツアーの出場停止および／または除名処分を受ける可能性があります。容認できない行為のパターンを示す複数の違反が、1シーズンまたはそれ以上の同時期に発生した場合、サーファーはWSLへの出場停止および／または除名処分の対象となる可能性もあります。

14.06 ギャンブル、不適切な金銭的利益または関係、および贈収賄：本規則に拘束される人物は、以下のことを行ってはなりません：

- (a) プロサーフィンに関連するあらゆる形態の賭け、ベッティング、オッズの提供/取引、またはその他のギャンブルに参加すること（自分の代わりにベットを行うよう他人に依頼すること、または他人が行ったベットから金銭的な利益を得ること、または他人が行ったベットを支援すること等）；
- (b) ギャンブルを含め、その活動がプロサーフィンの品位に悪影響を及ぼす可能性のある人物や団体と交際したり、取引をしたりすること；
- (c) 違法な賭博業者、または違法なオフショアスポーツベッティングサイトやアプリケーションで行われたベットを含め、あらゆるスポーツや競技に対して違法なベットを行うこと；
- (d) 本大会中の競技に影響を与える目的で、賄賂、贈答品、支払、報酬、または有価物を勧誘または受領すること；
- (e) 第三者のためにスポーツベッティングに関わるサービスを提供すること（スポーツベッティングの問題に関するコンサルティングやアドバイス、スポーツベッティング商品やサービス広告、宣伝、推薦を含むがこれらに限定されない）；
- (f) サーファーまたはWSL関係者との関係における個人の立場に基づき個人が保有する機密情報を使用して、経済的利益を得ようとする試み。これはベッティング市場でそういった情報を悪用したいと考える個人が、そういった情報を求める事から生じる可能性があります；
- (g) プロサーフィンに関連するギャンブル、賭け、または個人が受けた不当な利益に関連する情報に特に関わる、WSL規律ディレクターによる調査中のあらゆる要求への協力を拒むこと。
- (h) 本規則14.06の違反を示す行為を、WSL規律ディレクターに可能な限り速やかに報告するのを怠ること。

本規則のいかなる規定にも拘わらず、無料で遊べる「ファンタジーサーフィン」ゲームは、出場するサーファーまたはジャッジを含むツアーアンドコンペティション事務局スタッフを除き、本規則の違反とはなりません。

本規則に拘束される人物は、スポーツベッティングが合法である司法管轄区においては、サーフィンを除くスポーツに対して合法的なベットを行うことができます。同様に、本規則に拘束される人物は、サーフィン以外のスポーツに関するベットを伴う合法的なファンタジーゲームに参加することができます。

懲戒処分

- (a) 罰金。プロサーフィンとWSL競技の完全性に多大な悪影響を及ぼすため、規則14.06の違反が認められた人物は、利益を受けたかどうかに関わらず、違反行為から獲得できる最高額の5倍の金銭的罰金、および規律委員会の裁量で決定されるさらなる罰金を科される可能性があります。
- (b) 出場停止および除名 本規則に違反した者は、初回違反時に競技またはWSLツアーからの出場停止および/または除名処分の対象となる場合があります。容認できない行為のパターンを示す複数の違反が、1シーズンまたはそれ以上の同時期に発生した場合、サーファーはWSLツアーからの出場停止および/または除名処分の対象となる可能性もあります。
- (c) その他の適切な制裁措置および実質的支援。本規則に違反したとみなされた人物は、スポーツと競技の完全性を守るために設けられた規律委員会で、その他の適切な制裁が課される場合があります。最終的な制裁が決定される際には、さらなる調査や他の違反の発見に関連して個人から提供された実質的な援助が重要要素となります。

14.07 最善の努力： すべてのサーファーは、全競技において「最善の努力」に従って競技を行うものとします。本規則において、「最善の努力」とは、すべての競技において、サーファーがその能力を最大限に発揮して競技に挑むことを言います。競技において、明白かつ意図的にサーファーの最善の努力を行わなかったサーファーは、本規則違反とみなされます。本規則に違反したサーファーは、以下の処分を受けるものとします：

(a) 罰金および資格剥奪。

(i) CT以外のツアーにおける本条の違反：最低1,000米ドル

(ii) 本セクションの初回違反は、CT上のサーファーに対し、以下のスケジュール（WSLランキングの直近の順位に基づく）に従った罰金を科すものとします：

1 – 10	10,000ドル
11 – 25	5,000ドル
26+	2,500ドル

本セクションの2回目の違反は、CT上のサーファーに対し、以下のスケジュール（WSLランキングの直近の順位に基づく）に従った罰金を科すものとします：

1 – 10	20,000ドル
11 – 25	10,000ドル
26+	5,000ドル

本項目の3回目の違反は、CT上のサーファーに対し、以下のスケジュール（WSLランキングの直近の順位に基づく）に従った罰金を科すものとします：

1 – 10	50,000ドル
11 – 25	25,000ドル
26+	10,000ドル
51+	5,000ドル

- (b) 出場停止および除名。容認できない行為のパターンを示すような本規則の違反が、1シーズン中に3回以上あったサーファーも、WSLツアーへの出場停止および／または除名処分の対象となる場合があります。

14.08 暴言： 本規則の対象となるいかなる人物も、WSL役員、ジャッジ、サーファー、競技スポンサー、WSLマネージメントメンバー、WSL代表者、またはメディアメンバーに対して、直接的または間接的に暴言を吐いてはなりません。競技中、本規則には観客、または指定された競技エリア内にいるその他の人も含まれます。本規則において、暴言とは、前述の1人または複数の人物について、危害を脅す、恐怖を植え付ける、不正を示唆する、軽蔑的である、冒瀆的である、またはその他の非常に不快な口頭による発言と定義されます。暴言には、直接会っての発言、メディアや放送、ソーシャルメディア上での発言が含まれます。暴言による暴行事件に関与した者は、以下の懲戒処分の対象となります：

- (a) 罰金および資格剥奪。

初犯：1,000米ドル

2回目の違反：2,500米ドル、および同一競技において2回目の違反があった場合、失格または競技から除外される可能性があります。

3回目の違反：1シーズンで3回目の違反の場合、5,000米ドルとなり、本大会から除外または失格となる可能性があります。

- (b) 出場停止および除名容認できない行為のパターンを示すような本規則の違反が、1シーズン中に3回以上あったサーファーは、WSLツアーからの出場停止および／または除名処分の対象となる場合があります。

14.09 身体的攻撃と相互の争い 本規則の対象となるいかなる人物も、WSL関係者、サーファー、競技スタッフ（ボランティアを含む）、競技スポンサー、WSL運営メンバー、WSL代表者、メディアのメンバー、観客、またはその他のいかなる人物に対しても、競技において、または競技に関連して（例えば、競技ウィンドウの間、または競技会場の近くで）、身体的暴行を加えてはなりません。本規則において、身体的な攻撃とは、あらゆる暴行または攻撃のことを指します。突き飛ばし、喧嘩、相互の争いなどは、すべて本規則違反とみなされます。規律ディレクターが、完全に正当防衛に基づく行為であると判断した場合は、本規則違反として扱われません。もし、どの個人または複数人がその事件の最初の加害者であったかが、ツアーおよび競技の責任者またはヘッドジャッジにとって一目瞭然である場合、その個人はその競技の残りの出場資格を失うものとし、もしそのサーファーがすでに敗戦によって失格となっている場合は、そのサーファーは次の競技への出場が停止されるものとします。身体的な攻撃に関与した者は、以下の懲戒処分の対象となります：

- (a) 罰金および資格剥奪。
初犯の場合：5,000USドル、残りの競技から自動的に失格。「相互の戦い」のような状況では、失格が免除されることがあります。
2回目の違反の場合：10,000USドル、残りの競技から自動的に失格。
3回目の違反の場合：15,000USドル、残りの競技から自動的に失格。
- (b) 出場停止および除名。本規則に違反した者は、初回違反時にWSLツアーの出場停止および／または除名処分を受ける可能性があります。容認できない行為のパターンを示す複数の違反が、1シーズンまたはそれ以上の同時期に発生した場合、サーファーはWSLツアーへの出場停止および／または除名処分の対象となる可能性もあります。

14.10 差別、セクシュアルハラスメント、または虐待：WSLは、プロフェッショナルサーフィンにおいて、いかなる形態の差別、セクシュアルハラスメント、または虐待も容認しません。本規則の対象となる個人が、プロフェッショナルサーフィンに関連して差別、セクシュアルハラスメント、または虐待を行った場合、以下の懲戒処分の対象となります：

- (a) 罰金および資格剥奪。この規則の違反に対する罰金額は、1回の違反につき1,000米ドルから50,000米ドルの範囲です。
- (b) 出場停止および除名本規則に違反した者は、初回違反時にWSLツアーの出場停止および／または除名処分を受ける可能性があります。容認できない行為のパターンを示す複数の違反が、1シーズンまたはそれ以上の同時期に発生した場合、サーファーはWSLへの出場停止および／または除名処分の対象となる可能性もあります。

14.11 ソーシャルメディア：本規則に拘束される人物は、ソーシャルメディアの利用に関して以下の行為を行ってはなりません：

- (a) 適切な承認を得ることなく、WSLまたはWSLツアーの公式な公的コミュニケーションと解釈される可能性のあるコンテンツを、ソーシャルメディアを介して表示または送信すること。
- (b) 例えば、財務情報、医療情報、戦略情報等の、WSL、WSLツアー、またはそれぞれの従業員や代理人の機密情報または専有情報を含むコンテンツを表示または送信すること。
- (c) WSLまたはWADAによって禁止される物質の使用を容認していると合理的に解釈されるようなコンテンツを表示または送信すること。
- (d) ジャッジまたは審査判断の公平性に疑問を呈し、またはそれを誹謗中傷するコンテンツを表示または送信すること。
- (e) 人種、肌の色、家系、性別、性的指向、性自認および表現、国籍、年齢、障害、または宗教に基づく個人を軽蔑または無神経に扱ったコンテンツ（中傷、冗談、既成概念、その他の不適切な発言を含みますが、これらに限定されません）を表示または送信すること。
- (f) 個人もしくは集団に対する嫌がらせとなる、または個人もしくは

集団に対する暴力の行使を脅迫もしくは提唱するコンテンツを表示または送信すること。

- (g) わいせつまたは性的に露骨な言葉、画像、行為を含むコンテンツを表示または送信すること。
- (h) 地域、州、連邦、または国際的に適用される法律または規制に違反するコンテンツを表示または送信すること。

本方針に拘束され、本規則に違反することが判明した者は、以下の懲戒処分の対象となります：

- (i) 罰金および資格剥奪。この規則の違反に対する罰金額は、1回の違反につき1,000米ドルから100,000米ドルの範囲です。本規則の違反者は、本大会または今後の本大会への参加資格を剥奪されることもあります。
- (ii) 出場停止および除名。本規則に違反した者は、初回違反時にWSLツアーの出場停止および／または除名処分を受ける可能性があります。容認できない行為のパターンを示す複数の違反が、1シーズンまたはそれ以上の同時期に発生した場合、サーファーはWSLへの出場停止および／または除名処分の対象となる可能性もあります。

14.12 その他の雑多な違反と罰則：以下の表は、第14章の他の規則で規定されていない可能性のある雑多な違反に関する一般的なガイドラインです。ただし、以下の違反の中には、規則14.02または規則14.03の違反とみなされるものもあり、そのような場合、違反に対する罰則は、可能な2つの罰則のうち重い方の罰則が適用されます。ガイドラインで推奨される罰則の後に「*」が続く違反は、違反の重大性または反復性から、資格停止および／または退学が可能な罰則であることを示します。

違反の内容	罰金／懲戒処分（単位：米ドル）						
サーファーのキャディがウェーブに乗った場合	1ウェーブにつき500ドル						
優勝者または準優勝者が競技表彰式に欠席した場合	CT以外のツアーは5,000ドル CTについては、以下のスケジュール（WSLランキングの直近の順位に基づく）に従い、罰金を科します： <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>1 - 10</td> <td>20,000 ドル</td> </tr> <tr> <td>11 - 25</td> <td>10,000 ドル</td> </tr> <tr> <td>26+</td> <td>5,000ド ル</td> </tr> </table>	1 - 10	20,000 ドル	11 - 25	10,000 ドル	26+	5,000ド ル
1 - 10	20,000 ドル						
11 - 25	10,000 ドル						
26+	5,000ド ル						
ヒート中、次または前のヒートのサーフィン	1ウェーブにつき500ドル						

競技開始2分前の警告までに競技エリアから退場しない場合	500ドル						
要求された記者会見に出席しない場合（ヒート後のインタビューを含む）	CT以外のツアーは2,000ドル CTについては、以下のスケジュール（WSLランキングの直近の順位に基づく）に従い、罰金を科します： <table border="1" data-bbox="605 487 838 666"> <tr> <td>1 - 10</td> <td>10,000 ドル</td> </tr> <tr> <td>11 - 25</td> <td>5,000ド ドル</td> </tr> <tr> <td>26+</td> <td>2,500ド ドル</td> </tr> </table>	1 - 10	10,000 ドル	11 - 25	5,000ド ドル	26+	2,500ド ドル
1 - 10	10,000 ドル						
11 - 25	5,000ド ドル						
26+	2,500ド ドル						
CT競技第1ラウンドに出場しない場合／チェックインしない場合	5,000ドル						
サーファーズミーティングへの不参加（CTシードのみ）	1,000ドル						
CTサーファーズのオリエンテーションに出席しない場合	5,000ドル 裁量も恩赦もありません。これは「管理的」罰金であり、CTサーファーのオリエンテーションミーティングに出席していないサーファーには自動的に適用されます。						
サーファーが競技エリアにとどまる場合。	1,000ドル						
競技および競技会場での機器の乱用（個人の機器を含む）；ただし、サーファーがロッカールームでサーファーのサーフボードを損傷または破損した場合には罰金は課されないものとします	最初の違反：1,000ドル 2回目の違反：1,500ドル 3回目の違反：5,000ドル*						
規則2.18に規定される有効な診断書を持たずに、参加する予定のCT以外の競技会に出席・参加しなかった場合。疑義を避けるために、競技に参加しないことには、選手が脱落するか、または競技に勝利するまで競技に参加し続けないことも含まれます。	賞金ラウンドシード 最初の違反：1,000ドル 2回目の違反：1,500ドル 3回目の違反：5,000ドル*						
7日以内または競技中にWSL地域事務所に通知することで、適用される罰金が20%減額されます（規則14.12適用前）。	賞金無し ラウンドシード 最初の違反：500ドル 2回目の違反：1,000ドル 3回目の違反：1,500ドル*						

故意に競技用ジャージを間違えて着用したり、ビーチマージナルに返却する前にジャージを脱いだりした場合（ヒート後のインタビュー時に競技用ジャージを着用しなかった場合を含む）。	1,000ドル
ヒート中の競技エリアでの自由なサーフィン	5,000ドル
印刷された成績表を破り捨てたり、中傷したりした場合	2,000ドル
ヘッドジャッジまたはツアーアンドコンペティション事務局の許可なく、苦情や抗議のために審査エリアに立ち入った場合	最初の違反：2,000ドル 2回目の違反：5,000ドル 3回目の違反：10,000ドル*
警告を受けたが、医師の診断書なく参加意思を示したCT競技への不参加（ワイルドカードを除く）	最初の違反： 12,500ドル 2回目の違反： 25,000ドル 3回目の違反： 自動的に3つの競技、またはそれ以下の場合にはツアー年度の残りの期間出場停止となり、その間チャレンジャーシリーズ競技への出場はできません。
警告または医師の診断書なしに参加意思を示したCT競技への不参加（ワイルドカードを除く）	最初の違反：25,000ドル 2回目の違反： 50,000ドル 3回目の違反： 自動的に3つの競技、またはそれ以下の場合にはツアー年度の残りの期間出場停止となり、その間チャレンジャーシリーズ競技への出場はできません。
不正行為（WSLまたは競技に対し、直接、書面またはその他の形式で誤解を招く情報を提供することを含む）	最初の違反：5,000ドル 2回目の違反：10,000ドルと出場停止処分 3回目の違反：20,000ドル+3つの競技、またはそれ以下の場合にはツアー年度の残りの期間出場停止となり、その間チャレンジャーシリーズ競技への出場はできません。

チャンピオンシップツアー選手同意書、BWサーファー同意書、またはワールドロングボードツアー選手同意書を遵守という旨のWSLスタッフの指示に従わない場合。	違反によってWSLに生じた実際の損害/損失を反映した金額と、今後の違反を抑止するための金額を反映した追加金額。
本規則書に基づき課された制裁について、規律ディレクターの同意なしにサーファーが公式コメントを行った場合（ソーシャルメディアを含む）	元の制裁額の2倍。
他のサーファーがWSLドーピング防止規則に基づき検査を受けていることについて、いかなる情報でも、それを開示（ソーシャルメディアを含む）してしまった場合。	最低10,000ドル、次回のCT競技への参加資格停止（CTからの除名を含む）。
WSL から通告を受けた後、サーファーが公正な競技の精神に反する（規則 14.02 の対象外）方法での援助受け入れたり、WSL から現在懲罰命令を受けている人物からの援助を積極的に受け入れたりした場合。	最初の違反：最低500ドル、最高1万ドル 2回目以降の違反（同一ヒート/競技での違反を含む）： (i) さらに罰金； (ii) ヘッドジャッジおよびツアーマネージャーがいる場合、状況の深刻さに応じて決定される、ヒートまたは競技の失格。
競技の放送または競技会場でのメディアインタビューにおいて、冒瀆的な言葉を使用した場合	規律ディレクターが検討した上で罰金10,000ドル。
WSLが公認していないサーフィンツアーや競技に参加、出場、宣伝、または何らかの方法で積極的に支援した場合	最初の違反：50,000ドル 2回目の違反：最低100,000ドルの罰金と、規律ディレクターが決定する1つ以上の競技の失格。
競技におけるWSLの安全衛生計画違反の場合	最初の違反：1,000ドル 2回目の違反：2,500ドル 3回目の違反：10,000ドル* 4回目の違反：25,000ドル、および規律ディレクターが決定する1つ以上の競技の失格。
直接または間接的にパンデミック対応事項を悪化させる競技、競技のスケジュール調整、またはその他 WSL に悪影響を及ぼす競技に対する WSL の安全衛生計画違反の場合	25,000 ドル、および規律ディレクターの判断によるその後の1つ以上の競技の失格
WSL公式用具の着用または使用義務の不履行の場合	最初の違反：1,000ドル 2回目の違反：5,000ドル 3回目の違反：10,000ドル、規律ディレクターの判断により出場停止処分の可能性あり。

WSLのコンテンツ捕捉および使用ガイドラインに違反する行為の場合	<p>最初の違反：500ドル</p> <p>2回目の違反：1,000ドル</p> <p>3回目の違反：5,000ドル</p> <p>4回目の違反：10,000ドル、および規律ディレクターが決定する1つ以上の競技の失格。</p>
----------------------------------	---

14.13 **競技中の失格** 規則14.02から14.12に違反したサーファーは、これらの規則に規定される他の懲罰に加えて、競技中に失格となる場合があります。

14.14 **罰金**

- (a) 全ての罰金は、本章または本規則書の他の箇所の規定されるか否かに関わらず、発行された日から次の WSL 競技への出場（または参加）前に支払われなければなりません。支払わない場合、罰金額は、その後に開催される大会において、サーファーの賞金から差し引かれます。罰金総額が、その後に開催される競技において可能な最低賞金を超える場合、違反したサーファーは、競技開始日前に、その後に開催される競技を主催する WSL 地域事務所、その 2 つの金額の差額を現金で支払わなければなりません。競技開始日までに罰金の支払いが行われない場合、サーファーは競技から失格となります。
- (b) 罰金は、本章に規定されるか、または本規則書の他の箇所に規定されるかに拘わらず、すべて現地通貨で差し引かれます。
- (c) サーファーが直接支払うか、または WSL 地域がサーファーの賞金から差し引くかに拘わらず、罰金はすべて WSL に送られ、本規則書の継続的な管理に使用されるものとします。
- (d) 本章に基づき発行されるすべての金銭的罰金には、以下の割合が適用されます：
 - (i) CT競技：各ペナルティの100%；
 - (ii) QS5000 以上の競技（チャレンジャーシリーズ競技を含む）およびビッグウェーブ競技：各ペナルティの75%；
 - (iii) QS 5000 未満の競技：各ペナルティの50%；
 - (iv) ワールドロングボードツアーおよび世界ジュニア選手権大会：各ペナルティの75%；
 - (v) マスター競技：各ペナルティの50%；
 - (vi) JQS競技：各ペナルティの25%；および
 - (vii) LQS競技：各ペナルティの25%。

14.15 **違反の審査と懲戒処分**

- (a) 本規則集に違反した場合、規律委員会と協議の上、規律ディレクターは警告、罰金、執行猶予、資格停止、除名、その他適切な命令による活動、またはこれらの混合という形で制裁を科すことができます。
- (b) 競技において WSL 規則書に対する重大な違反が発生した場合で、規律委員会と適時に連絡を取ることができないため規律委員会の決定が下されず、本規則書に従って競技からの即時失格が妥当である場合、WSL ツアーディレクターは、ヘッドジャッジおよび WSL の他の代表者と協議の上（サーファーから弁明を述

べた陳述書を入手し、同内容を検討するために合理的な努力をした後)、サーファーを競技から失格させることができます。規律ディレクターは、本規則および本規則集に従い、できるだけ早い時期に、サーファーの失格を修正、批准、または無効とする裁定を下します。WSLは、本規則の実施による損失の損害賠償に関して、サーファーに対して責任を負いません。

- (c) 規則14.15(e)に従うことを条件として、規律委員会による制裁が科される前に、規律対象者は、規則14.15(d)に従った書面を規律ディレクターに提出しなかった場合に科される規則違反と制裁について通知されるものとします。
- (d) 通知の日付から10日以内に、違反についての説明、通知で提案された制裁措置についての意見、該当する緩和事由、および裏付けとなる証拠を、検討のために規律ディレクターに提出しなければなりません。この規則14.15(d)に基づく声明が提出されない場合、通告で提案された制裁は直ちに有効となります。
- (e) 規則14.15(d)に従った声明文の提出後、規律委員会は通知に対して提出された資料を検討し、課された制裁について速やかに本人に通知します。

14.16 WSL規律ディレクターによる懲戒処分に対する不服申し立て

- (a) 規律委員会による懲戒処分を不服とする被懲戒者は、懲戒処分が確定してから10日以内に、規律ディレクターに不服申立書を提出しなければなりません。不服申立書には、科された懲戒処分の取消または減輕すべきすべての理由、および求めるその他の救済を明記しなければなりません。
- (b) 規律ディレクターが不服申立書を受領してから5日以内に、WSLは不服申立当事者に3名の独立仲裁人のリストを提供するものとします。不服申立の当事者は、WSLがリストを送付してから5日以内に、そのリストの中から事件を審理する仲裁人を選択し、その選択をWSLに通知するものとします。上訴する当事者が仲裁人を選出していない場合、WSLは、訴訟を審理するためにリストから仲裁人を選出するものとします。
- (c) 仲裁人選定から5日以内に、WSLは不服申立の当事者の不服申立書に対する回答を提出するものとします。
- (d) 不服申立の手続規則は、問題の迅速な解決が重要であり、通常の司法規則が適用されないことを認識した上で、仲裁人が定めるものとします。
- (e) 仲裁人は、適切と考える聴聞会を設定し、または日程調整もしくは現状打合せを予定する場合があります。
- (f) 仲裁人の指名から45日以内に、仲裁人の指示に従い、直接またはビデオ会議のいずれかにより、ヒアリングを実施するものとします。
- (g) ヒアリングにおいて、不服申立人は、弁護人を付し、証人を喚問し、文書その他の関連証拠を提出する権利を有します。WSLは同等の権利を有します。不服申立人は、自費で通訳を雇うこともできます。仲裁人は、宣誓供述書の形式による証拠を認めるか否かを含め、証拠の許容性について裁定するものとします。上訴当事者とWSLの代表者の双方は、相手方の尋問を受けられる

ように、聴聞会に出席しなければなりません。

- (h) 仲裁人の決定において別段の定めがない限り、各当事者は、不服申立てにより発生した自己費用および弁護士費用を負担するものとし、仲裁人の手数料および費用は、当事者間で等分されるものとし、
- (i) 仲裁人は、ヒアリングの日から10日以内に書面による決定を下すものとし、
- (j) 仲裁人の決定は、最終的かつ全当事者を拘束するものとし、上訴またはいかなる形態の司法審査の対象ともなりません。

14.17 懲戒手続の守秘義務

- (a) 罰金または制裁を含むすべての懲戒手続、および当該手続中に共有されるいかなる情報も、法律で義務付けられている場合を除き、該当するサーファーが秘密保持するものとし、

付録A
男女CT賞金内訳

男子 CT2024 (カット前)			
賞金		賞金総額	プレースメント
80,000ドル	1	80,000ドル	1
50,000ドル	1	50,000ドル	2
32,000ドル	2	64,000ドル	3
21,500ドル	4	86,000ドル	5
16,000ドル	8	128,000ドル	9
14,360ドル	16	229,760ドル	17
13,525ドル	4	54,100ドル	33
競技毎の賞金総額		691,860ドル	

男子 CT 2022 (カット後)			
賞金		賞金総額	プレースメント
100,000ドル	1	100,000ドル	1
63,000ドル	1	63,000ドル	2
40,000ドル	2	80,000ドル	3
20,000ドル	4	80,000ドル	5
13,500ドル	8	108,000ドル	9
12,000ドル	8	96,000ドル	17
競技毎の賞金総額		527,000ドル	

女子 CT2024 (CUT前)

賞金		賞金総額	プレースメント
80,000ドル	1	80,000ドル	1
50,000ドル	1	50,000ドル	2
32,000ドル	2	64,000ドル	3
21,500ドル	4	86,000ドル	5
16,000ドル	8	128,000ドル	9
14,360ドル	16	28,780ドル	17
競技毎の賞金総額		436,720ドル	

女子 CT 2024 (カット後)

賞金		賞金総額	プレースメント
100,000ドル	1	100,000ドル	1
63,000ドル	1	63,000ドル	2
40,000ドル	2	80,000ドル	3
20,000ドル	4	80,000ドル	5
13,500ドル	8	54,000ドル	9
競技毎の賞金総額		377,000ドル	

男子CT 2024 決勝

200,000ドル

100,000ドル

75,000ドル

60,000ドル

40,550ドル

女子CT 2024 決勝

1 200,000ドル 1

2 100,000ドル 2

3 75,000ドル 3

4 60,000ドル 4

5 40,500ドル 5

付録B
ランキングポイント

ポジション	CT	チャレンジ	チャレンジ	QS5000	QS3000	QS1000
		ヤーシリー ズ ハワイ	ヤーシリー ズ			
	7	6	5	4	3	1
1	10000	10000	10000	5000	3000	1000
2	7800	7800	7800	3900	2340	800
3	6085	6085	6085	3042	1825	650
4	0	5685	0	2792	1675	600
5	4745	4745	4745	2282	1423	500
6	0	0	0	2145	1340	483
7	0	4545	0	2007	1258	445
8	0	0	0	0	1208	403
9	3320	3320	3320	1575	945	350
10	0	0	0	1542	904	342
11	0	0	0	1508	870	333
12	0	0	0	1474	833	314
13	0	3120	0	1440	796	295
14	0	0	0	1280	720	276
15	0	0	0	1120	640	258
16	0	0	0	960	560	239
17	1330	1900	1900	800	480	200
18	0	0	0	790	470	192
19	0	0	1700	780	460	186
20	0	0	1550	770	450	180
21	0	0	0	760	440	174
22	0	0	0	750	430	168
23	0	0	0	740	420	162
24	0	0	0	730	410	156
25	0	1700	750	720	400	150
26	0	0	0	687	375	140

27	0	0	0	654	350	130
28	0	0	0	621	325	120
29	0	0	0	588	300	110
30	0	0	0	555	275	100
31	0	0	0	522	250	90
32	0	0	0	489	225	80
33	265	700	0	450	200	66
34	0	0	0	448	197	66
35	0	0	0	445	197	66
36	0	0	0	442	196	65
37	0	0	650	439	195	65
38	0	0	0	435	194	65
39	0	0	0	431	193	64
40	0	0	0	428	191	64
41	0	0	0	425	190	63
42	0	0	0	421	188	63
43	0	0	0	418	188	63
44	0	0	0	415	186	62
45	0	0	0	412	185	62
46	0	0	0	409	184	61
47	0	0	0	406	182	61
48	0	0	0	403	181	60
49	0	600	300	400	180	60
50	0	0	0	390	178	59
51	0	0	0	385	177	59
52	0	0	0	380	176	59
53	0	0	0	375	175	58
54	0	0	0	363	173	58
55	0	0	0	355	172	57
56	0	0	0	347	171	57
57	0	0	0	339	170	57
58	0	0	0	331	169	56
59	0	0	0	323	167	56
60	0	0	0	315	166	55

61	0	0	0	307	165	55
62	0	0	0	299	164	55
63	0	0	0	291	162	54
64	0	0	0	283	161	54
65	0	300	0	275	160	53
66	0	0	0	264	158	53
67	0	0	0	262	157	52
68	0	0	0	260	156	52
69	0	0	0	258	155	52
70	0	0	0	256	154	51
71	0	0	0	254	152	51
72	0	0	0	252	151	50
73	0	250	250	250	150	50
74	0	0	0	243	146	49
75	0	0	0	237	142	47
76	0	0	0	231	139	46
77	0	0	0	230	134	45
78	0	0	0	228	131	44
79	0	0	0	227	127	42
80	0	0	0	226	124	41
81	0	0	0	225	120	40
82	0	0	0	194	116	39
83	0	0	0	187	112	37
84	0	0	0	181	109	36
85	0	0	0	175	105	35
86	0	0	0	168	101	34
87	0	0	0	162	97	32
88	0	0	0	156	94	31
89	0	0	0	150	90	30
90	0	0	0	144	86	29
91	0	0	0	138	83	28
92	0	0	0	132	79	26
93	0	0	0	126	76	25
94	0	0	0	120	72	24

95	0	0	0	114	68	23
96	0	0	0	107	64	21
97	0	0	0	100	60	20
98	0	0	0	97	58	19
99	0	0	0	93	56	19
100	0	0	0	89	53	18
101	0	0	0	85	51	17
102	0	0	0	82	49	16
103	0	0	0	78	47	16
104	0	0	0	74	44	15
105	0	0	0	70	42	14
106	0	0	0	67	40	13
107	0	0	0	63	38	13
108	0	0	0	59	35	12
109	0	0	0	55	33	11
110	0	0	0	52	31	10
111	0	0	0	48	29	10
112	0	0	0	44	26	9
113	0	0	0	40	24	8
114	0	0	0	39	23	8
115	0	0	0	38	23	8
116	0	0	0	37	22	7
117	0	0	0	30	22	7
118	0	0	0	30	21	7
119	0	0	0	30	20	7
120	0	0	0	30	20	7
121	0	0	0	30	19	6
122	0	0	0	30	19	6
123	0	0	0	30	18	6
124	0	0	0	29	17	6
125	0	0	0	28	17	6
126	0	0	0	27	16	5
127	0	0	0	26	16	5
128	0	0	0	25	15	5

129	0	0	0	24	14	5
130	0	0	0	23	14	5
131	0	0	0	22	13	4
132	0	0	0	21	13	4
133	0	0	0	20	12	4
134	0	0	0	19	11	4
135	0	0	0	18	11	4
136	0	0	0	17	10	3
137	0	0	0	16	10	3
138	0	0	0	15	9	3
139	0	0	0	14	8	3
140	0	0	0	13	8	3
141	0	0	0	12	7	2
142	0	0	0	11	7	2
143	0	0	0	10	6	2
144	0	0	0	9	5	2
145	0	0	0	8	5	2
146	0	0	0	7	4	1
147	0	0	0	6	4	1
148	0	0	0	5	3	1
149	0	0	0	4	2	1
150	0	0	0	3	2	1
151	0	0	0	2	1	1
152	0	0	0	1	1	1
153	0	0	0	1	1	1
154	0	0	0	1	1	1
155	0	0	0	1	1	1
156	0	0	0	1	1	1
157	0	0	0	1	1	1
158	0	0	0	1	1	1
159	0	0	0	1	1	1
160	0	0	0	1	1	1
161	0	0	0	1	1	1
162	0	0	0	1	1	1

ポジション	CT	チャレンジャーシリーズ ハワイ	チャレンジャーシリーズ	QS5000	QS3000	QS1000
	7	6	5	4	3	1
1	10000	10000	10000	5000	3000	1000
2	7800	7800	7800	3900	2340	800
3	6085	6085	6085	3042	1825	650
4	0	5685	0	2792	1675	600
5	4745	4745	4745	2282	1423	500
6	0	0	0	2145	1340	483
7	0	4545	0	2007	1258	445
8	0	0	0	1988	1208	403
9	2610	3320	3320	1575	945	350
10	0	0	0	1542	904	342
11	0	0	0	1508	870	333
12	0	0	0	1474	833	314
13	0	3120	0	1440	796	295
14	0	0	0	1280	720	276
15	0	0	0	1120	640	258
16	0	0	0	960	560	239
17	1045	1900	1900	800	480	200
18	0	0	0	790	470	192
19	0	0	1700	780	460	186
20	0	0	1550	770	450	180
21	0	0	0	760	440	174
22	0	0	0	750	430	168
23	0	0	0	740	420	162
24	0	0	0	730	410	156
25	0	1700	1700	720	400	150
26	0	0	0	687	375	140
27	0	0	0	654	350	130
28	0	0	0	621	325	120
29	0	0	0	588	300	110

30	0	0	0	555	275	100
31	0	0	0	522	250	90
32	0	0	0	489	225	80
33	0	700	700	450	200	66
34	0	0	0	448	197	66
35	0	0	0	445	197	66
36	0	0	0	442	196	65
37	0	0	0	439	195	65
38	0	0	0	435	194	65
39	0	0	0	431	193	64
40	0	0	0	428	191	64
41	0	650	0	425	190	63
42	0	0	0	421	188	63
43	0	0	0	418	188	63
44	0	0	0	415	186	62
45	0	0	0	412	185	62
46	0	0	0	409	184	61
47	0	0	0	406	182	61
48	0	0	0	403	181	60
49	0	0	600	400	180	60
50	0	0	0	390	178	59
51	0	0	0	385	177	59
52	0	0	0	380	176	59
53	0	0	0	375	175	58
54	0	0	0	363	173	58
55	0	0	0	355	172	57
56	0	0	0	347	171	57
57	0	0	0	339	170	57
58	0	0	0	331	169	56
59	0	0	0	323	167	56
60	0	0	0	315	166	55
61	0	0	0	307	165	55
62	0	0	0	299	164	55
63	0	0	0	291	162	54

64	0	0	0	283	161	54
65	0	0	0	275	160	53
66	0	0	0	264	158	53
67	0	0	0	262	157	52
68	0	0	0	260	156	52
69	0	0	0	258	155	52
70	0	0	0	256	154	51
71	0	0	0	254	152	51
72	0	0	0	252	151	50
73	0	0	0	250	150	50
74	0	0	0	243	146	49
75	0	0	0	237	142	47
76	0	0	0	231	139	46
77	0	0	0	230	134	45
78	0	0	0	228	131	44
79	0	0	0	227	127	42
80	0	0	0	226	124	41
81	0	0	0	225	120	40
82	0	0	0	194	116	39
83	0	0	0	187	112	37
84	0	0	0	181	109	36
85	0	0	0	175	105	35
86	0	0	0	168	101	34
87	0	0	0	162	97	32
88	0	0	0	156	94	31
89	0	0	0	150	90	30
90	0	0	0	144	86	29
91	0	0	0	138	83	28
92	0	0	0	132	79	26
93	0	0	0	126	76	25
94	0	0	0	120	72	24
95	0	0	0	114	68	23
96	0	0	0	107	64	21
97	0	0	0	100	60	20

98	0	0	0	97	58	19
99	0	0	0	93	56	19
100	0	0	0	89	53	18
101	0	0	0	85	51	17
102	0	0	0	82	49	16
103	0	0	0	78	47	16
104	0	0	0	74	44	15
105	0	0	0	70	42	14
106	0	0	0	67	40	13
107	0	0	0	63	38	13
108	0	0	0	59	35	12
109	0	0	0	55	33	11
110	0	0	0	52	31	10
111	0	0	0	48	29	10
112	0	0	0	44	26	9
113	0	0	0	40	24	8
114	0	0	0	39	23	8
115	0	0	0	38	23	8
116	0	0	0	37	22	7
117	0	0	0	30	22	7
118	0	0	0	30	21	7
119	0	0	0	30	20	7
120	0	0	0	30	20	7
121	0	0	0	30	19	6
122	0	0	0	30	19	6
123	0	0	0	30	18	6
124	0	0	0	29	17	6
125	0	0	0	28	17	6
126	0	0	0	27	16	5
127	0	0	0	26	16	5
128	0	0	0	25	15	5
129	0	0	0	24	14	5
130	0	0	0	23	14	5
131	0	0	0	22	13	4

132	0	0	0	21	13	4
133	0	0	0	20	12	4
134	0	0	0	19	11	4
135	0	0	0	18	11	4
136	0	0	0	17	10	3
137	0	0	0	16	10	3
138	0	0	0	15	9	3
139	0	0	0	14	8	3
140	0	0	0	13	8	3
141	0	0	0	12	7	2
142	0	0	0	11	7	2
143	0	0	0	10	6	2
144	0	0	0	9	5	2
145	0	0	0	8	5	2
146	0	0	0	7	4	1
147	0	0	0	6	4	1
148	0	0	0	5	3	1
149	0	0	0	4	2	1
150	0	0	0	3	2	1
151	0	0	0	2	1	1
152	0	0	0	1	1	1
153	0	0	0	1	1	1
154	0	0	0	1	1	1
155	0	0	0	1	1	1
156	0	0	0	1	1	1
157	0	0	0	1	1	1
158	0	0	0	1	1	1
159	0	0	0	1	1	1
160	0	0	0	1	1	1
161	0	0	0	1	1	1
162	0	0	0	1	1	1

付録 C

2023年QSおよびチャレンジャーシリーズの賞金

QSまたはチャレンジャーシリーズ大会のフォーマットが本規則書に明記されたフォーマットから変更された場合、男女の賞金額を均等にするために賞金額の調整が必要となる場合があります。

2024 男子レー ト 1対1 Rd16			2024 女子レー ト 1対1 Rd16		
チャレンジャー	80フ ォ ーマ ッ ト	男子	チャレンジャー	48フ ォ ーマ ッ ト	女子
167,600ドル	賞品	マンツ ー マン	128,800ドル	賞品	マンツ ー マン
1位	20,000 ドル	20,000ド ル	1位	20,000 ドル	20,000ド ル
2位	10,000 ドル	10,000ド ル	2位	10,000 ドル	10,000ド ル
3位	5,000ド ル	10,000ド ル	3位	5,000ド ル	10,000ド ル
5位	3,500ド ル	14,000ド ル	5位	3,500ド ル	14,000ド ル
9位	2,500ド ル	20,000ド ル	9位	2,500ド ル	20,000ド ル
17位	2,100ド ル	16,800ド ル	17位	2,100ド ル	16,800ド ル
25th	2,000ド ル	16,000ド ル	25位	2,000ド ル	16,000ド ル
33位	1,500ド ル	24,000ド ル	33位	1,500ド ル	12,000ド ル
49位	1,250ド ル	20,000ド ル	41位	1,250ド ル	10,000ド ル
65位	1,100ド ル	8,800ド ル			
73位	1,000ド ル	8,000ド ル			
	合計=	167,600 ドル		合計=	128,800 ドル

2024年QS賞金は、男女共にQS1000-10,000ドル、QS3000-30,000ドル、QS5000-50,000ドルとなります。地域は、ツアーアンドコンペティション事務局の承認を得て、現地通貨で賞金を支払うことができます。

付録 D 定義

\$は米国の通貨でドルを意味します。記載される金額はすべて税抜きです。

エアとは、サーファーがライドに乗ったときにボードが空中に浮き、操作を完成させることを意味します。

補欠とは、サーファーの欠場が確定した場合などに、本大会に代理出場するサーファーのことです。

アマチュアとは、アマチュア団体の下で競技に参加するサーファー、またはアマチュアサーファーであることを自認するサーファーであり、そのため獲得した賞金の支払いに関して特別な規定が設けられることを承諾するサーファーを意味します。

ビーチマージャーシャルとは、ヒート時間、フォーマット、競技のスケジュール、優先、ラッシュベストの選択などをサーファーに伝えるために、競技ディレクターが選定するWSL公式スタッフで、ヘッドジャッジとWSLツアーディレクターに報告する者を意味します。

ベースシードポイントとは、本規則書の該当箇所でもカウントされる、サーファーが各年の初めに獲得するポイントを意味します。

ビーチ参加とは、ヒート開始前に競技会場にて参加を希望するサーファーを指します。

BW シーズンとは、11月1日から翌年3月31日までの事です。

キャディ（キャディズとも呼ばれる）とは、競技中にサーファーに余分な用具を直接的に提供する者で、サーファーによって指名され、キャディはWSL規則に従って行動し、常にWSLからの指示に従う必要があり、サーファーは、キャディの行為に対して責任を負い、本規則書に基づく懲罰の対象となります場合があります。

妨害のコールとは、ジャッジの大多数が、あるサーファーが他のサーファーの得点力に影響を与えるため、他のサーファーを妨害したと判断した場合の事です。

チャレンジャーシリーズとは、チャンピオンシップツアーから降格した新鋭サ

ーファーが、チャンピオンシップツアーへの出場権を獲得するために世界各地で開催される競技シリーズを意味します。

チャレンジャーシリーズシーズンとは、サーフィンシーズン中のチャレンジャーシリーズを構成する競技を意味します。

チャンピオンシップツアーアスリート同意書とは、各サーフィンシーズンに適用されるCTサーファー全員が署名する同意書であり、この同意書に添付される権利放棄または同意を含む参加条件を意味します。

複合競技とは、男女の資格取得シリーズを合わせた競技を意味します。

競技エリアとは、ヘッドジャッジが正式に指定するサーフィンのエリアで、サーファーがライドとしてスコアされるウェーブを捕らえることができるエリアとして、ブイ、フラッグ、バナード示されることがあります。

コンペティションディレクターとは、CTサーファー代表によって事前に承認されたショートリストから任命された人物を意味します。

競技に関する事項とは、ランキングおよび得点システム、フォーマット、資格取得プロトコル、審査システム、用具の仕様、CT競技中のサーファーに対する安全および福利厚生を含む、CTおよび/またはCT競技に関するあらゆる事項を意味します。

脳震盪プロトコルとは [・] を意味します。

消費者向けウェットスーツ会社とは、WSLが決定した、消費者に販売するウェットスーツを製造する通常のビジネスを行う会社（例：Billabong、Quiksilver、Roxy、Patagonia、Body Glove、Buell、Vissla、XCEL、AXXE、Roxy、Sistrevolution、ROARK、Outerknown、O'Neill、Hurley）を意味します。

コンテンツとは、他のウェブサイトへのリンクを含む、ソーシャルメディアに投稿されたすべての素材を意味します。

CTとは、WSLが指定するチャンピオンシップツアーを意味します。

CT ランキングとは、CT競技または女子CT競技のみのサーファーランキングを意味します。

CT シードとは、競技でシードされ、現在CT上にいるサーファーのことです。

CTサーファーとは、サーフィンシーズンにおいて各CT競技への出場資格を得たサーファーを意味します（すなわち、ワイルドカードや交代ではありません）。

CTサーファー代表とは、WSLによって承認されたショートリスト（少なくとも3つの選択肢を含む）からCTサーファーによって任命された代表を意味します。

欠陥ウェーブとは、WSがラウンド中に他の競技者に提供したウェーブの大半と比較して、明らかに劣っているウェーブを意味します。

懲戒処分とは、制裁、口頭による警告、書面による警告、保護観察、競技会からの一時停止もしくは除名、金銭的罰則（罰金）、金銭以外の罰則、またはこれらの組み合わせを意味します。

規律委員会とは、WSLによって随時選出された資格のある人物からなる委員会（ツアーアンドコンペティション事務局の責任者を含む場合がある）を意味します。

規律ディレクターとは、規則違反を調査し、第14章に定める懲罰を科す権限を持つ、ツアーアンドコンペティション責任者が任命する人物を指します。

規律違反とは、その違反が意図されたもの、共謀されたもの、或いは他者によって行われたものであるかを問わず、本規則書に記載される規則のあらゆる違反を意味します。

ダブル妨害は、ジャッジがダブル妨害が適用されると判断し、2人のサーファーが互いに衝突やその他の妨害を受けた責任を共有する場合に発生します。

ダブル予選とは、(i)現サーフィンシーズン終了時点のCTランキング上位22名のうちの1名、および現サーフィンシーズン終了時点のCSランキング上位10名のうちの1名、または(ii)現サーフィンシーズン終了時点のCTランキング上位10名のうちの1名、および現サーフィンシーズン終了時点のQSランキング上位5名のうちの1名として、翌年のCTサーフィンシーズンの出場権を獲得したCTサーファーを指します。

参加費とは、サーファーがWSL競技に参加する前に、全額を支払わなければならない金銭のことでです。

競技とは、WSL または WSL地域事務所 で実施された、またはライセンスされた競技を指します。これには、WSL ツアーの競技、専門競技、またはメイン競技に出場するサーファーの数を決定するために行われるトライアルが含まれます。

競技計画書とは、特定の競技に何が期待されるかのガイドとして、競技に対して毎年発行される文書やガイドラインのことでです。

競技会場とは、競技が開催される場所について、関連するライセンス契約に記載される場所を意味します。競技会場には、サーフィンの競技エリア、競技エリアに隣接するエリアを取り囲むすべての構造物およびインフラ、ならびに競技の実施または管理に関連すると合理的に想定されるその他のエリアまたは構造物が含まれますが、これらに限定されません。

競技開始日とは、競技ウィンドウの初日を指します。

競技ウィンドウとは、WSL スケジュールに従って競技がスタートし、すべてのヒートと決勝の完了に割り当てられた時間を意味します。

不可抗力事象とは、当事者の合理的な支配を超える範囲で、以下の事象を含みますがこれに限定されない：洪水、落雷、暴風雨、火災、爆発、地震、地盤沈下、構造物の損傷、伝染病、流行病、その他の自然災害または出来事、戦争、軍事行動、暴動、群衆の混乱、テロ行為、テロ行為の脅威、内乱（または前述のいずれかに相応する脅威）、電源の故障もしくは不足、機械の故障、航空便の遅延もしくは欠航、自動車事故、労働争議、ロックアウトもしくはその他の労働争議(いずれの場合も、サーファーまたはサーファーが提携するその他の者以外の者による)、当事者の合理的な支配を超える行為、事象、過失または事故から生じる、またはそれらに起因する、義務の履行に影響を及ぼす事象を意味します。不可抗力事象が競技に適用されるように、WSL/競技ライセンス保持者が、WSLの独自の裁量で、商業的または予算的な理由で競技の実施が不可能となることが含まれます。

政府当局とは、国際政府、外国政府、連邦政府、州政府、地方政府、またはその政治的下部組織；または、行政、執行、司法、立法、警察、規制、監督、準政府、課税の権限もしくは権力を行使する、権限を有する組織もしくは当局、または政府、機関もしくは委員会、裁判所もしくは

法廷（またはその部局、局もしくは部門）、または仲裁人もしくは仲裁機関を意味します。

ヘッドジャッジは [・] を意味します。

ツアーアンドコンペティション責任者とは、本規則集で言及される権限、またはツアーアンドコンペティション事務局が別途認められた権限を有し、必要に応じてその権限を委譲することができる人物を指します。

インサイドポジションとは、ラインアップの中で、入ってくるウェーブを予測し、サーファーがブレイクするウェーブのピークに最も近くなるポジションを意味します。

妨害とは、サーファーがウェーブに乗っている間、自分の得点力を最大限に発揮するのを他のサーファーが妨害することです。

国際サーファーとは、本大会を運営する地域事務所ではない地域事務所に登録されたサーファーです。

ジャッジとは、WSL 競技でジャッジパネルに座る資格のある者として WSL によって承認された人物を意味します。

ジャッジシートとは、ジャッジが得点やその他記録すべきことを記録する紙または電子ベースのシートです。

JQSとはジュニア資格取得シリーズのことです。

サーフ不足とは、競技会場におけるウェーブのサイズ、方向、またはウェーブ質が十分でないことを意味します。この判断は、競技を成功裏に開催する目的をもってツアーアンドコンペティション事務局が決定します。

ラストシードラウンドとは、ある競技において、サーファーのシードがそのラウンドでの順位を決定する最も高いラウンド（すなわち、競技のスタート時点から最も差が大きいラウンド）を意味します。

ライセンス料とは、競技を実施する権利のために WSL に支払われる、関連ライセンス契約で要求される料金を意味します。

ライセンシング地域とは、その地域で関連競技をライセンス取得し、指定された地域でWSLを代表して行動することをライセンスされるWSL地域事務所を意味します。

終身会員は、WSLの終身会員条件を満たしていなければなりません。これはWSLのみが提供します。

LQSとは、WSL地域事務所が実施するロングボードクオリフィケーションシリーズを意味します。

マリブとは、9フィートより長く、丸みを帯びたノーズを持つサーフボードのことです。

マニュアル 審査 シートとは、WSL ジャッジが競技においてサーファーが獲得した得点の記録に使用する紙ベースのシートを意味します。

ミッドシーズンカットとは、サーフィンのシーズン中間地点で、男子36名、女子18名から、それぞれ24名、12名に減らすことを意味します。

ミッドシーズン日とは、ツアーアンドコンペティション事務局が指定する日です。

ツアーアンドコンペティション事務局は、WSL競技とツアーの規則と完全性を管理する権限を与えられたWSLの部門を意味します。

オフィシャルエリアとは、本競技会場のうち、一般の利用ができない場所をいいます。

オーバーラッピングヒートとは、競技中に2つのヒートのサーファーが同時に海に入ることを意味します。

パンデミック対応事項とは、世界的または全国的なパンデミック（例えば、一般に「COVID-19」と呼ばれる新型コロナウイルス）、当該パンデミックのその後の発生、またはその変異、適応、変化、検疫、「シェルターインプレイス」、「自宅待機」、労働力の削減、社会的距離、シャットダウン、閉鎖、隔離、または上記のいずれかに関連する、またはそれらに対応する政府機関または WSL によるその他の適用法律、指令、政策、行動、ガイドライン、または勧告（競技のキャンセル、延期、移転、再日程調整、または直接観客がいない、または観客収容人数が減少した競技の実施を含む）、または前述の事項のいずれかに関連するその他の公衆衛生、経済、社会、またはその他の結果に直接的・間接的に起因または関連する、あらゆる事象、事実、状況または発生をいいます。

個人サーファーおよびサポートスタッフを含むがこれに限定されない、本規則書に拘束され、これを遵守しなければならない自然人、組織またはその他の団体を意味します。ある状況において、法人、自然人、あるいはその両方が適用されるかは、文脈によって決まります。

フォトグラファーとは、WSL または競技のメディア認定プロセスによって確立された手続きに従って、撮影または写真撮影を許可された写真家を意味します。

プラス/マイナスシステムとはコンピューターによる採点システムを使用しない競技で、各ジャッジが各サーファーの順位を 1 から 4 の間で指定するシステムです。例えば、ジャッジが5人いた場合、サーファーの総合順位を対戦させ、勝者を決定します。

主要 テイクオフ ゾーンとは、優先ジャッジが決定する、競技エリア内でサーファーがライディングを開始するためのプライマリーエリアとみなされる整列エリアを意味します。

優先とは、サーファーがどんなウェーブでも無条件でキャッチできる通行権を持つことを意味します。ヒート中の他のサーファーも同じウェーブを狙ってパドルし、キャッチすることができますが、優先権を持つサーファーの得点力を妨げない場合があります。

優先 アロケーションとは、競技のヒート中に優先ジャッジが優先サーファー（およびその他の優先ポジション）を決定することをいいます。

優先 ディスクは、競技エリアのどこからでもはっきりと見えるようにジャッジエリアに設置されたカラーキューブ（またはその他の承認されたディスプレイシステム）です。このディスクの目的は、どのサーファーが次の利用可能なウェーブに優先を持っているかを示すことです。

優先ジャッジとは、競技中に優先を決定する責任を負うジャッジを意味します。

優先サーファーとは、他のサーファー（または自分より優先度の低いサーファー）よりも無条件でウェーブへのコースを得る通行権を持つサーファーを意味します。

賞金とは、競技の特定のラウンドに進出したサーファーが受け取る金銭を意味します。

賞金ラウンドとは、競技の中でサーファーがその時点から賞金を受け取ることができるラウンドのことです。

ブローンポジションとは、サーフボードの上でうつぶせになることです。

抗議とは、本規則集に従って、事件または決定に関して正式な報告を行うことを意味します。

QSとは、**QS**とは、（ チャレンジャーシリーズ競技を含む）、WSL 予選シリーズ競技を意味し、その結果は特定サーファーの **QS** ポイントを決定する際に考慮されます。

QS ポイントとは、付録Bに記載されるポイントの意味し、**QS/チャレンジャー** シリーズ競技に出場することで獲得できます。

QS ランキングとは、特定の時点で蓄積された**QS**ポイントからサーファーに提供されるランキングを意味します。

QS シードポイント は前年の最終**QS** ランキングポイントと、WSLが決定するシーズン中間日までに獲得した現在の**QS** ランキングポイントの組み合わせに基づいて決定します。シーズン中間日以降は、現在の**QS** ランキングポイントがそのサーファーの**QS**シードポイントとなります。

地域とは、WSL が随時決定する WSL 運営に関連して、特定地域事務所が管理する世界の中の領域を指します。

地域チャンピオンとは、前サーフィンシーズン終了時点で地域ランキングポイントが最も高いサーファーを意味します。

地域事務所は、各地域のWSLを代表して行動する団体であり、WSL代表者です。WSLは、その地域内のすべてのサーファーと、その地域で開催されるすべての競技との連絡窓口です。連絡先の詳細は、本規則書の付録Eに記載されています。

地域資格取得競技とは、地域で開催される資格取得シリーズ競技を意味します。

地域ランキングとは、規則2.10に従ってカウントされたランキングのことで

す。
レギュラーシーズンCT 競技とは、サーフィンシーズン中、WSL決勝前に開催されるすべてのCT競技を指します。

レギュラーシーズンCT 競技とは、サーフィンシーズン中、WSL決勝前に開催されるすべてのCT競技を指します。

レギュラーシーズンWLT 競技とは、サーフィンシーズン中、WLT決勝前に開催されるすべてのWLT競技を指します。

リブレイズメントウェーブとは、ヘッドジャッジがWSによって作られたウェーブを欠陥ウェーブであると判断し、サーファーに同じ方向で同じタイプの別のウェーブに乗る機会を与えることです（該当する場合）。

リタイアサーファーとは、前年に CT に出場し、リタイアを希望する暦年の開始前に WSL に書面によるリタイア通知を行ったサーファー、または死亡したサーファーを指します。

ライドとは、サーファーの手がサーフボードのレールから離れてから、サーファーがボードから落ちる、またはウェーブから抜け出すまでの動作です。

通行権とは、サーファーがライディングしているウェーブを利用し、スコアの可能性を最大限に引き出す権利のことで

す。
ランは左右のウェーブを意味します。

採点ジャッジとは、審査パネルのジャッジのうち、サーファーのライディングを採点するジャッジを意味します。

シード権とは、サーファーが競技においてシードされることを意味し、関連す

る WSL 事務局のすべての要件を満たし、必要な料金を支払った場合にのみ利用できます。

シート順位は、競技期間中のサーファーの対戦相手を決定します。

ソーシャルメディアとは、Facebook、Instagram、Snapchat、X (旧 Twitter)、TikTok、スレッド、ブログ、ポッドキャスト、掲示板、ウェブサイトなどのアウトレットに投稿されたプロフィール、コメント、文章、写真、画像、ロゴ、音声または動画ファイルを含む (ただし必ずしもこれらに限定されません)、あらゆる形態のオンラインまたはインタラクティブメディアを意味します。

特別委員会とは、(1) WSL で事前承認された候補者リスト (少なくとも 3 つの選択肢を含む) から CT サーファーが任命する CT サーファー代表と、(2) CT サーファーが承認する候補者リストから WSL で任命する競技ディレクターの 2 名で構成される委員会を意味します。

専門競技とは、特定の WSL ツアーに属さず、WSL が 1 回限りの競技としてライセンスする競技のことです。

スポーツマンシップに則した行動とは、以下のように定義されますが、これらに限定されるものではありません： WSL ツアーと競技スポンサー、ジャッジ、対戦相手、WSL 運営メンバー、WSL 代表、観戦者、メディアメンバー、または指定競技会場内のその他の人物を尊重すること； 競技の施設、特権、運営手順を尊重すること； 競技での礼儀とマナーの遵守、競技における責任ある成熟した行動； 一般的に軽蔑的、冒犯的、および/または著しく不快と思われる、または性的に露骨な行為を示すような目に見えるジェスチャーを控えること； 以下の使用を控えること： (a) 競技会場での冒犯的または乱暴な言葉 (いかなる言語に於いても)、(b) WSL 競技会場での違法 (未成年など) または過度のアルコールの摂取、(c) 違法薬物の使用。

スーペリアとは、各ジャッジがテイクオフの時点で決定する、最も得点の可能性が高い方向です。

サポートスタッフとは、コーチ、トレーナー、マネージャー、代理人、チームスタッフ、関係者、医療関係者または準医療関係者で、競技への参加または出場の準備のためにサーファーと共に働き、または治療を行う者を指しますが、これらに限定されるものではありません。

サーフオフ は、2人以上のサーファーが、本規則書に規定されたフォーマットで、またはツアーアンドコンペティション事務局もしくはその代理人が決定したフォーマットで、対戦することを意味します。

サーファーとは、WSL が競技に出場するための条件を満たす個人を意味します。

サーファーズエリアとは、サーファーが競技会場内で独占的にアクセスできるエリアのことで、競技で他のサーファーがサーフィンをしているのを見ながら、競技の準備をすることができます。

サーファーの代表者とは、本大会においてサーファーによって指名された個人を指します。この代表者は、本大会に出席している、または出席可能なサーファー間で友好的に指名されます。この決定ができない場合、サーファーがその決定を受け入れることを条件に、最高位のサーファーが代表者について一方的に決定します。

サーフィンディレクターは、ツアーアンドコンペティション事務局が要求する、または本規則書に規定される役割と責任を負います。上記に加

え、CT以外の競技の場合、競技のライセンス保持者が負う義務については、まずこの人物を参照してください。

サーフィンシーズンとは、規則が適用される、またはサーファーが出場する関連ツアーを構成するすべての競技を意味します。WSLのスケジュールは、各サーフィンシーズンにどのような競技が行われるかを示す良い目安になります。これは通常、暦年内に実施されますが、稀に例外もあります。

タビュレーターとは、各ヒートの終了時にジャッジの手动スコアとコンピュータのプリントアウトを照合する、競技によって指定された人物のことです。

スローアウェイとは、その年に最もポイントを稼げなかった大会のことです。**トライアル**とは、関連する大会に出場するサーファーを選出する目的で、大会ライセンス保持者またはプロモーターが実施する競技会をいいます。

口頭による警告は、違反した人物に対してその場で口頭で行われる警告であり、WSL代表者は、可能な限り速やかにWSL規則規律委員会に照会するために、文書で記録しなければなりません。このような警告が繰り返された場合、さらなる懲戒処分が下される可能性があります。

既得権益とは、本規則書の中で個人が行動する能力以外の個人的な利益（例えば、財政的、商業的等に）を持つことを意味します（例えば、サーファーと何らかの形で提携している事業体の株主や取締役としても行動するジャッジなど）。

VIPバーエリアとは、特定の場所または競技に適用される条件に従い、アルコールの飲用が許可されるオフィシャルエリア内のエリアを指します。

WADAとは、世界ドーピング防止機構及び該当する場合にはその禁止物質リストをいいます。

ウェーブシステム競技とは、ウェーブを作り出すすべての力が人工的に作られた流域で開催される競技です。

ワイルドカードとは、本規則書で定義されない限り、WSLが特定の競技に対して、WSLの裁量で、または規定されたプロセスで選出したワイルドカードを指します。

WJCは世界ジュニア選手権の略で、ワールドジュニアツアーの一部を構成する場合もあります。

WLTとはワールドロングボードツアーのことです。

WLT 競技とは、のどかな場所で開催され、世界最高の男女ロングボードサーファーが参加し、その結果でWLTチャンピオンを決定する限定エリート競技を意味します。

WLTランキングとは、WLT競技のみによるサーファーランキングを意味します。

女子CTとは、WSL女子CTランキングとWSL女子CTに貢献する、世界のトップ16人の女性サーファーが参加する、のどかな場所で開催される限定エリート競技を意味します。

女子世界ジュニアランキングとは、WSL女子世界ジュニアツアーのサーファーランキングを意味します。

女子世界ロングボードランキングとは、WSL女子世界ロングボードツアーのサーファーランキングを意味します。

女子世界タイトルとは、WSL女子世界チャンピオンへのランキングに貢献する、サーフィンシーズンを通して収集されたポイントを意味し、WSL

女子CT競技からのみカウントされます。

世界チャンピオンシップツアー（以下「CT」）とは、のどかな場所で開催され、世界のトップ34人の男子サーファーが参加し、その結果でWSL世界チャンピオンを決定する、限定エリート競技を意味します。

世界ジュニアランキングとは、WSL世界ジュニアツアーのサーファーランキングを意味します。

世界ジュニアツアー競技とは、のどかな場所で開催される独特なエリート競技を意味し、世界最高の男女ジュニアサーファーが出場し、その結果で誰もが認めるWSL世界ジュニアチャンピオンが決定します。

世界ロングボードランキングとは、WSL世界ロングボードツアーのサーファーランキングを意味します。

WSLとは、デラウェア州（アメリカ合衆国）の有限責任会社であり、World Surf Leagueとして世界各地で様々な活動を行っているAssociation of Surfing Professionals LLCを指します。料金に関するWSLの特定の責任は、他のWSL地域組織に割り当てられたり、委任されたりする場合があります。

WSL Appとは、WSLが独自に開発したApple Watch用のアプリで、競技中にサーファーに時間、得点、優先順位のデータを提供します。

WSLの承認WSLの承認とは、ツアーアンドコンペティション事務局の権限の下で行動するWSL代表が、そのような承認が必要であると示された活動に対して、書面で署名した承認を意味します。書面による承認は、WSLが承認する正確な競技活動を示す必要があります。

WSL競技代表とは、各競技においてWSL地域事務所によって指名された人物を意味します。

WSLメディカルコーディネーターは、WSLで指名され、メディカルコーディネーターとして活動する権限を与えられた人物です。

WSL地域代表者とは、WSL地域事務所を代表して行動する権限を持つ人物を意味します。代表者の権限は、WSL地域事務所と個人との間で結ばれた協定によって規定されるものとします。

WSL代表者とは、本規則書またはWSLによって締結、採択、批准された他の文書に基づいて権限を与えられた人物を意味し、WSLサーファー、ジャッジ、役員、競技の従業員、ボランティアを含みます。

WSL規則とは、本規則書に記載される規則と、WSLのウェブサイトに掲載される、随時更新される規則を指します。

WSL安全計画とは、競技のために作成される安全およびセキュリティ計画を意味します。

WSLスケジュールとは、WSLの独自の裁量で随時更新されるWSLウェブサイトに掲載される、各年度のWSL競技日程、レーティング、ステータス、場所、その他の情報を記載したWSL競技のカレンダーを指します。

WSLツアーディレクターとは、WSLから雇用され、年間を通じてサーファーと競技との連絡を取り、各ツアーの競技における様々な義務を果たす人物を意味します。例えば、WSL男子ツアーマネージャーはWSL男子CTサーファーに対して上記の責任を持ちます。

WSLツアー代表とは、WSLツアーディレクターによって、本規則書に従って行動するよう特別に指名されたWSL代表を意味します。

WSLツアーとは、CT、QS競技、マスターズシリーズ、WLT、LQS、WJC、ま

たは地域ジュニアシリーズを指し、該当する場合は男女それぞれを指します。

WSL ウェブサイトは www.worldsurfleague.com です。

WSL ワイルドカードとは、ツアーアンドコンペティション事務局で選出され、サーフィンシーズン中の競技へのワイルドカード参加として出場するサーファーを意味します。

付録 E
WSL地域事務所

アフリカ		ヨーロッパ	
ポスト	PO Box 1033, Eppingdust Cape Town, South Africa, 7475	ポスト	86 Avenue de la fare - BP26, 40150, Hossegor, France
Eメール	africa@worldsurfleague.com	Eメール	europa@worldsurfleague.com
電話番号	+27 21 534 5738	電話番号	+33 558 776 517
ファックス	+27 21 534 5738	ファックス	
住所		住所	86 Avenue de la fare - BP26, 40150, Hossegor, France
南米		北米	
ポスト	Pca. Bento Silverio, 121, sala 6 Lagoa da Conceição CEP: 88062-000 Florianopolis, SC Brazil	ポスト	PO Box 309 Huntington Beach, CA 92648, USA
Eメール	southamerica@worldsurfleague.com	Eメール	northamerica@worldsurfleague.com
電話番号	+55 48 2321009	電話番号	+714 536 3500
ファックス	+55 48 2321576	ファックス	+714 536 4482
住所	Pca. Bento Silverio, 121, sala 6 Lagoa da Conceição CEP: 88062-000 Florianopolis, SC Brazil	住所	
ハワイ/タヒチ ヌイ			
ポスト	PO Box 223 Haleiwa HI USA 96712		
Eメール	hawaii@worldsurfleague.com		
電話番号	総務部：+18084928551 メンバー：+18084971167		
ファックス			
住所	66-250 Suite D200, Kamehameha Hwy, Haleiwa USA 96712		
アジア太平洋 (APAC)		国際本部	
ポスト	PO Box 1095, Coolangatta QLD 4225, Australia	ポスト	2201 Rosecrans Avenue, El Segundo, California, 90245 USA
Eメール	australasia@worldsurfleague.com	Eメール	support@worldsurfleague.com
電話番号	+61 7 5599 1550	電話番号	+1 310-450-1212
ファックス	+61 7 5599 3550	ファックス	+1 310-399-2152
住所	Suite 213, Level E, Showcase on the Beach, 72-80 Marine Parade Coolangatta, QLD 4225, Australia	住所	2201 Rosecrans Avenue, El Segundo, California, 90245 USA

